

中房総国際芸術祭 いちはらアート×ミックス

総括報告書

2014. 10. 29

中房総国際芸術祭 いちはらアート×ミックス実行委員会

目 次

はじめに		1
1 事業実績について	(1) 作品	2
	(2) イベント・ワークショップ	4
	(3) 食プロジェクト	7
	(4) リ×ミックス商品の開発	7
	(5) 来場者	9
	(6) 視察	11
	(7) 中房総エリアとの連携	13
2 財政面について	(1) 収支の状況	17
	(2) 鑑賞パスポート等の販売	18
	(3) 寄付金・協賛金	19
	(4) 補助金・助成金	20
3 来訪者の受入について	(1) 案内所・インフォメーションセンターの設置状況	22
	(2) 会場内の案内について	22
	(3) 交通計画	23
4 広報・宣伝について	(1) 広報印刷物	26
	(2) ホームページ／SNS等の活用	26
	(3) 各種掲載・報道など（テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等）	26
	(4) 企画発表会・各種PR イベント	27
5 組織体制について	(1) 実行委員会体制・組織図	28
	(2) 事務局体制	29
	(3) 菜の花プレーヤーズ	29
6 期待された開催効果に対する評価 について	(1) 4つの取り組みコンセプトに対する効果	31
	(2) 経済波及効果	34
7 アンケート等	(1) 各種アンケートの検証	36
8 総括	(1) 実施効果のまとめ	39
	(2) 今後に向けて	40
参考資料	(1) 会期中来場者アンケート	42
	(2) 市民等へのアンケート	54
	(3) 市民団体等からの意見	60
	(4) 菜の花プレーヤーズからの意見	68
	(5) 地元商業者対象アンケート	80

はじめに

「中房総国際芸術祭 いちはらアート×ミックス」は、3月21日から5月11日までの52日間の会期で開催した。この芸術祭は、日本の縮図ともいわれる人口28万人の地方都市である市原市が、地域の活性化に向け、地方都市が抱える諸問題をアートで解決する「課題解決型芸術祭」として、①廃校の活用、②小湊鐵道・乗物の活用、③豊かな自然と食、④アーティストの長期的な活動や異業種からの多様な人々の参加という4つのコンセプトで、南いちはらの新たなまちづくりに挑戦したものである。

本報告書は、「中房総国際芸術祭 いちはらアート×ミックス」の来場者数や経済波及効果について計画時点で見込んだ数値とその実績、及び作品作りやサポーター組織、交通計画、広報宣伝など事業ごとに実績と課題を整理するとともに、各種アンケート等の実施による意見を検証し、今後の取り組みに反映していくために作成したものである。



1 事業実績について

(1) 作品

今回の作品制作にあたっては、作品プランの公募を実施するとともに、総合ディレクターと今回の芸術祭の中心となるアーティストとの検討を進め、その他の参加アーティストを選考した。

【作品プランの公募】

期 間：2013/1/21～2/4

応募数：101 点

選出数：10 点

現地見学会：2012/12/23 参加者 32 名

実績

- ①13ヶ国 66組のアーティストが参加した。
- ②作品プランの一般公募を行い、第1回目の開催にも関わらず、多くの作家から応募があった。
- ③小湊鐵道や閉校となった小学校を活用し、参加体験型の作品が多く作られたことが特徴的だった。

課題

- ①多くの作品が会期後に撤去され、継続展示される作品が少なかった。次回は芸術祭の継続も検討した上で制作に取り組む必要がある。
- ②牛久駅周辺は、南市原の玄関口としては少し寂しい状況だったとの意見も多数あったことから、複数の作品を設置する必要がある。
- ③空き家を使った作品を検討する必要がある。

(作品一覧)

作家名	作品名	場所
松尾高弘	Luminous	牛久商店街
松尾高弘	牛久商店街の記憶	牛久商店街
瀧澤潔	内田のためのインスタレーション ー赤、黄、青、白、緑、桃の調和ー	内田未来楽校
大成哲雄	内田百鬼夜行	内田未来楽校
KOSUGE1-16	Heigh-Ho	市原湖畔美術館
KOSUGE1-16	Toy Soldier	市原湖畔美術館
クワクボリョウタ	Lost Windows	市原湖畔美術館
アコンチ・スタジオ	MUSEUM OF NEEDLES & PINS	市原湖畔美術館
木村崇人	星ぶどう	市原湖畔美術館
リン・テンミャオ (林天苗)	彼女？彼？またはそれ？	市原湖畔美術館
アルフレド&イザベル・アキリザン	積載：プロジェクト・アナザー・カントリー	市原湖畔美術館
ストール・ステンスリー	いちばら物語	市原湖畔美術館
KOSUGE1-16	湖の飛行機	高滝湖

作家名	作品名	場所
栗田宏武	出会い	やまかのなかま
長谷川仁	レジャーシート	里見駅周辺
藤本壮介	Toilet in Nature	飯給駅
みかんぐみ	IAAES (Ichihara Art / Athlete Etc. School)	I A A E S (旧里見小学校)
角文平	養老山水図	I A A E S (旧里見小学校)
小沢敦志	地熱の扉	I A A E S (旧里見小学校)
小沢敦志	ユア・パートナー	I A A E S (旧里見小学校)
栗林隆	プリンシパル オフィス	I A A E S (旧里見小学校)
豊福亮	美術室	I A A E S (旧里見小学校)
滝沢達史	おかしな教室	I A A E S (旧里見小学校)
ホアン・スーチェ (黄世傑)	シンセティックワールドの再生 2014	I A A E S (旧里見小学校)
レオニート・チシコフ	芭蕉の月/デ・キリコの月/ガルシア・ロルカの月	I A A E S (旧里見小学校)
ミシャ・クバル	スピード・スペース・スピーチ	I A A E S (旧里見小学校)
AAA アスリート&アグリ組合	アスリート&アグリプロジェクト	I A A E S (旧里見小学校)
NPO 市原星空キャラバン隊	廃校プラネタリウム	I A A E S (旧里見小学校)
華根無会-成登やえ	草木染めワークショップ	I A A E S (旧里見小学校)
本間樺代子	いちはら音楽世界巡り	I A A E S (旧里見小学校)
中崎透	Most Of Modern Opinion	I A A E S (旧里見小学校)
木村崇人	森ラジオ ステーション	月崎駅
岩田草平×プロマイノリティ	サンタルの食堂	いちはら市民の森
CLIP	森の入口	上総大久保駅
カン・ユンス (姜侖秀)	いちはら人生劇場	いちはら人生劇場 (旧白鳥小学校)
西堀隆史+ウィット・ピンカンチャナボン	呼吸する廊下	いちはら人生劇場 (旧白鳥小学校)
ジティシュ・カラット	大饗宴の法廷裁判/色相彩度	いちはら人生劇場 (旧白鳥小学校)
吉田夏奈	もぐら	いちはら人生劇場 (旧白鳥小学校)
ミルチャ・カントル	※タイトルなし	いちはら人生劇場 (旧白鳥小学校)
カルロス・ガライコア	ウェイクアップ/シティ/スリープ	いちはら人生劇場 (旧白鳥小学校)
EAT&ART TARO	おにぎりのための、毎週運動会	いちはら人生劇場 (旧白鳥小学校)
カン・ユンス (姜侖秀)	オバケノガッコウヘキテクダサイ	里山芸術劇場
舞踏団トンド空静	よほろ〜養老舞踏バラエティショウ！！〜	里山芸術劇場
坂本頼光×鈴木広志×大口俊輔×小林武文	キネマと音楽の夕べ in いちはら	里山芸術劇場
CINEMA CARAVAN	CINEMA CARAVAN in いちはらアート×ミックス	上総大久保駅前
フジワラテッパイアーキテクツラボ	なっばのぐるぐるやぐら	養老溪谷駅

作家名	作品名	場所
大巻伸嗣	おおきな家	アートハウスあそらばらの谷
開発好明	モグラ TV	朝生原ミニ運動広場
塩月洋生	月出工舎	月出工舎 (旧月出小学校)
シャオ・ミン (蕭鳴)	経幢	月出工舎 (旧月出小学校)
田中奈緒子	"Die Vorstellung"のためのインスタレーション	月出工舎 (旧月出小学校)
竹村京	この本、開いてもいいですか？	月出工舎 (旧月出小学校)
岡博美	光がつくる世界	月出工舎 (旧月出小学校)
チョウハシトル	火処	月出工舎 (旧月出小学校)
岩間賢	蔵風得水	月出工舎 (旧月出小学校)
指輪ホテル	あんなに愛しあったのに～中房総小湊鐵道篇	小湊鐵道・上総牛久駅～養老溪谷駅
開発好明+加茂学園	色々な村×かかし	小湊鐵道・上総久保駅～養老溪谷駅
AAA アスリート&アグリ組合	Camp! (D.I.Y. カフェ&ファーマーズマーケット)	I A A E S (旧里見小学校)
とぬま	ぼのわプロジェクト	山登里食堂
スマイルズ生活価値拡充研究所	なっばすごろく／わっば駅弁	上総牛久駅、里見駅、養老溪谷駅
スマイルズ生活価値拡充研究所	なっばすごろく／山覚俵家	アートハウスあそらばらの谷
風景と食設計室 ホー	食事と朗読の公演「月出る処、今と昔」	月出工舎 (旧月出小学校)
風景と食設計室 ホー	月と団子	月出工舎 (旧月出小学校)

(2) イベント・ワークショップ

実績

①アート×ミックスでは、参加体験型のイベントやワークショップが数多く行われた。特に IAAES では、中崎透さんが、『NAKAZAKI Tohru HOMEROOM』というタイトルで多種多様なワークショップを開催した。また、岩田草平×プロマイノリティは、インドの少数民族サンタル族による体験メニューが好評であった。

課題

- ①いつどこでどのような内容のイベント・ワークショップが行われているか広報がしきれなかったことから、来場者に十分な案内ができなかった。次回は、詳しい内容までを明確にした一覧を作り、関係者や菜の花プレーヤーズが情報を共有できるようにする必要がある。また、HP にはイベント情報として毎日更新していく必要がある。
- ②有料イベントの中には、チケットの前売り販売に苦戦したプログラムもあったので、事前告知に関しては再度検討を要する。
- ③一方で、前売りチケットの売れ行きが好調で、当日販売のチケットが確保できなかったプログラムもあったので、チケット販売の割合を早い段階で組み立てておく必要がある。

作家名	作品名	場所
岩田草平×プロマイノリティ	村民ワークショップ 民族衣装を着て記念撮影会	いちほら市民の森
岩田草平×プロマイノリティ	村民ワークショップ ワンポイント・ヘナ体験	いちほら市民の森
岩田草平×プロマイノリティ	村民ワークショップ 葉っぱのアクセサリor小物づくり体験	いちほら市民の森
岩田草平×プロマイノリティ	サンタルの食堂 カレー販売	いちほら市民の森
岩田草平×プロマイノリティ	村民ワークショップ サンタルおまつり体験	いちほら市民の森
岩田草平×プロマイノリティ	村民ワークショップ サンタル人とお茶会&語学体験	いちほら市民の森
KOSUGE 1-16	飛行機のルアーづくりワークショップ	高滝湖
EAT&ART TARO	おにぎりのための、毎週運動会の練習	いちほら人生劇場（旧白鳥小学校）
小沢敦志	鉄文字メイキング	IAAES（旧里見小学校）
小沢敦志	叩いて作ろう！ネジネジスプーンキーホルダー	IAAES（旧里見小学校）
AAA アスリート&アグリ組合	D.Y.Y.プログラム自分でつくるスムージー、自分でドリップするコーヒー、自分でつくる石窯ピッツァ	IAAES（旧里見小学校）
AAA アスリート&アグリ組合	JUSTPLAY：サッカーしよう！	IAAES（旧里見小学校）
AAA アスリート&アグリ組合	学校菜園をつくろう！	IAAES（旧里見小学校）
AAA アスリート&アグリ組合	校庭にファイヤープレイスをつくろう！	IAAES（旧里見小学校）
AAA アスリート&アグリ組合	AAA 農園をつくろう！	IAAES（旧里見小学校）
チョウハシトル	かまどの焼き芋販売 & 石釜ピザ焼き体験	月出工舎（旧月出小学校）
チョウハシトル	やきいも学入門	月出工舎（旧月出小学校）
チョウハシトル	つくって学ぶ	月出工舎（旧月出小学校）
チョウハシトル	かまどで学ぶ	月出工舎（旧月出小学校）
栗田宏武	チェンソーアート大会	いちほら市民の森
栗田宏武	チェンソーアート体験講座	いちほら市民の森
栗田宏武	チェンソーアートワークショップ	やもかのなかま
竹村京	お面を作ろう！	月出工舎（旧月出小学校）
いちほらARTDOOR	いちほらアウトドアゲームス	IAAES（旧里見小学校）ほか
いちほらARTDOOR	かもの森トレイルランツアー	小湊鐵道沿線ほか
いちほらARTDOOR	いちほら里山ロゲイニング	IAAES（旧里見小学校）ほか
いちほらARTDOOR	はじめてのトレイルランレース Begin's Trail Challenge!	養老溪谷周辺
レオニート・チシコフ	月のイメージについてのワークショップ 「月のミュージアム」	IAAES（旧里見小学校）
マリーナ・マスクヴィナー + レオニート・チシコフ	絵本や旅行記の朗読会、お話会	IAAES（旧里見小学校）

作家名	作品名	場所
櫻井郁也 + 瀧澤潔	櫻井郁也がパブリック公演－記憶の海をわたることから	内田未来楽校
豊福亮	絵画教室	IAAES (旧里見小学校)
滝沢達史	おかしな○○○	市原湖畔美術館
木村崇人	木村崇人と森を遊ぶ	月崎駅周辺
山城大督	NAKAZAKI Tohru HOMEROOM Vol.1 : 映像芸術実験室～時間を操ろう！～	IAAES (旧里見小学校)
テニスコート&YOK.	NAKAZAKI Tohru HOMEROOM Vol.2 : School PICNIC	IAAES (旧里見小学校)
下道基行	NAKAZAKI Tohru HOMEROOM Vol.3 : 撃つか撃たれるか/ Dead or alive	IAAES (旧里見小学校)
遠藤知絵×木下真理子	NAKAZAKI Tohru HOMEROOM Vol.4 : あてはまらないところで自分らしく生きてみ	IAAES (旧里見小学校)
アサノコウタ	NAKAZAKI Tohru HOMEROOM Vol.5 : 教室のなかのちいさな教室	IAAES (旧里見小学校)
環ROY×蓮沼執太×U-zhaan	NAKAZAKI Tohru HOMEROOM Vol.6 : 環ROY×蓮沼執太×U-zhaan 体育館ライブ	IAAES (旧里見小学校)
藤井光	NAKAZAKI Tohru HOMEROOM Vol.7 : 校内暴力のハードコア	IAAES (旧里見小学校)
珍しいキノコ舞踊団	NAKAZAKI Tohru HOMEROOM Vol.8 : カラダと遊ぶ！ダンスの状態を楽しむ！	IAAES (旧里見小学校)
辺口芳典	NAKAZAKI Tohru HOMEROOM Vol.9 : ヒップホップな作文の時間	IAAES (旧里見小学校)
岡博美	紅花で染める	月出工舎 (旧月出小学校)
岡博美	植物で染める絹のスカーフ	月出工舎 (旧月出小学校)
岡博美	転写プリントで鞆を作ろう！	月出工舎 (旧月出小学校)
岡博美	菜の花で染める ハンカチスカーフ	市原湖畔美術館
NPO トーシバ + とぬま	竹のカラトリづくり	山登里食堂
桑野東萌 + とぬま	竹テラスでアウトドアヨガ+ランチ	山登里食堂
本間樺代子	オタマジャクシイッパイカエルも可	IAAES (旧里見小学校)
舞踏団トンデ空静	なの花 わきたち祭	石神菜の花畑
保科豊巳	墨の藝術シリーズ1 「360度の山水画ワークショップ」	市原湖畔美術館
田中奈緒子	Die Scheinwerferin / 光を投げる女	里山芸術劇場
大成哲雄	妖怪ピクニック	内田未来楽校
—	前夜祭	IAAES (旧里見小学校)
—	開会式	市原湖畔美術館
—	月出工舎開校式典	月出工舎 (旧月出小学校)
—	月の宴	月出工舎 (旧月出小学校)
—	月出の会	月出工舎 (旧月出小学校)
—	1学期終業式	月出工舎 (旧月出小学校)
—	閉会式	IAAES (旧里見小学校)

(3) 食プロジェクト

実績

- ①サポーターやアーティストの宿泊施設に近い山登里食堂が、それらの人々の支持を得て、また夜の営業も行ったためトップの入込客数となった。
- ②AAAは、来場者数が一番であったIAAES（旧里見小学校）に設置したため、入込客数が多かった。
- ③駅弁は3駅で販売したが、上総牛久駅は開催エリアの入り口であったため駅弁の中で入込客数が最高であった。

課題

- ①開催エリアや来場者に見合った数の食プロジェクトを作る必要がある。
- ②アーティストは食のプロとは限らず、提供に時間がかかるなどの問題が多かったことから、次回はサービスの訓練も含めた時間的な余裕を持つように、設備を完成する必要がある。
- ③広範囲な開催エリアに比較して、食事処の絶対数が少なかった。

(人)

	作品等	入込客数
1	山登里食堂	8,250
2	AAA (IAAES・旧里見小学校内)	5,760
3	山覚儀家	3,917
4	サンタルの食堂	2,980
5	なっばすごろく 駅弁 牛久駅	2,469
6	月と団子 (月出工舎・旧月出小学校内)	2,138
7	なっばすごろく 駅弁 養老溪谷駅	1,971
8	なっばすごろく 駅弁 里見駅	1,538
合 計		29,023

(4) リ×ミックス商品の開発

実績

- ①市原市を中心とするメーカーのアイテムを、新しい発想により生まれ変わらせる取り組みとして実施。若手デザイナーへの指名制公募を行い、選考されたデザインを基にデザインパッケージを施し11品目（約30種類）に上る新たなアイテムを創出した。
- ②オフィシャルショップをはじめ、市内商業施設やサービスエリア、千葉県観光物産協会の協力も得てチーバくん物産館などにも販路を拡大し、市内外に向けた「いちはら名産品」のPRをすることができ、「いちはらブランド」の発信をすることができた。
- ③会期終了後も、本プロジェクトで誕生した「いちはら名産品」を各生産者は引き続き販売を行ってお

り、一過性ではない地域活性化の取り組みが図られている。

課題

◆商品開発プロセスに関すること◆

- ①デザイナーの拘りから包材パッケージの製作コストが高く、負担が大きくなったため、負担とならぬようメーカーが印刷業者を選定できる方法を検討する必要がある。
- ②商品完成後の検証が十分ではなく不具合（シール剥れ、賞味期限等の品質表示漏れ等）が発生したため、余裕をもった検証ができる期間を設定する必要がある。
- ③デザイナーやコーディネーターとの協議を密にする必要がある。

◆販売支援に関すること◆

- ①販売手数料25%、デザイン使用料5%の歩合は高い。
- ②デザイン使用料（継続）の年間2万円の取扱いはやめるべき。
- ③発注数量が少なく店頭での品薄や品切れが見受けられたため、商品買取等を含め柔軟な対応が図れる体制づくりが必要。
- ④いちほら名産品として開発する商品であるため、継続販売等を視野に入れた販売戦略を会期前から計画する必要がある。
- ⑤コーディネーター等から指示された最低量を準備したが、実際はその1割程度しか使用されずリスクとなったため、このようなケースを想定した契約を考える必要がある。
- ⑥商工会議所は商流を作ることに徹し、物流は専門業者が行うなど、役割分担を明確にする必要がある。
- ⑦市原S A等と販路拡大に向けた取り組みを早急に進める必要がある。

◆全体的な事項に関すること◆

- ①集客を促す広報宣伝が不十分と感じているので、次回に向けて早くから取り組む必要がある。
- ②来場者20万人の予想がマーケティングを混乱させたので、次回に向けては予想来場者数の精度を高める必要がある。
- ③商品募集時にメーカー等に期待をさせてはいけない。
- ④アート×ミックスを含め全体イメージがつかめない状況であった。
- ⑤アーティストは商売人ではないため、販売を見据えた考え方に相違がある。



■リ×ミックス商品、ロゴグッズ販売額

(市原商工会議所の売上額として計上)

	数量	金額 (円)
①リ×ミックス商品		9,140,060
ぶっかけ海苔めし	2,595	1,836,260
银杏饅頭	831	814,380
フレーバーティー	1,301	416,320
ジャム	985	472,800
玄米パフ	1,090	373,370
房総かずさ揚げ	728	364,000
米粉シフォン	3,911	508,430
市原ミルフィーユ	1,300	2,106,000
ビスコッティ	1,442	683,380
シーモッククッキー等	2,333	835,900
清酒	947	729,220
②ロゴグッズ		1,254,560
Tシャツ	167	360,720
トートバッグ	94	203,040
ピンバッジ	544	272,000
手ぬぐい	372	372,000
パスケース・ストラップ	156	46,800
合計①+②		10,394,620

(5) 来場者

■会場別

NO	施設名	人数 (人)	
1	IAAES (旧里見小学校)	13,382	
2	市原湖畔美術館	12,898	
3	いちはら人生劇場 (旧白鳥小学校)	7,215	
4	アートハウスあそびばらの谷	6,758	
5	内田未来楽校 (旧内田小学校)	6,299	
6	月出工舎 (旧月出小学校)	5,223	
7	森ラジオ ステーション (木村崇人)	3,263	
8	湖の飛行機 (KOSUGE1-16)	3,005	
9	いちはら市民の森 (岩田草平&プロマイノリティ)	2,788	
10	牛久商店街倉庫 (松尾高弘)	2,723	
11	レジャーシート (長谷川)	2,552	
12	里山芸術劇場(白鳥公民館)	1,163	
		トンデ空静 (4日間)	405
		カンユンス (4日間)	410
		田中奈緒子 (2日間)	182
		キネマと音楽の夕べ in いちはら	166

NO	施設名	人数 (人)	
13	山覚俵家	3,917	
14	山登里食堂 (とぬま)	8,250	
15	指輪ホテル	1,822	
16	おにぎりのための 毎週運動会	989	
17	いちはら ARTDOOR	452	
18	その他 (イベント&ワークショップ)	4,326	
		シネマキャラバン	120
		サンタル	268
		廃校プラネタリウム	236
		月出工舎開校式	40
		月の宴	93
		月出工舎 1 学期終業式	100
		瀧澤潔舞踏公演	80
		大成哲雄 WS	60
		木村崇人 WS	50
		屋外いけばな	12
		竹テラス (とぬま)	35
		ART ZOO	14
		サッカーしよう	79
		墨の藝術	25
		学校菜園をつくろう	18
		校庭にファイアープレイスをつくろう	26
		AAA 農園	18
		おかしな○○○	46
		体育館ライブ	123
		いちはら音楽世界巡り	106
		カラダと遊ぶ	30
		珍しいキノコ舞踏団	194
		絵文字メイキング	240
		お面をつくろう	10
		月出の会	47
		月のミュージアム	10
		やきいも学入門	6
		つくって学ぶ	1
		焼き芋販売&ピザ焼き体験	1,302
絵本や旅行記の朗読会	14		
ヌードデッサン	33		
テンペラ画講座	4		
草木染め	239		
食と朗読の公演	81		
1day 染色 WS	26		

NO	施設名	人数 (人)	
18	その他 (イベント&ワークショップ)	オマジヤクシ	95
		教室のなかのちいさな教室	78
		特別染色 WS	47
		24 時間耐久石膏デッサン	20
		校内暴力のハードコア	15
		ネジネジスプーンキホルダー	272
		ヒップホップな作文の時間	13
合 計		87,025	

実績

- ①会期中の来場者数は、87,025 人となった。来場者アンケートによると、市外からの来場は 76.0%で、市外からの来場者が多かった。その内、県外の来場は 47.3%で、内訳は東京都、神奈川県、埼玉県の順に多く、首都圏からの来場者が多かった。性別は男性が 38.7%、女性が 61.3%で、年代は 30 代が 29.1%、20 代が 25.7%となっており、会場内には若い女性が多く見かけられた。
- ②期間中に南部地域の交流人口が増加したことにより、地域に活気が感じられるようになった。

課題

- ①来場者数の目標を 20 万人と試算していたが、目標を達成することはできなかった。首都圏で初めての開催ということで関心が集まると考えたが、首都圏には娯楽、文化施設が多く存在しており、その中において集客することの難しさが浮き彫りになった。
- ②来場者アンケートでは、作品に対する評価は非常に高かった。「行く価値がある」、「コストパフォーマンスが高い」といったことを、いかにアピールして人の関心と呼ぶかといったことが今後の大きな課題である。

(6) 視察

「課題解決型芸術祭」として開催した、いちほらアートミックスは、芸術、文化、観光、まちづくりなど、多方面から関心を集め、官公庁や民間団体などの視察を受けた。

NO	日	団体名	区分	視察目的
1	3月28日	香川県庁	行政	瀬戸内国際芸術祭の参考
2	4月15日	埼玉県さいたま市	行政	先進事例としての視察
3	4月17日	山口県宇部市長	行政	UBE ビエンナーレの参考
4	4月19日	長野県大町市	行政	先進事例としての視察
5	4月22日	茨城県	行政	先進事例としての視察
6	4月25日	山口県宇部市議会	行政	UBE ビエンナーレの参考
7	4月26日	香川県副知事	行政	瀬戸内国際芸術祭の参考
8	4月28日	静岡県文化政策課	行政	先進事例としての視察
9	4月29日	石川県珠洲市	行政	廃校活用の参考
10	4月30日	関東運輸局企画観光部長	行政	新たな芸術祭の視察
11	4月30日	埼玉県三郷市議会議員	行政	課題解決型芸術祭への興味
12	5月2日	さいたま市議会議員、埼玉県議会議員	行政	先進事例としての視察

NO	日	団体名	区分	視察目的
13	5月6日	香川県知事	行政	瀬戸内国際芸術祭の参考
14	5月7日	新潟県十日町市長	行政	大地の芸術祭の参考
15	5月8日	新潟市	行政	水と土の芸術祭の参考
16	5月8日	茨城県常陸太田市	行政	少子化対策の参考
17	5月11日	神奈川県逗子市	行政	先進事例としての視察
18	4月3日	ちばぎん総研	民間	
19	4月10日	おかみさん会	民間	
20	4月16日	千葉県内商工会議所	民間	
21	4月17日	千葉政経懇話会	民間	
22	4月2日	テイトギャラリー（イギリス）	財団	
23	4月30日	高円宮妃久子さま	—	
24	5月8日	姜さん（韓国）	—	論文作成取材
25	5月11日	あいちトリエンナーレ実行委員会事務局	—	
26	5月11日	堂本暁子元千葉県知事他20名	—	
27	4月5日	AGC 旭硝子	ツアー	
28	4月19日	スマイルズ	ツアー	
29	4月20日	フジワラテッペイ	ツアー	
30	4月20日	和光大学（学生ツアー）	ツアー	
31	4月22日	市川市観光協会	ツアー	
32	4月23日	大巻伸嗣（学生ツアー）	ツアー	
33	4月27日	AFG 企画ツアー	ツアー	
34	5月10日	千葉大学（神野教授学生ツアー）	ツアー	
内)	行政視察：17件、民間・財団視察：5件			
	その他：4件、ツアー：8件			
	計34件			

実績

- ①現在、多くの自治体が、廃校の利活用、少子高齢化による過疎対策などの課題を抱えているなかで「アートを活用したまちづくり」という取り組みについて、興味を示していただいた結果と考えられる。
- ②視察した団体からは、この取り組みに対して肯定的な評価を受けている。

課題

- ①視察に来訪する団体の要望にはできるだけ応えるよう努めたが、行政ヒアリング、関係団体ヒアリング等多くの要望があり、現地案内や地域の方々の紹介などリクエストが多岐に渡ったため、全てに答えられない時もあった。
- ②視察の対応に差が出ないように、基準やマニュアルづくりが必要と思われる。

(7) 中房総エリアとの連携

実績

- ①中房総エリアにもアート×ミックスの波及効果を広げるため、同エリア内の自治体と連携し、公式ガイドブック等に、飲食店や宿泊施設を掲載しPRを行った。
- ②アート×ミックスの会期中に中房総エリアで開催される企画展やイベントを連携プログラムとして公式ガイドブックに掲載した。

課題

- ①中房総エリアとの連携が不十分であるため、今後は、中房総観光推進ネットワーク協議会を活用しさらなる連携を図り、飲食店や宿泊施設については、相互にPRできるような仕組みを作る必要がある。

<ガイドブック掲載数>

自治体名	飲食店	宿泊施設	その他（観光施設、土産店など）	連携プログラム（企画展示やイベント）
いすみ市	13	0	0	0
大多喜町	3	7	3	2
御宿町	0	7	0	1
勝浦市	0	25	5	1
長南町	0	0	0	1
長柄町	0	2	1	0
茂原市	5	7	6	1
睦沢町	5	0	0	0
一宮町	0	3	0	0
計	26	51	15	6

<連携プログラム>

開催日・時間	企画展名	自治体	開催施設名	開催内容
1月18日～5月26日 (休館日：第3月曜)	古典美の探求者 林功 日本画展 -新収蔵 横 の会展出品の大作 15点 を中心に辿る軌跡-	茂原市	茂原市立美術 館・郷土資料館	西洋フード・コンパスグループ(株)から寄贈された、茂原市出身の日本画家 林功(はやし いさお 1946～2000)の代表作15点等を展示し、林功の画業を展望する。2月18日(火)～4月20日(日)には会場を拡大し、もともと当館で収蔵の林功作品を併せ計25点を一堂に展示。

開催日・時間	企画展名	自治体	開催施設名	開催内容
2月13日～4月29日 (休館日：水曜日、祝日 なら開で木曜休)	つるし飾り展	御宿町	月の沙漠記念館	日本の代表的な行事である雛祭り、子供たちの健やかな成長と、観る方々が元気になることを願うものであり、こうした趣旨に基づいて色々な方が製作した「つるし雛」を展示した。
2月15日～5月6日 (休館日：月曜日)	マリンサイエンスギャラリー 海藻いろいろ－千葉県の 豊かな海から－	勝浦市	千葉県立中央博 物館分館 海の博物館	海藻が大変豊富な豊かな海を持つ千葉県、千葉の海藻の魅力に迫る。色とりどりの「海藻おしば」で作る美しいアート作品も見どころの一つ。
2月22日～4月6日	芝原人形展 -春の陽の 中で-	長南町	長南町 郷土資料館	明治から続く伝統の郷土人形「芝原人形」の企画展示
5月1日～6月1日	長南袖凧展 -あがれ袖 凧！5月の空に-			地元小学生が体験制作した作品を主とした郷土玩具「長南袖凧」の企画展
3月19日～4月22日 (休館日：月曜日、祝日 なら開で火曜休)	特別展示1「江戸風俗図 屏風」	大多喜町	千葉県立中央博 物館 大多喜城分館	高精細デジタル技術で複製されたアメリカのフリーア美術館所蔵の菱川師宣画「江戸風俗図屏風」を描かれている季節（春・秋）に合わせて、展示する。今回は春の景色。
5月4日、5日	第1回 養老渓谷音楽祭 2014			旧老川小学校 (メイン会場)

【中房総観光推進ネットワーク協議会加盟自治体からの意見】

問1：中房総エリアを連携会場としましたが、いちほらアート×ミックスによって貴自治体に何らかの影響がありましたか。

- ①御宿町でも商工会が主体となり1998年より、町全体を一つの美術館として、町内30カ所にアート・自然・歴史・暮らし・環境・スポーツ・健康をテーマにしたギャラリーを展開する『ONJUKUまるごとミュージアム』を実施している。『いちほらアート×ミックス』の実施されている期間には、『月の沙漠記念館』の4・5月入館者数が前年比で46.8%増加した。町内ギャラリーにおいても少なからず入込や出展者の取り組み姿勢などに影響があったものと思われる。(御宿町)
- ②中房総連携プログラムとして「海の博物館」に協力を頂き、パスポート特典サービスを実施したが、利用者は少なかった。また、それ以外にもパスポート特典を宿泊施設・観光施設等に協力を頂いたが同様に利用者は少なかった。率直な感想としては、長期間のイベントではあったが、さほど影響があったとは感じられなかった。市原市以外にも、のぼり旗や中房総エリアでも連携企画展を実施してい

るというPRや観光宣伝がほしかった。来場者アンケート結果にもあるが、日帰りの来場者が約8割との数字から判断しても、勝浦市への効果は薄いように感じられた。（勝浦市）

③今回の協力団体である「波の伊八めし」のグループへの簡単なヒアリングを行ったが、特段波及効果が無かったようである。またいすみ市は会場からも離れていること、協力していただける連携施設が少なかったことから、他の自治体と比較すると波及効果は小さかったものであった。（いすみ市）

④睦沢町への影響は判断できないが、今後も協力していければ良い。（睦沢町）

問2：その他の意見・要望等

①長期間イベントを実施したのであれば、パスポート特典対象施設に中間報告確認をするなどして、利用者が少ないようであれば、新たな観光宣伝の措置をしてもらいたかった。（勝浦市）

②中房総エリアを周遊させるために、スタンプラリー等の企画があっても良かったのではないかと。（勝浦市）

③来場者アンケートに、連携企画展に関する項目があれば、今後の参考になったのではないかと。（勝浦市）

④アクアラインマラソンもそうだが、基本的に内房エリアから外房エリアにお客様を周遊させるのは、エリアが広範囲に渡るためなかなか難しいと考える。しかしながら、県外からの集客力の見込まれる単発のイベント（たとえば「港の朝市」）などを連携させることにより、周遊性を持たせることは可能であると思う。（いすみ市）

⑤点在するギャラリーを複数箇所周遊する場合の移動手段を、周遊バスやレンタサイクルにするなど来訪者が気軽に簡単に移動できるような工夫が必要だと思う。今後も広域連携による紹介・案内が効果的にできればより誘客に繋がるものと思う。（御宿町）

【参考データ：中房総エリアの商業者アンケート】

対象：90件（公式ガイドブックに掲載した、中房総エリアの宿泊施設、観光施設、飲食店など）

回答：15件

問1：「いちほらアート×ミックス」の会期中（平成26年3月21日～5月11日）の営業実績・売上は、前年の同時期と比べて、どれくらいの増減がありましたか？

回答	割合
① 0～5%増加	33.3%
② 6～10%増加	13.3%
③ 11～15%増加	6.7%

回答	割合
④ 16～20%増加	0.0%
⑤ 21%以上増加	0.0%
⑥ 0～5%減少	6.7%
⑦ 6～10%減少	0.0%
⑧ 11～15%減少	6.7%
⑨ 16～20%減少	0.0%
⑩ 21%以上減少	0.0%
⑪ 変わらない	33.3%

問2：営業実績・売上の増減には、「いちほらアート×ミックス」の効果があったと思いますか？

回答	割合
① 大いにあった	6.7%
② 多少あった	46.7%
③ 特になかった	26.7%
④ 未記入	20.0%

問3 「いちほらアート×ミックス」に対するご意見・ご感想がありましたらご記入ください。

- ① 活性化のため、またの開催を期待している。
- ② 今後も続けて欲しいと思う。
- ③ チケットを持った方が来て喜んでた。
- ④ 各会場のイベントのレベルは高いと思う。
- ⑤ アート×ミックスに関する問合せは結構あり、ゴールデンウィークは例年よりお客の割合が多かった。
- ⑥ もう少し宿泊施設や他施設の宣伝をして欲しかった。次回はアート×ミックスと絡めた特別宿泊プランを作成したいと思う。
- ⑦ 現代アートは理解されにくいいため、地域の人が作品に対して愛情を持てるようになればと思う。
- ⑧ 具体的にわかりやすく説明できる資料が欲しかった。
- ⑨ パンフレットや割引券をもらえれば案内できたと思います。
- ⑩ もう少しアーティストの情報があれば良かった。
- ⑪ 説明不足で、一部の方のみのイベントで終わってしまった。
- ⑫ アクセスの説明が不足していた。
- ⑬ いまひとつ内容がよくわからなかった。

2 財政面について

(1) 収支の状況 ■平成24・25年度決算額及び平成26年度執行済額 (H26.9.30現在)

1 収入の部

(単位:円)

項目	内訳	24年度	25年度	26年度執行済額	合計
補助金	補助金計	26,697,295	264,300,000	63,702,000	354,699,295
	市	15,897,295	104,400,000	25,633,000	145,930,295
	国	0	106,000,000	31,899,000	137,899,000
	県	0	10,000,000	0	10,000,000
	基金繰入	0	11,000,000	0	11,000,000
	寄附金	10,800,000	29,600,000	1,170,000	41,570,000
	諸収入(財団法人自治総合センター)	0	3,300,000	5,000,000	8,300,000
諸収入	助成金(公益財団法人福武財団)	0		1,160,000	1,160,000
事業収入	事業収入計	0	16,481,322	43,408,248	59,889,570
	バスポート販売等	0	14,235,722	39,813,748	54,049,470
	イベント収入	0	2,245,600	3,594,500	5,840,100
電気料負担金		0	24,200	149,922	174,122
作品プラン一般公募		101,000	0	0	101,000
雑収入		0	0	210,399	210,399
利息		1,227	14,469	5,425	21,121
前年度繰越金		0	102,227	13,473,798	13,576,025
合計		26,799,522	280,922,218	122,109,792	429,831,532

※24年度の寄附金について・・・21,800,000円の寄付があり、観光まちづくり基金へ11,000,000円を充当したため、残りの10,800,000円を計上している。なお、基金に充当した11,000,000円は、平成25年度の会計に繰り入れをしている。

2 支出の部

(単位:円)

項目	内訳	24年度	25年度	26年度	合計
アートプロジェクト費		24,308,350	223,618,960	57,442,304	305,369,614
ディレクター費	総合ディレクター業務委託	10,000,000	9,000,000	1,000,000	20,000,000
	作品制作費	14,308,350	214,618,960	56,442,304	285,369,614
	イベント開催費				
作品制作委託、イベント開催費					
広報宣伝費		2,097,650	21,416,528	564,800	24,078,978
ホームページ制作管理費	公式ウェブサイト維持管理	1,000,000	1,500,000	500,000	3,000,000
ロゴマーク作成費	公式ロゴマーク等の作成委託	1,000,000	1,995,000	0	2,995,000
広報宣伝費	ポスター(B1)・チラシ作成など	0	17,921,528	64,800	17,986,328
印刷製本費	寄附・協賛金ガイドの作成	97,650	0	0	97,650
サポーター活動費		0	3,509,263	1,952,508	5,461,771
拠点整備費	サポーター宿泊所整備など	0	2,100,827	1,324,364	3,425,191
活動運営費	サポーター交通費補助など	0	1,408,436	628,144	2,036,580
事務局運営費		291,295	18,903,669	33,190,379	52,385,127
拠点整備費	インフォメーションセンター整備、会場内案内看板・のぼり旗の設置など	0	8,788,462	14,951,523	23,739,985
事務局運営費	事務局消耗品、有料施設へのチケット収入の割戻しなど	291,295	10,115,207	18,238,640	28,645,142
	予備費	0	0	0	0
次年度繰越金		102,227	13,473,798	0	13,576,025
合計		26,799,522	280,922,218	93,149,775	400,871,515

実績

- ①特定財源の積極的な確保に努めた結果、文化庁補助金は1億3,789万円、県補助金は1,000万円、市補助金は、1億4,593万円、企業からの寄付・協賛金としては、4,157万円、観光まちづくり基金からの繰り入れが1,100万円、自治総合センターからの助成金が830万円、福武財団からの助成金が116万円、パスポートの売上げなど、事業収入が5,989万円となり、平成26年度の予算は、執行中であるが、3年間の歳入歳出予算総額は、4億2,983万円となった。
- ②また、サポーターや作家などの宿泊施設は、旧月崎荘（南部老人福祉センター）を有効利用することで、整備費を抑えることができた。サポーターや作家の交通費補助についても、小湊鐵道の協力により、運賃を無料してもらするなど、経費節減により、約2,890万円の残金がある。

課題

- ①企業や個人から、市制施行50周年、はじめての事業ということで、多くの寄付・協賛金をいただいたが、引き続き、継続的な営業が必要である。
- ②広報宣伝を充実し、観客数を伸ばし事業収入を見込むためには、それなりの広報宣伝費が必要となる。
- ③広報への予算配分や進行管理など全体をまとめ上げるプロデューサーがいなかったため、ディレクターに依存する部分が多くなってしまった。

(2) 鑑賞パスポート等の販売

作品鑑賞パスポート（※販売手数料差引後）

区分		単価（円）	枚数	金額（円）
一般	前売	3,300	4,910	15,245,128
	当日	3,800	5,450	20,369,675
大学生・専門学校・高校生	前売	2,800	233	596,674
	当日	3,300	371	1,207,042
中学生	前売	1,000	28	22,621
	当日	1,000	79	77,308
小学生	前売	500	106	38,828
	当日	500	296	145,824
合計			11,473	37,703,100

個別鑑賞券（10施設） ※再入場は、個別鑑賞料の半額

施設名（料金）	個別	金額(円)	再入場	金額(円)	合計金額(円)
I A A E S（800円）	3,477	2,820,800	436	174,400	2,995,200
月出工舎（800円）	914	731,200	177	70,600	801,800
いちほら人生劇場（800円）	765	612,100	150	60,000	672,100
あそうばらの谷（500円）	1,204	601,600	242	60,500	662,100

施設名（料金）	個別	金額(円)	再入場	金額(円)	合計金額(円)
内田未来楽校（300円）	1,679	503,700	103	15,450	519,150
湖の飛行機（500円）	473	236,500	69	17,250	253,750
サンタルの食堂（300円）	566	170,100	29	4,350	174,450
森ラジオステーション（300円）	443	132,900	69	10,350	143,250
Luminous（300円）	240	72,000	20	3,000	75,000
市原湖畔美術館（1,000円）	—	—	119	59,400	59,400
計	9,761	5,880,900	1,414	475,300	6,356,200

※市原湖畔美術館の個別鑑賞料は美術館の収入となる。再入場のみ実行委員会の収入になる。

実績

- ①一般、学生（大学生、専門学校生、高校生）、中学生、小学生の4種類の作品鑑賞パスポートを市内販売所の他、イープラス、チケットぴあ、セブンチケット、ローソンチケットの4つのプレイガイドで販売した。
- ②自家用車での来場により交通渋滞や路上駐車が発生し、地域住民の日常生活に影響がでないようにすることと、来場者が小湊鐵道というローカル線や周遊バスを利用して作品巡りをするという非日常的な感覚を提供するために、作品鑑賞パスポートに、会期中、小湊鐵道の列車と会場内を循環する周遊バスが1日乗り放題となる交通パスポートをセットにして販売した。
- ③2回目以降のパスポート来場者には、一日限定の交通パスポートを1,000円で販売した。
- ④作品鑑賞パスポートを切符のデザインで作成。各施設の受付で、小湊鐵道で使用している改札ばさみでパスポートに銚こん（改札ばさみによって切符の縁に刻まれた切り口）を入れる方式をとった。来場者は自ら銚こんを入れるなど貴重な体験をすることができ好評であった。

課題

- ①市民の多くが車で移動したため、作品鑑賞パスポートと交通パスポートのセット販売に魅力を感じられなかった人も多かったため、今後、パスポートのバリエーションを考える必要がある。
- ②4種類の作品鑑賞パスポートの色が似ていたため、見分けることが難しかったので改善が必要である。
- ③個別鑑賞券での来場者が多く、作品鑑賞パスポートの売上げが伸びなかった。各案内所で作品鑑賞パスポートが得な情報を提示したが、事前のPRや案内所での声かけが必要である。また作品鑑賞パスポートのお得感が感じられなかったことも考えられるので、価格設定についても検討が必要である。
- ④中学生以下の鑑賞料は無料であることを周知し、来場を促す必要がある。

（3）寄付金、協賛金

種類	件数	金額
現金寄附	48件	52,570,000円
パスポート購入協賛	12件	3,713,600円
現物協賛	2件	1,250,000円
合計	62件	58,153,600円

実績

- ①平成 24 年度から市内臨海部の企業を中心に支援のお願いに伺った。その結果、臨海部の企業も厳しい経営環境の中、目標額の 5,000 万円を超える寄付が集まった。
- ②パスポート協賛については、市内企業その他、市外、海外からも協賛をいただいた。
- ③JA 市原市からは 100 万円分の地元ブランド米「養老のめぐみ」を協賛いただいた。提供いただいた米を、食のプロジェクトの『なっばすごろく（わっば駅弁、山覚俵家）』で使用するとともに、販売を行なうことにより、地元ブランド米の PR をすることができた。
- ④AED も無償で貸与いただき、作品拠点施設に配置することができた。

課題

- ①個人からの寄付であるふるさと納税については、10 件と少なかった。また、今回は、市制施行 50 周年記念事業として開催したため、多くの企業から寄付をいただき目標額に達したが、次回以降、企業から継続して寄付をいただくことは難しくなると考えられ、財源確保のために、寄付・協賛の PR がさらに必要となる。

(4) 補助金、助成金

平成 25 年度

名称	団体名	金額
文化芸術振興費補助金（地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ）文化芸術創造発信事業	文化庁	100,000,000 円
文化芸術振興費補助金（地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ）大学を活用した地域芸術文化振興事業	文化庁	6,000,000 円
大規模イベント支援事業補助金	千葉県	10,000,000 円
自治総合センターコミュニティ助成金（地域の芸術環境づくり助成事業）	財団法人 自治総合センター	3,300,000 円
合計		119,300,000 円

平成 26 年度

名称	団体名	金額
文化芸術振興費補助金（地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ）文化芸術創造発信事業	文化庁	31,899,000 円
自治総合センターコミュニティ助成金（地域の芸術環境づくり助成事業）	財団法人 自治総合センター	5,000,000 円
文化・芸術による地域振興助成金	公益財団法人 福武財団	1,160,000 円
合計		38,059,000 円

実績

- ①文化庁の地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ事業に平成 25 年度・26 年度と採択され、2 カ年の合計で 137,899 千円の補助金を受けた。
- ②県の大規模イベント支援事業に採択され、平成 25 年度に満額の 10,000 千円の補助金を受けた。
- ③自治総合センターの地域の芸術環境づくり助成事業も平成25年度・26年度2カ年に採択され、合計で 8,300千円の助成金を受けた。

課題

- ①次回も同額の補助金を受けられる保障はないので、様々な補助金や助成金の情報を収集し、積極的に申請していくことが必要である。

3 来訪者の受入について

(1) 案内所、インフォメーションセンターの設置状況

名称	時間	内容
総合インフォメーション (実行委員会事務局)	8:00～ 18:00	パスポート・イベントチケット・パスケース・ガイドブック 販売、案内業務
五井駅案内所 (JR と小湊鐵道の連絡口)	7:00～ 16:00	パスポート・指輪ホテルチケット・パスケース・ガイドブック 販売、案内業務
上総牛久駅前案内所	8:00～ 18:00	パスポート・指輪ホテルチケット・パスケース・ガイドブック 販売、案内業務
鶴舞バスターミナル案内所	8:00～ 18:00	パスポート・パスケース・ガイドブック販売、案内業務
養老溪谷駅前案内所	8:00～ 18:00	案内業務

実績

- ①JR 利用者が、小湊鐵道に乗り換える連絡口に五井駅案内所を設置した。作品鑑賞パスポートの購買者が多く、100 万円を売り上げる日もあった。
- ②上総牛久駅前の空き店舗を借用し、上総牛久駅前案内所を設置した。壁一面にアート×ミックスのロゴを大きく表示することで、PR 効果につながった。

課題

- ①五井駅案内所は列車の発車時刻に合わせるため、短時間に集中してしまい、対応ができないこともあったため、その対応を検討する必要がある。
- ②案内所はその日に配置されたサポーターで対応したが、バスの乗り継ぎ方法など詳しい知識が必要なため、専属スタッフを配置することが望ましい。
- ③実行委員会事務局に総合インフォメーションを設置したが、表示が小さかったため、作品展示場所と間違えて来所する人が多かった。案内所には分かりやすい表示が必要である。

(2) 会場内の案内について

サイン計画

種類	サイズ	数量	備考
横断幕	縦 51cm×10m	2	
案内看板	縦 36cm×横 25cm	23	
案内立看板	縦 137cm×横 36cm	159	
のぼり旗	縦 150cm×横 45cm	800	
作品案内 (拠点)	縦 135cm×横 60cm	7	

種類	サイズ	数量	備考
作品案内	縦 27cm×横 21cm	78	自立式 27、杭 20、壁付 31
スポンサーボード	縦 90cm×横 150cm	1	
案内所立看板	縦 90cm×横 60cm	1	

印刷物

種類	仕様	部数	備考
ガイドブック	A5 版、136 頁	10,000	5,000 部買取
交通アクセスマップ	A1、両面	50,000	小湊鐵道発行
総合パンフレット（マップ入り）	A3、両面	60,000	
会場内案内チラシ	A4、両面	20,000	

実績

①サインと印刷物はデザイナー（日本デザインセンター色部義昭氏）に発注し、今までに市原のイベントでは見られなかったインパクトのあるデザインで、芸術祭全体の雰囲気を作り上げた。

課題

- ①デザインを重視したため、看板が分かりづらいとの声が多かった。
- ②サインは、芸術祭に来る人を誘導する目的と、広告塔の効果があるので、分かりやすさが必要である。
- ③のぼり旗は英語標記だったので、中高年者から何の旗か分からないとの声が多かった。中高年者には分かりやすさが必要である。

（3）交通計画

周遊バス

	運行本数/日			乗車人員/52日間				乗車人員一日平均		
	平日	土日祝	GW	平日	土日祝	GW	合計	平日 (32)	土日祝 (11)	GW (9)
北部ルート (右回り・左回り)	20	40	40	4,609	6,739	10,179	21,527	144	613	1131
南部ルート (上り・下り)	12	20	20	1,604	2,463	5,084	9,151	50	224	565
月出ルート (上り・下り)	12	12	12	1,175	1,438	2,439	5,052	37	131	271
茅野ルート (上り・下り)	-	-	58	0	0	3,265	3,265	-	-	363
合計	44	72	130	7,388	10,640	20,967	38,995			

※GW : 4/26,27,29,5/3,4,5,6,10,11

小湊鐵道

■ 会期中の鉄道増便数(五井～養老溪谷駅間)／日

平日	土日祝
1 往復	3 往復

■ 五井駅からの小湊鉄道乗車人員前年比較 (人)

26 年度				25 年度			
3 月	4 月	5 月	合計	3 月	4 月	5 月	合計
18,978	15,456	18,882	53,316	16,655	14,859	16,082	47,596

※アート×ミックスとしての乗車人員は把握できないが、前年度と比較すると乗車人員は約 12%増加した。

(上総牛久駅、養老溪谷駅など、五井駅以外から鉄道を利用した人数は含まれていない。)

駐車場 (会期中の利用台数) (台)

■ 無料駐車場	1,761
加茂運動広場	419
加茂学園	39
旧富山小学校	302
T マート	744
加茂支所	257
■ 有料駐車場	2,933
旧里見小学校	1,716
旧白鳥小学校	634
石神駐車場	568
加茂診療所 (大型バス)	15
■ 合計	4,694

レンタサイクル

■ 貸出実績

貸出場所	件数
上総牛久駅前案内所 (19 台)	136
湖畔美術館 (28 台)	146
I A A E S (24 台)	54
月崎駅 (15 台)	172
いちはら人生劇場 (10 台)	5
合計	513

※ () は配備台数。上記のほか、PR用として4台を使用。(総合案内所 2 台、五井駅 1 台、鶴舞 BT1 台)

実績

鉄道・周遊バスについて

- ①路上駐車による事故防止及び渋滞対策を最大の課題とし、来場者は、小湊鐵道と芸術祭周遊バスの公共交通で巡ることを基本方針とし、交通パスポートを作品鑑賞パスポートへ組み込んで販売したことで、自家用車の乗り入れを防ぐことができた。
- ②鑑賞パスポートと鉄道・周遊バスの乗り放題チケットをセットにして販売したことは、新たな芸術祭の展開方法を提示することができた。

駐車場について

- ①会場内には約 5,000 台近くの駐車場を用意し、自家用車で来場者を小湊鐵道や周遊バスへの乗換えを誘導することができた。

レンタサイクルについて

- ①レンタサイクルは放置自転車を活用し、それぞれの自転車に作家が廃材でつくった鉄の文字を溶接し、新たな個性を付け加えた。本芸術祭では 100 台整備して、5 カ所へ設置した。

課題

鉄道・周遊バスについて

- ①入場者数が予想より下回ったため、小湊鐵道が周遊バスの運行経費分として大幅な赤字となってしまった。

駐車場について

- ①有料駐車場については地元の方を中心に苦情を多くいただいた。特に 1 カ所ずつ駐車場料金がかかることに対して意見が多かったので改善が必要である。

レンタサイクルについて

- ①作品の 1 つであることを踏まえて、管理体制を最優先に考えて乗り捨て不可としたが、利用者からは乗り捨てについての要望が多く寄せられた。一方で貸し出し場所のサポーターからは、当日初めて受付業務をする中で、レンタサイクルの受付業務は負担が大きいとの意見があった。

4 広報・宣伝について

(1) 広報印刷物

- ・ポスター：8,000部
- ・公式チラシ：130,000部
- ・総合パンフレット：60,000部
- ・イベントパンフレット：30,000部

(2) ホームページ、SNS等の活用

いちほらアート×ミックスのホームページをリニューアルし、さらにFacebookやTwitter、LINEなどのソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）を活用することで情報の拡散化に努めた。

(3) 各種メディア掲載、報道など（テレビ、ラジオ、新聞、雑誌）

今回の芸術祭では、新聞、雑誌、テレビ、ラジオ、Webサイトなど様々なメディアで非常に多くの記事掲載・報道がなされた。2013年12月から2014年5月までで事務局が把握した件数は下記のとおり。

【テレビ】（6件）

チバテレビ：「いちほらだより」、「熱血BO-SO TV」、NHK：「日曜美術館（アートシーン）」
フジテレビ：「千葉の贈り物まごころ配達人」、BS-TBS：「週刊 BS-TBS 報道部」
BSフジ：「Table of Dreams ～夢の食卓～」

【ラジオ】（11件）

TBSラジオ：「千葉ドリーム!もぎたてラジオ」、TOKYO FM：「Blue Ocean」、「ふんわりの時間」
bayfm：「モーニングクルージン」、「チーバレポ」、「プレシャスレポート」、J-WAVE：「PARADISO」、
「Growing Reed」、「LOHAS TALK」、FM YOKOHAMA：「E-ne! ～ good for you ～」、
NHKラジオ第1・FM：「ここはふるさと旅するラジオ」

【新聞】（12社）

日本経済新聞、朝日新聞、朝日デジタル、朝日小学生新聞、毎日新聞、読売新聞、The Japan Times（英語圏）、産経ニュース、東京新聞（TOKYO Web）、千葉日報、日本農業新聞、朝雲新聞

【雑誌】（22件）

地域創造、香港ウォーカー、TRIP（OZ magazine増刊）、美術の窓、ソトコト、Casa、Hanako、月刊ぐるっと千葉、YANASE LIFE plaisir、Men's JOKER、Pen online、季刊うかたま、千葉県版道の駅、Highway Walker、千葉Walker、美術屋・百兵衛、TRUNK、SODA、MEN'S NON-NO、旅の手帖、婦人公論、月刊ギャラリー

実績

①各メディアに対し情報提供を行ない、テレビやラジオ番組で取り上げてもらったり、記事として掲載してもらったりすることができた。

課題

- ①市民への告知が不十分で、市民でも知らない人も多かった。
- ②広報戦略については、メディアに取り上げてもらうことでアート×ミックスのPRをしてもらうというスタンスであったが、市原は新潟や瀬戸内のような知名度もなく、広報宣伝の効果は十分でなかった。
- ③広告宣伝費をかけるなど予算配分を考慮する必要がある。
- ④広告代理店等の活用も検討する必要がある。

(4) 企画発表会、各種 PR イベント

中房総国際芸術祭のプロモーションのため、以下のとおり企画発表会やPRイベントを行った。

- ・「いちはらアート×ミックス企画概要&市原湖畔美術館開館」（主催：実行委員会）
(2013/5/29、東京・JPタワー)
- ・「いちはらアート×ミックス開催概要記者発表会」（主催：実行委員会）
(2013/12/11、東京・JPタワー)
- ・「いちはらアート×ミックス直前展」（主催：実行委員会）
(2014/2/15～2/28、渋谷ヒカリエ)

実績

- ①企画発表会は、市原湖畔美術館のリニューアルオープンの発表会にあわせ実施したことで、多くの方々に興味を示していただいた。
- ②会場は、今回の芸術祭が首都圏からの来場者をターゲットにしていることから、玄関口となる東京駅近くにオープンしたJPタワーを活用した。
- ③渋谷ヒカリエでの直前展では、参加アーティストによるワークショップやディレクターとアーティストのトークイベントを実施したことで、初めての芸術祭ではあるが、広くいちはらアート×ミックスの魅力を発信することができた。

課題

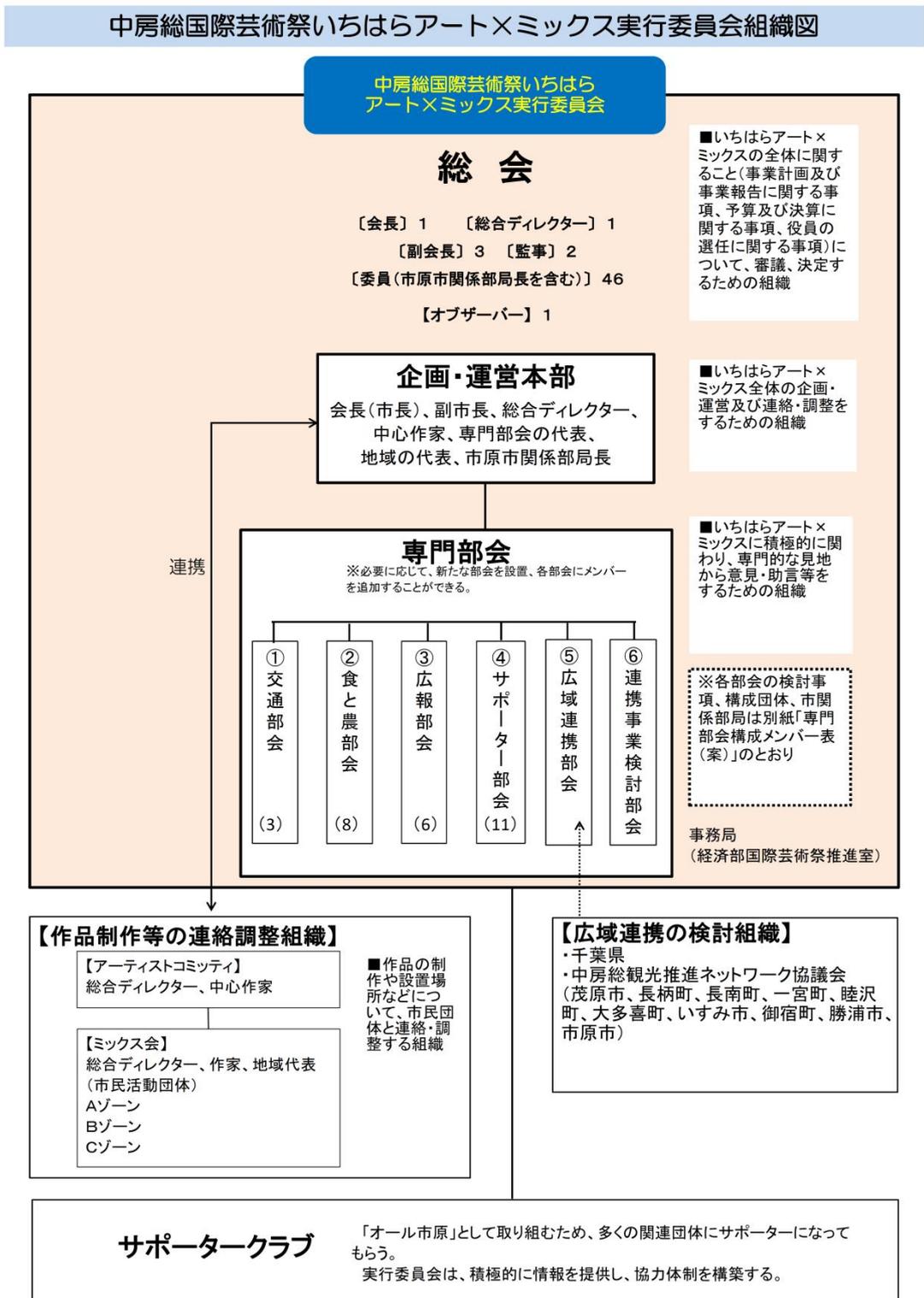
- ①参加アーティストが未確定の状態での企画発表会だったので、参加したメディアの方々から、どのような内容で実施するのかの問合せが多かった。
- ②会場費用に対しての宣伝効果がどの程度あったのかよく検討して、次回の広報宣伝事業に活かしていく必要がある。

5 組織体制について

(1) 実行委員会体制・組織図

いちほらアート×ミックス実行委員会は、この事業をオール市原で取り組むために、多くの関係団体に加盟してもらうとともに、市も、各部局長を実行委員会の委員にした。また、専門部会には、全ての部局が係わることとした。

実行委員会には、事業の中心となる「企画・運営本部」と、それぞれの課題について専門的な見地で意見を出し合うために6つの「専門部会」を設置した。



実績

- ①多くの関係団体に加盟していただいたことで、実施にあたり、それぞれの関係業務について協力を得ることができた。
- ②広報宣伝については、実行委員会に加盟していただいたメディアには、自主的に番組や紙面などで紹介していただくことができた。

課題

- ①6つの専門部会は、事務局の考えた実施内容の承認機関的な役割になってしまい、自主的に取り組むようなスタンスになることができなかった。
- ②作品等の連絡調整組織として、地元と作家を結ぶための「ミックス会」を設置する予定であったが、参加アーティストの決定の遅れにより実現に至らなかった。
- ③オール市原での取り組みにするための「サポータークラブ」の設置を予定していたが、組織の構築ができなかった。

(2) 事務局体制

本芸術祭の事務局は、平成24年8月に実行委員会を設立した時点で、市原市経済部観光振興課アートフェスティバル推進室が実行委員会事務局の運営を行ない、その後、平成25年4月からは、国際芸術祭推進室が事務局を運営し、事務局を牛久の空き店舗に移し、芸術祭の発信拠点やサポーターのコミュニケーションの場となった。

実績

- ①市原市の国際芸術祭推進室が事務局業務を担当することで、会場整備、作品制作、サポーターの受入態勢の整備、サポーターの配置、宿泊場所の確保など、芸術祭全体の管理と情報の共有ができた。

課題

- ①事務局の業務が多岐に渡り、事務局のスタッフでは、掛け持ちの業務に追われた。

(3) 菜の花プレーヤーズ

合計	1,312名
内訳 (男性)	783名 (60%)
(女性)	529名 (40%)
(市内)	830名 (63%)
(市外)	482名 (37%)
最年長 / 最年少	87歳 / 5歳
活動延べ人数	3,801名

実績

- ① 1回目の芸術祭であるが早い時期から多くの方がサポーター登録し、会期終了時には1,312人になった。
- ② 作品設置関連町会からのサポーターと一般サポーターが協力して受付業務を行い、両者の交流が生まれたとともに、来場者により良い案内ができた。
- ③ 香港からの学生ボランティアが一週間ほど市内に宿泊し、制作活動に参加した。
- ④ 瀬戸内の「こえび隊」、越後妻有の「こへび隊」に登録しているサポーターが多く参加してくれたことで交流が生まれた。

課題

- ① 登録者数が1,000人以上いたにもかかわらず、実際に活動する人が少なかった。芸術祭会期中の平日は10人程度であったため、動員体制を検討する必要がある。
- ② 実際に活動するサポーターを確保するための方法を検討する必要がある。
- ③ 市民への、芸術祭並びにサポーター活動についての説明会を恒常的に開催して周知することが重要である。
- ④ 「おらが町の作品」という自負が強い町会が多いため、作品設置場所を増やし、その町会の積極的な参加を求めることが重要である。



6 期待された開催効果に対する評価について

(1) 4つの取り組みコンセプトに対する効果

「いちほらアート×ミックス」は、単なる芸術祭ではなく、南部地域の過疎対策と地域の活性化を図ることはもちろんのこと、地方都市が抱える諸問題をアートのかで解決する「課題解決型芸術祭」として、①廃校の活用、②小湊鐵道・乗物の活用、③豊かな自然と食、④アーティストの長期的な活動や異業種からの多様な人々の参加という4つのコンセプトで取り組んだ。

廃校の活用

【ねらい】

2013年春、南市原では4つの小学校が閉校した。

「いちほらアート×ミックス」では、この学校を活用したアートプロジェクトを実施することにより新たな地域のプラットフォームを創出し、文化的活動を通じたまちづくりを始める。

【実施内容】

今回の芸術祭では、3つの小学校と、地域で保存活動を進めている木造校舎（旧内田小学校）を活用して作品展示を行った。

旧里見小学校は、作品の展示だけでなく、スポーツ教室、アトリエ、音楽教室、地域の文化サークルによるワークショップなどを実施した。

旧白鳥小学校は、隣接する白鳥公民館と連携して、芝居やパフォーマンスの拠点として、また、食とスポーツのプロジェクト「おにぎりのための、毎週運動会」を開催した。

旧月出小学校は、校舎内だけでなく、屋外の校庭やプールなどを活用し、作品の展示を行った。

内田未来楽校では、報徳の会がカフェを併設し、来場者へのおもてなしを行った。

【実施効果】

- ①会期前の作品制作から会期中の会場の受付など、地元の団体が積極的に係わっていただき、地域の人々と来場者のコミュニケーションを図る場として活用することができた。
- ②単なる作品の展示だけでなく、ワークショップなど体験型のメニューを提供することができ、今後の施設の活用方法などの参考になった。
- ③作品制作など継続した活動に対し、民間企業や大学との連携の話が届いている。

小湊鐵道・乗物の活用

【ねらい】

市原市を南北に走る「小湊鐵道」。「いちほらアート×ミックス」では、多くの人に愛されているこ

の小湊鐵道の駅舎や車両を最大限に活用する。他にも、様々な乗物が面白く変化し、他では決してない“体験”を味わうことができるようにする。

【実施内容】

来場者の移動手段としてはもちろんのこと、人々のコミュニケーションの場としての鉄道、駅の可能性を考えたプログラムを試行した。

特に、「動く劇場」という新しい機能をもつユニークな作品であった指輪ホテルの演劇は、毎回チケットが完売になるほど好評だった。

また、開発好明さんは、加茂学園の児童・生徒と共に、小湊鐵道の7つの駅にかかしを設置し、物語を展開するプロジェクトを実施した。

【実施効果】

- ①鑑賞パスポートと鉄道と周遊バスの乗り放題チケットをセットにして販売をしたことによって、新たな芸術祭の展開方法を提示することができた。
- ②小湊鐵道の観光資源としての魅力を、列車内での演劇や駅舎に作品を設置したりすることでより強く発信するとともに、来場者に非日常体験を提供することができた。

豊かな自然と食

【ねらい】

食はその土地の固有のものであり、地域と来場者をもっとも深くつなげるものである。「いちほらアート×ミックス」では、都会で体験できない自然とのふれあいや農作業を体験し、市原へ通いたいと思えるプログラムを用意する。

【実施内容】

「なっばすごろく」ブランドとして、小湊鐵道の上総牛久駅、里見駅、養老溪谷駅の3駅での駅弁の販売、あそうばらの谷の倉庫を改築し、まぜご飯を提供するレストランの営業を行った。いずれも、お米は養老のめぐみを使った。

また、イノシシ肉を使ったメニューを提供するレストランや、旧白鳥小学校で開催した「おにぎりのための、毎週運動会」では、養老のめぐみを使ったおにぎりを提供するとともに、月出工舎では、市原産の米粉をつかった団子、IAAESのカフェでは、市原産の野菜を使ったメニューを提供し、来場者に市原の「食」を提供することができた。

【実施効果】

- ①会期終了後、「山覚俵家」を運営したJA市原市女性部が、11月下旬からカフェの営業を開始する。このように、新たなビジネスモデルになることができた。

②市原産の美味しいお米や農産物を PR することにつながった。

アーティストの長期的な活動や異業種からの多様な人々の参加

【ねらい】

「いちハラアート×ミックス」の中核を担うのは、40 歳前後の第一線アーティストたちである。それらのアーティストたちが考え、継続し長期的に市原に関わり、ものづくりにとどまらないソフトづくりを進める。

【実施内容】

今回の芸術祭には、40 歳前後の第一線アーティストを中心に採用した。

旧月出小学校の中心的存在の岩間賢さんからは、月出小学校に作品を展示するアーティストの選考の際には、地域に根付き継続して活動することができるアーティストの提案があった。

また、開発好明さんの加茂学園との協働制作をはじめ、地域の方々のご協力をいただきながら、作品制作を行った。

【実施効果】

- ①長期的な地域づくりを目指して取り組んでいるアーティストを活用したことで、会期後も閉校施設などの有効活用について複数のアーティストが検討している。
- ②同じ世代のアーティストが集まったことで、他の芸術祭では体験できないような交流が生まれた。又、地元の人々への思いが深くなったというコメントをいただいた。



(2)経済波及効果

一般的に経済波及効果とは、イベントの開催や大型投資等によって新たに生み出された需要が直接誘発する生産とともに、その生産活動を通じて他の産業にも波及して誘発される生産までのことを言う。

今回は、「平成 17 年千葉県産業連関表による経済波及効果簡易分析ツール」を使用し経済波及効果を算出した。

【前提条件】

来場者については、1 人の来場者が複数の会場を訪れたという状況を勘案し、平均で一人当たり 4 カ所来場したと想定し、延べ 87,025 人の実来場者を 21,756 人、消費額を 2 億 5,159 万円と推計した。

※一人あたりの消費額は、来場者アンケートによる（下記のとおり）。

一人あたり平均消費額

(単位：円)

項目	県内日帰り	県外日帰り	県内宿泊	県外宿泊
①芸術祭の作品施設鑑賞費（鑑賞パスポート代、個別鑑賞料等）	3,460	3,730	4,574	4,179
②交通費（鉄道やバス等の運賃・レンタカー代、高速道路料金など）	908	3,152	2,479	8,674
③宿泊費	0	0	4,447	7,289
④飲食費	1,628	1,558	4,479	4,699
⑤お土産	963	927	2,281	2,222
⑥①以外の美術館や観光施設等の入場料、その他娯楽費	82	104	972	645
⑦その他	52	147	106	193
計	7,093	9,618	19,338	27,901

①直接効果…来場者の消費額と作品制作費や警備費などの主催者経費の総額

②第 1 次間接波及効果…新たな生産（直接効果）によって生じた原材料等の投入によって誘発された生産額

③第 2 次間接波及効果…直接効果と第 1 次間接波及効果によって生じた雇用者所得の増加分が、新たな消費に向けられることにより、各産業の生産額が増加した額

実行委員会の 3 カ年の事業費は、総額 3 億 8,729 万円、関連事業費の総額が 3,068 万円、来場者消費額が 2 億 5,159 万円となり、来場者消費額と主催者等経費の総額（最終需要増加額）が 6 億 6,956 万円となった。

そこで、この最終需要増加額を千葉県産業連関表の 36 部門に振り分け、経済波及効果簡易分析ツールに値を入力し経済波及効果を算定した。

※ () は県内額 (単位：百万円)

1. 直接効果 (最終需要増加額)	670 (393)
-------------------	-----------

(単位：百万円)

2. 分析結果	合計	直接効果	第1次 間接効果	第2次 間接効果
生産誘発額	1,011 (598)	670 (393)	186 (115)	155 (90)

() は県内額

推定来場者数	21,756 人
3ヵ年事業費 (H26.9.30現在執行済額)	387,295,490 円
関連事業	30,679,680 円
消費額	251,591,582 円
直接効果 (最終需要増加額)	669,566,752 円

直接効果 (最終需要増加額)	669,560,000 (393,210,000) 円
一次間接効果まで合計 (1.28倍)	856,000,000 (507,910,000) 円
二次間接効果まで合計 (1.51倍)	1,011,260,000 (598,360,000) 円

【説明】

経済波及効果簡易分析ツールに基づき算定した結果、直接効果と1次波及効果の合計は8億5,600万円となる。2次波及効果を含めた経済波及効果の合計は約10億1,100万円となる。直接効果に対する誘発効果は、1次波及効果までで1.28倍、2次波及効果を含めると1.51倍となる。

来場者消費額と主催者等経費の直接効果 (最終需要増加額) の6億7,000万円に県内自給率をかけると、県内の直接効果は約3億9,300万円となり、直接効果と1次波及効果の合計は5億800万円、2次波及効果を含めた県内の生産波及効果の合計は約5億9,800万円となる。

成果

①市内の宿泊施設、観光施設、飲食店、タクシー会社などを対象としたアンケートでは、営業実績や売上が増加したと答えた方は36.5%、近隣の中房総エリアの宿泊施設、観光施設、飲食店を対象にしたアンケートでは、営業実績や売上が増加したと答えた方は53.3%と回答があった。

課題

①初回であったため市の実績値がなく、先進地の数値を参考に算出したため目標値が大きくなった。次回以降は今回の実績データに基づき、より正確な目標値を示す必要がある。

7 アンケート等

(1) 各種アンケートの検証

今回の芸術祭の開催について、下記の通りアンケートや聞き取り調査を行った。実施方法や主な意見は以下のとおり。

来場者アンケート

実施日：2014/3/21-5/11

実施場所：市原湖畔美術館や IAAES、内田未来楽校など作品を設置した主要施設

回答数：2,643 件

※回答者の性別は「女性」が 61.3%を占め、年齢は「30 代までの若い年齢層」が 60.0%を占めた。他の芸術祭同様、若い女性の来場が多かったと考えられる。逆に「60 代以上の来場者」は 8.8%と少なかった。

回答結果：

- ①芸術祭の感想について、「とても良い」「まあまあ良い」と回答した方が 89.6%となっており、来場してくれた方の評価は非常に高かった。
- ②次回開催した場合にまた訪れたいかという質問に対して、「ぜひ来たい」「来たい」と回答した方が 84.1%となっており、アンケートに回答してくれた来場者の多くが、リピーターとして次回開催した場合も訪れてくれる可能性が高いことがわかった。
- ③自由記述欄には、「継続して欲しい」や「次回も開催して欲しい」といった継続開催を希望する意見もみられた。
- ④広報や駐車場に対する不満の意見が多く寄せられた。
- ⑤居住地については、市内が 24%という低い数字となり、市民の呼び込みが出来ていなかったことがわかる。

市民等へのアンケート

実施日：2014/9/15-9/30

実施場所：市役所、支所、公民館、コミュニティセンターでの用紙配布、公式ウェブサイトから用紙のダウンロード、メールでの提出も可能とした。

回答数：215 件

※回答者の居住区は、市原地区と五井地区で全体の約 40%。

【受付期間】平成26年9月15日(月)～9月30日(火)	
設問1 お住まいの地区	<input type="checkbox"/> 神崎・ <input type="checkbox"/> 市原・ <input type="checkbox"/> 五井・ <input type="checkbox"/> 有秋・ <input type="checkbox"/> 市津・ <input type="checkbox"/> 原田谷・ <input type="checkbox"/> 三和 <input type="checkbox"/> 南総・ <input type="checkbox"/> 加茂・ <input type="checkbox"/> ちはら台・ <input type="checkbox"/> 市外
設問2 性別	<input type="checkbox"/> 男・ <input type="checkbox"/> 女
設問3 年代別	<input type="checkbox"/> 10代以下・ <input type="checkbox"/> 20代・ <input type="checkbox"/> 30代・ <input type="checkbox"/> 40代・ <input type="checkbox"/> 50代・ <input type="checkbox"/> 60代以上
設問4 芸術祭を知っていましたか	<input type="checkbox"/> 知っていた・ <input type="checkbox"/> 知らなかった
設問5 芸術祭に行きましたか	<input type="checkbox"/> 行った・ <input type="checkbox"/> 行かなかった ※行かなかった場合は理由をお書きください。 理由： <input type="text"/>
設問6 開催時期について	<input type="checkbox"/> 良い・ <input type="checkbox"/> 普通・ <input type="checkbox"/> 悪い・ <input type="checkbox"/> わからない 理由： <input type="text"/>
設問7 料金(鑑賞バスケットなど)について	<input type="checkbox"/> 良い・ <input type="checkbox"/> 普通・ <input type="checkbox"/> 悪い・ <input type="checkbox"/> わからない 理由： <input type="text"/>
設問8 展示作品について	<input type="checkbox"/> 良い・ <input type="checkbox"/> 普通・ <input type="checkbox"/> 悪い・ <input type="checkbox"/> わからない 理由： <input type="text"/>
設問9 広報宣伝について	<input type="checkbox"/> 良い・ <input type="checkbox"/> 普通・ <input type="checkbox"/> 悪い・ <input type="checkbox"/> わからない 理由： <input type="text"/>
設問10 交通計画(駐車場など)について	<input type="checkbox"/> 良い・ <input type="checkbox"/> 普通・ <input type="checkbox"/> 悪い・ <input type="checkbox"/> わからない 理由： <input type="text"/>
設問11 その他(自由意見)	<input type="text"/>

【注意事項】 公開の際はご意見等以外を公表いたしません。お寄せいただいたご意見等は、本芸術祭の検証に使用させていただきます。今回はご意見等の掲載ですので、ご意見等に拘束する回答はできません。また、口頭や電話による受付はしていません。ご了承ください。
【問い合わせ先】 〒290-8501 南原市国際芸術祭棟 (いちほらアート×ミックス実行委員会事務局)
E-mailによるお問い合わせ → ikahara@city.ichihara.chiba.jp 電話: 0439-231-7005

次に開催地区の南総と加茂で全体の約 25%を占める。

性別は、女性が約半数となっている。年代は50代以上が 68.4%であった。

回答結果：

- ①芸術祭の認知度は、知っていた人が9割近くであったが、回答者のうち、実際に訪れた人は、56%程度となった。
- ②パスポート料金について、鑑賞パスポートと交通パスポートの単独販売をするべき。
- ③市民が何回も行けるようなパスポートを検討して欲しい。
- ④広報宣伝不足が指摘されるとともに、ポスターやホームページがわかりにくい。
- ⑤駐車場料金をはじめ交通計画については悪いという意見が多く、次回の開催については改善が必要である。

市民団体等からの意見

【意見交換会】

芸術祭の作品設置エリア内で、里山の整備保全や地域活性化のために、芸術祭以前から自主的に活動している市民団体を対象に芸術祭の報告と意見交換会を開催した。

実施日：2014/7/24

実施場所：加茂公民館会議室

参加者：18の市民団体から29人

意見等：

- ①過疎化していた地域に多くの人々が訪れ活気に溢れた。
- ②メディア取材が多く、地元や市原市の知名度がアップした。
- ③地元の人々に結束が生まれた。
- ④作品に隣接してカフェを開いた。休まず運営できたことは、地元住民の励みになった。
- ⑤地域団体により活動内容や頻度に差がでた。
- ⑥閉校5校のうち、2校には作品が設置されなかったため、作品のない学校に関係する町会は、町会として応援ができなかったことから、南いちほらに平等に作品を設置してほしい。
- ⑦地元の協力をもっと増やすために、芸術祭やその作品、協力いただく内容の説明を、より丁寧に行うべきである。

【町会アンケート】

作品設置場所の関連町会（旧白鳥小学区内3町会、月出町会、月崎町会）に対してアンケート調査を行った。

意見等：

- ①住民の多くが芸術祭に関わったと思うので良かった。関わった人は楽しかったと言っている。

- ② 1回目としてはまずまずの出来、及びまずまずの来場者だったと思う。
- ③ サポーターとして参加する人を増やすことが大事だったと思う。
- ④ 地元の作家が多く採用されたら良いと思う。
- ⑤ このようなイベントが無ければまず人々が集まることがないところだった。そこへ、様々な所から多数の人たちが来たのでよかった。
- ⑥ 駐車場料金は地元では不評であった。
- ⑦ 市民に対しては、全町会を通して強力な PR をすべきでなかったか。
- ⑧ 地元住民がもう少し参加するようアプローチの工夫が必要と思う。

菜の花プレーヤーズアンケート

実施日：2014/6/20-30

実施方法：登録者にメールで依頼。回答はメール又は FAX

回答数：45 人

意見等：

- ① 今回の 52 日間のみを評価の対象とするのか、それともトリエンナーレとして 3 年後、6 年後を意識してのスタートラインが今回なのか、時間の切り取り方で随分と見方は異なると思う。広報の遅れが指摘されていたが、52 日間だけを切り取るとそうかも知れないが、3 年後、6 年後を考えたら大した問題じゃない。スタートとしては上々だったと思う。それより次を見据えて、地域資源を掘り起こして行くことが大事だと思う。
- ② お客さんが少なかったことばかり取り上げられるが、中身も濃く面白いイベントだったと思う。後半になるにつれお客さんがたくさん来てくれていたことが何よりの証明かと。ただ、会期が終わった後、あの地域を訪れてみて、あんなイベントもあったのかな、とってしまうくらい、既に過去のもののように感じられる点が心配。アート×ミックスをやった本当の意味はこれから問われる。
- ③ PR 活動にもっとコストをかけるべき。集客があれば結果、資金の回収につながると思う。
- ④ 今回、目標来場者数を下回る結果になったことを踏まえ、他の現代アートのイベントとの差別化や、市内・県内の他のイベントのほか、民間も含めた施設との連携を図るなど、広報以外にも集客につながる方策を検討すべきと考える。

8 総括

(1) 実施効果のまとめ

本文中にも記載しているが、今回の芸術祭は、大きく4つのコンセプトに基づき取り組んだ。

廃校の活用については、地域コミュニティの低下に対応するため、平成25年3月に閉校になった小学校や地元の市民団体が管理している木造校舎を作品の展示会場として活用することで、地元の団体や住民が積極的に係わり、来場者や作家、サポーターとの交流を生み出すことができた。このことは、全国的にも課題となっている廃校施設の利活用策のモデルになった。

次に、小湊鐵道・乗物の活用については、市民の重要な交通手段である鉄道を、駅舎への作品展示や車両内での演劇など鉄道の新たな活用方法を提案することができた。

豊かな自然と食の提供という部分では、会期を菜の花と桜のシーズンに設定することで、訪れた方々に、「首都圏のオアシス・市原」を感じてもらえた。食のプログラムでは、空き家を活用したレストランを開店したが、芸術祭終了後に、JA市原市がカフェの営業を開始するなど、新たなビジネスモデルにもなった。

また、今回の参加アーティストは、地域に入り込み、地域と共にまちづくりに参加できる人を採用した。選考されたアーティストは、会期前の準備から地域の人々と交流し、会期後も継続活動を進めているアーティストも複数いる。このことは、今後の南部地域のまちづくりの一端を担うことができるのではないかと考える。

さらに、ボランティアサポーター組織「菜の花プレーヤーズ」は、市内だけでなく、市外県外からもたくさんの参加をいただき、延べ約3,800人のボランティアに支えていただくことができた。この方々は、今後のまちづくりを進める上で大きな力になると思われる。

今回の芸術祭では、4つのコンセプトを中心に「課題解決型芸術祭」として開催したことから、国内で盛んになっている芸術祭の中でも、特徴がある芸術祭を開催することができた。

項目	効果
①廃校の活用	施設の利活用策の先進事例となった。
②小湊鐵道・乗物の活用	新たな観光資源として活用した。
③豊かな自然と食の提供	菜の花や桜が満開のロケーション、養老のめぐみをはじめとする市原の食を提供することができた。
④アーティストの長期的な活動や異業種からの多様な人々の参加	これからのまちづくりに継続的参画することが期待できる。
⑤菜の花プレーヤーズ	市内外からの多くのサポーターは今後の大きな力となる。

(2) 今後に向けて

今回の実施結果及びその課題並びに各アンケートの意見等を参考にすると、事業全般に言えることだが、準備期間が足りず、広報宣伝、住民参加などが不十分であった。特に、参加アーティストの決定が遅れたことによりアーティストが地域の人々と交流する機会が不足したこと、また、里山などの豊かな自然や地元農産物など地域資源の活用という面も不足していたのではないかとと思われる。

また、来場者の交通計画についても、駐車場問題をはじめ、会場をめぐる周遊バスの運行ダイヤなどの改善が必要である。

このことから、次回の開催については、今回の課題を改善するとともに、より効果的なものにするために、以下の点の検討が必要である。

重点課題

1	市民への周知及び広報宣伝の強化	<ul style="list-style-type: none">・市民の理解を深めるためには、広報紙での定期的な情報発信はもとより、地区単位での説明会の開催などが必要である。また、全戸回覧などで進捗状況の発信やサポーターの協力要請を行う。・広く情報を発信するために、各メディア等へのネットワークをもっている広告代理店などを活用する。・新聞や雑誌、テレビ、ラジオなどのメディアの持つ発信力を有効活用する。
2	交通計画の見直し	<ul style="list-style-type: none">・小湊鐵道と周遊バスを使つての作品巡りは、一定の効果があったので、このシステムを認知してもらうためにも、駅からアクセスしやすい場所への作品設置を検討し、公共交通機関を使つての作品巡りを浸透させる。・周遊バスの運行は、乗り継ぎ場所や鉄道との接続場所での時間に余裕をもったダイヤとする。・会場内の駐車場の運営方法は、改善を要する。
3	千葉県や周辺自治体との連携	<ul style="list-style-type: none">・中房総エリアへの波及効果を生むためには、周辺自治体との連携を密にする必要がある。また、千葉県の協力も受けて、県全体へ波及するような取り組みにする必要がある。
4	財源の確保	<ul style="list-style-type: none">・芸術祭を継続するためには、特定財源の確保が必要であることから、国・県の補助金や財団等の助成金の確保、寄付・協賛の協力、ふるさと納税制度の活用が必要である。

運営方法等の課題

1	プロデューサーの配置	<ul style="list-style-type: none">・ 広報宣伝や交通計画など芸術祭全体を監修するための総合プロデューサーを配置をする。
2	廃校施設の有効活用	<ul style="list-style-type: none">・ 作品展示会場として活用した小学校の継続した活用について、教育委員会との協議を進め、継続する作品の維持管理については、アーティストと協議しながら対応する。
3	鑑賞パスポート・交通パスポートの販売方法	<ul style="list-style-type: none">・ 自家用車で会場内移動する人のために、鑑賞パスポートのみの販売を検討する。・ 市民割引を検討する。

継続するための課題

1	継続イベントの実施	<ul style="list-style-type: none">・ 継続したまちづくりの手段として地域に定着させるために、廃校等を活用し、ワークショップや小規模なイベントを定期的で開催する。
2	菜の花プレーヤーズの活動強化	<ul style="list-style-type: none">・ 中心となる人材の育成などに取り組み、本市のまちづくりの活動にも係わることができる組織へと強化を図る。

中房総国際芸術祭いちほらアート×ミックス実行委員会

〒290-8501

千葉県市原市国分寺台中央1-1-1

市原市経済部観光振興課内

電話 0436-23-7005

中房総国際芸術祭 いちはらアート×ミックス

参考資料

(アンケート集)

(1) 会期中来場者アンケート (3/21-5-11)

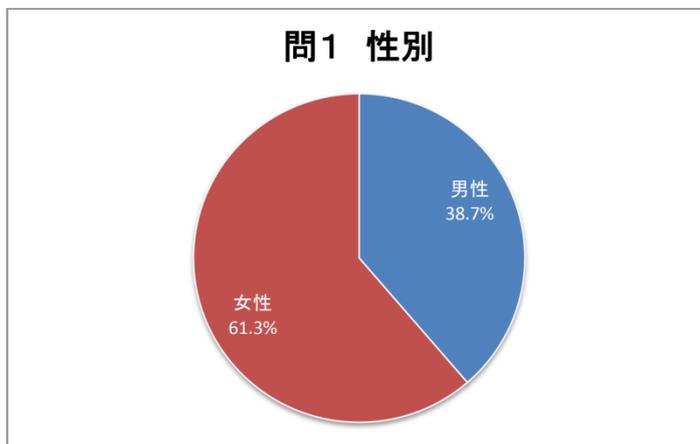
●アンケート回収数 2,643枚

(設問毎に未回答があったため、票数の違いあり)

問1 性別

回答	票数	%
男性	1,006	38.7%
女性	1,595	61.3%
合計	2,601	100.0%

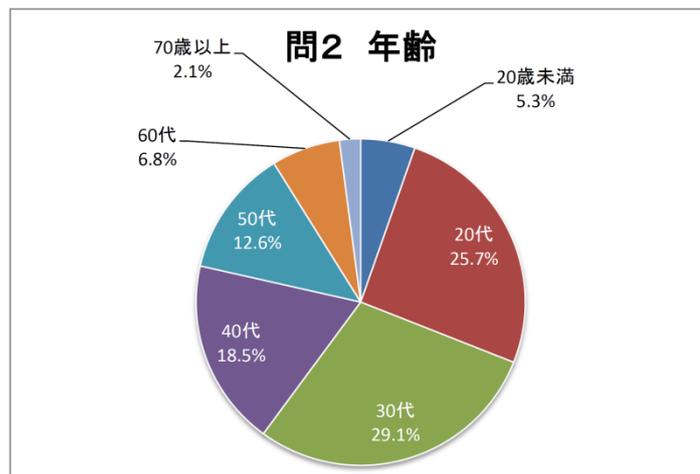
・女性が6割を超えていた。



問2 年齢

回答	票数	%
20歳未満	139	5.3%
20代	668	25.7%
30代	756	29.1%
40代	481	18.5%
50代	328	12.6%
60代	176	6.8%
70歳以上	54	2.1%
合計	2,602	100.0%

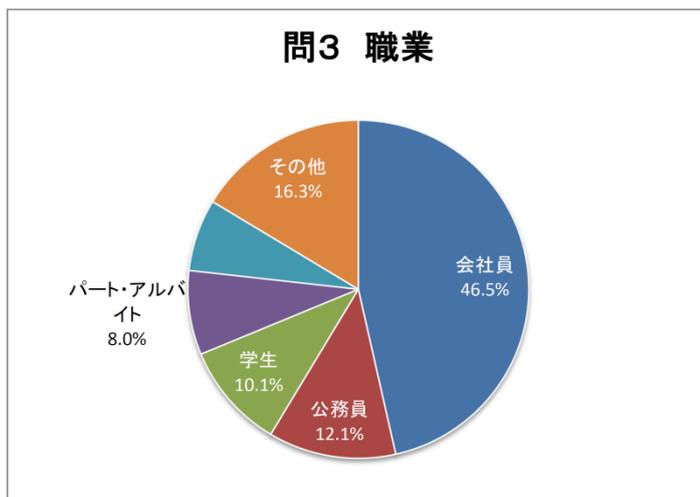
・30代が最も多く、20代がその次に多い。
 ・20歳未満～30代の若い年齢層が6割を占めた。



問3 職業

回答	票数	%
会社員	1,201	46.5%
公務員	313	12.1%
学生	262	10.1%
パート・アルバイト	208	8.0%
自営業	178	6.9%
その他	422	16.3%
合計	2,584	100.0%

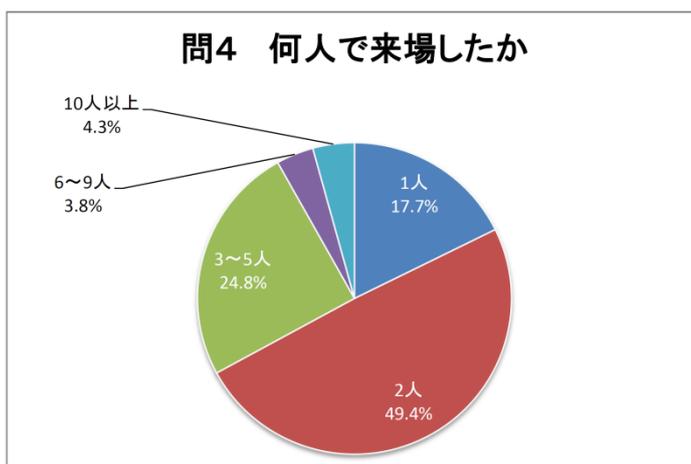
・会社員が最も多かった。



問4 何人で来場したか

回答	票数	%
1人	451	17.7%
2人	1,257	49.4%
3~5人	632	24.8%
6~9人	98	3.8%
10人以上	109	4.3%
合計	2,547	100.0%

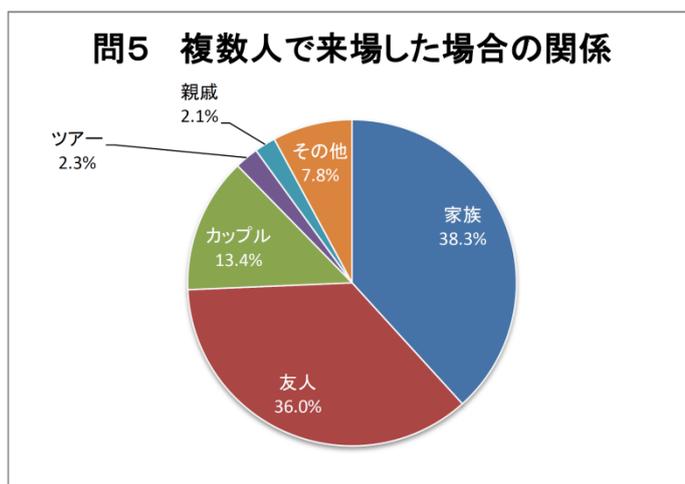
・2人組が約5割を占めた。



問5 複数人で来場した場合の関係

回答	票数	%
家族	825	38.3%
友人	776	36.0%
カップル	289	13.4%
ツアー	50	2.3%
親戚	45	2.1%
その他	169	7.8%
合計	2,154	100.0%

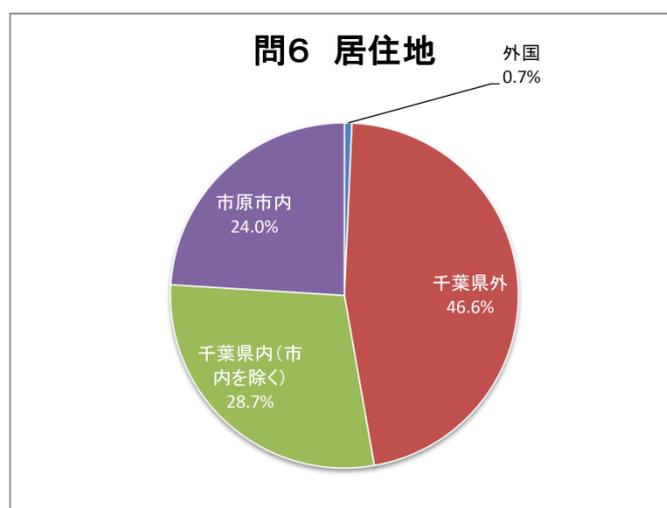
・家族や友人同士での来場が多かった。



問6 居住地

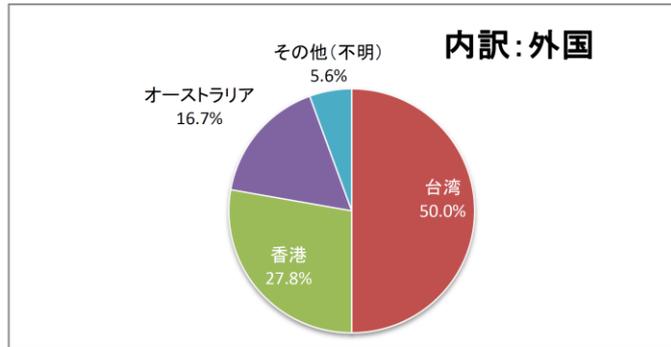
回答	票数	%
外国	18	0.7%
千葉県外	1,210	46.6%
千葉県内(市内を除く)	747	28.7%
市原市内	624	24.0%
合計	2,599	100.0%

・千葉県外からの来場者が最も多かった。
・市内からの来場者は、全体の約1/4である。

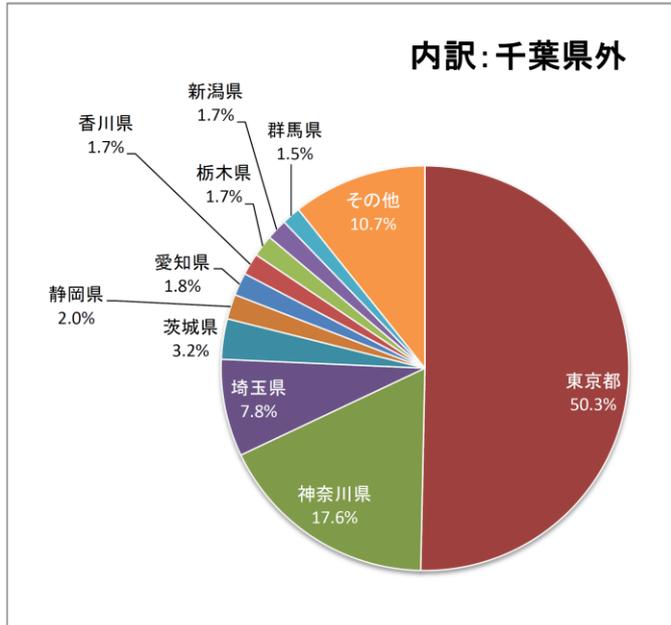


内訳

外国		
台湾	9	50.0%
香港	5	27.8%
オーストラリア	3	16.7%
その他(不明)	1	5.6%
合計	18	100.0%



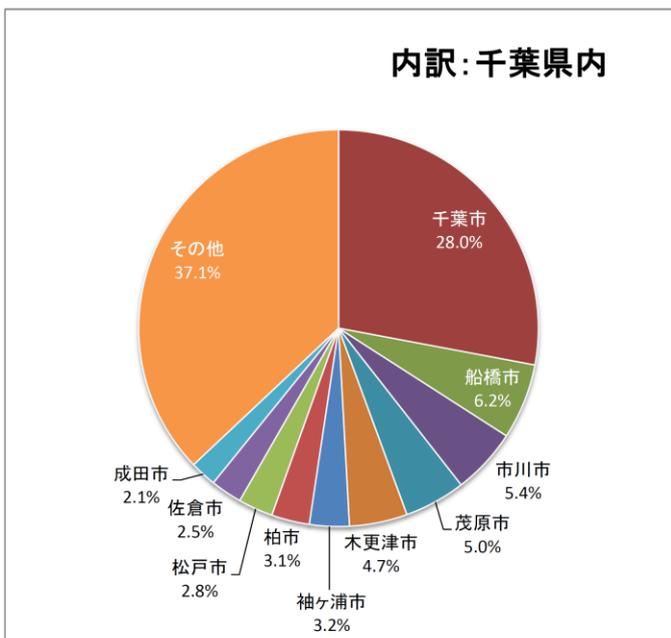
千葉県外		
東京都	609	50.3%
神奈川県	213	17.6%
埼玉県	94	7.8%
茨城県	39	3.2%
静岡県	24	2.0%
愛知県	22	1.8%
香川県	21	1.7%
栃木県	21	1.7%
新潟県	20	1.7%
群馬県	18	1.5%
その他	129	10.7%
合計	1210	100.0%



その他 内訳

(北海道、青森県、秋田県、宮城県、福島県、山梨県、長野県、石川県、岐阜県、福井県、滋賀県、三重県、奈良県、京都府、兵庫県、大阪府、岡山県、広島県、大分県、福岡県、鹿児島県)

千葉県内		
千葉市	209	28.0%
船橋市	46	6.2%
市川市	40	5.4%
茂原市	37	5.0%
木更津市	35	4.7%
袖ヶ浦市	24	3.2%
柏市	23	3.1%
松戸市	21	2.8%
佐倉市	19	2.5%
成田市	16	2.1%
その他	277	37.1%
合計	747	100%



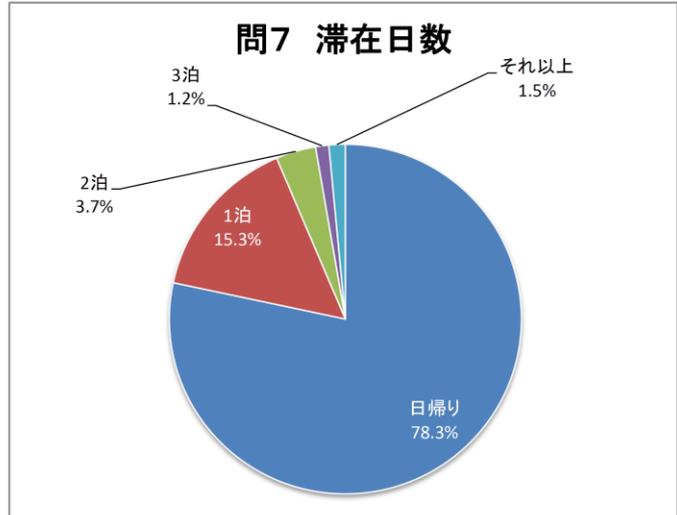
その他 内訳

(浦安市、習志野市、八千代市、八街市、鎌ヶ谷市、印西市、四街道市、銚子市、安孫子市、横芝光町、匝瑳市、東金市、白井市、香取市、多古町、山武市、君津市、富津市、富里市、鋸南町、大多喜町、九十九里町、大網白里市、一宮町、白子町、いすみ市、長柄町、長南町、睦沢町、勝浦市、御宿町、鴨川市、南房総市、館山市)

問7 滞在日数

回答	票数	%
日帰り	1,989	78.3%
1泊	388	15.3%
2泊	93	3.7%
3泊	31	1.2%
それ以上	38	1.5%
合計	2,539	100.0%

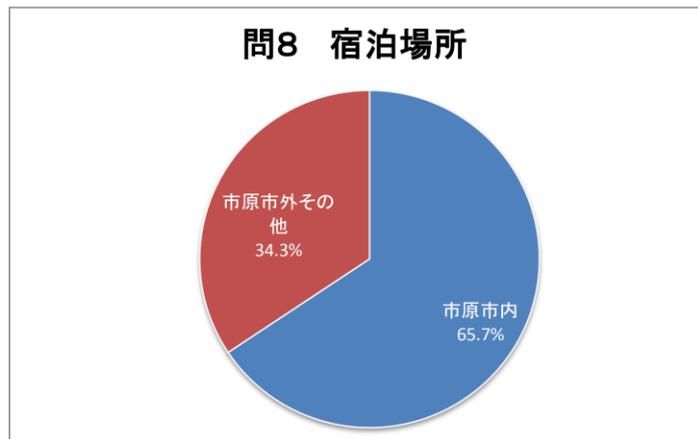
・日帰りの来場者が約8割を占めた。



問8 宿泊場所

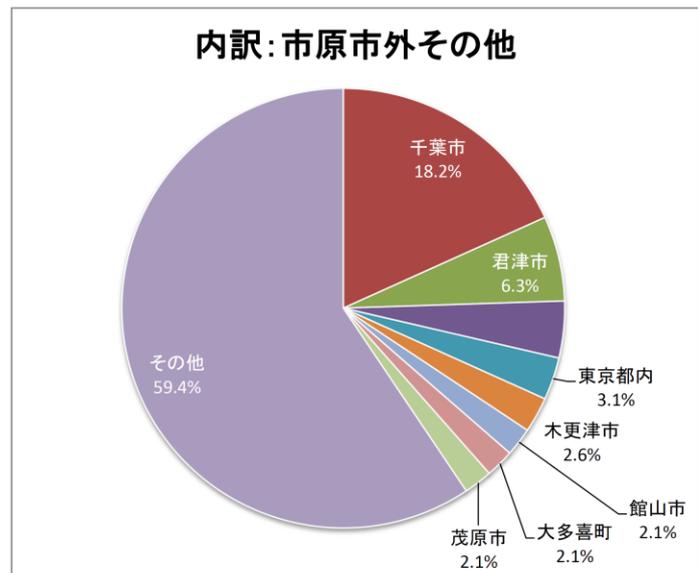
回答	票数	%
市原市内	367	65.7%
市原市外その他	192	34.3%
合計	559	100.0%

・市内に宿泊する来場者が多かった。



内訳

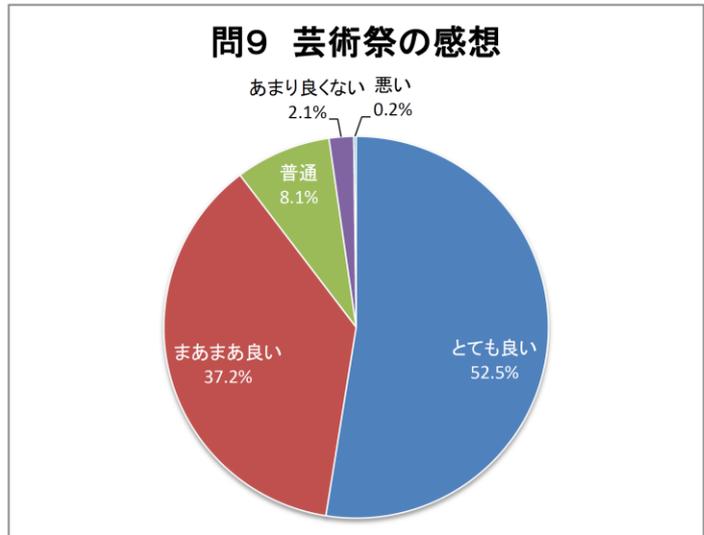
市原市外その他		
千葉市	35	18.2%
君津市	12	6.3%
勝浦市	8	4.2%
東京都内	6	3.1%
木更津市	5	2.6%
館山市	4	2.1%
大多喜町	4	2.1%
茂原市	4	2.1%
その他	114	59.4%
合計	192	100.0%



問9 芸術祭の感想

回答	票数	%
とても良い	1,323	52.5%
まあまあ良い	936	37.2%
普通	203	8.1%
あまり良くない	52	2.1%
悪い	5	0.2%
合計	2,519	100.0%

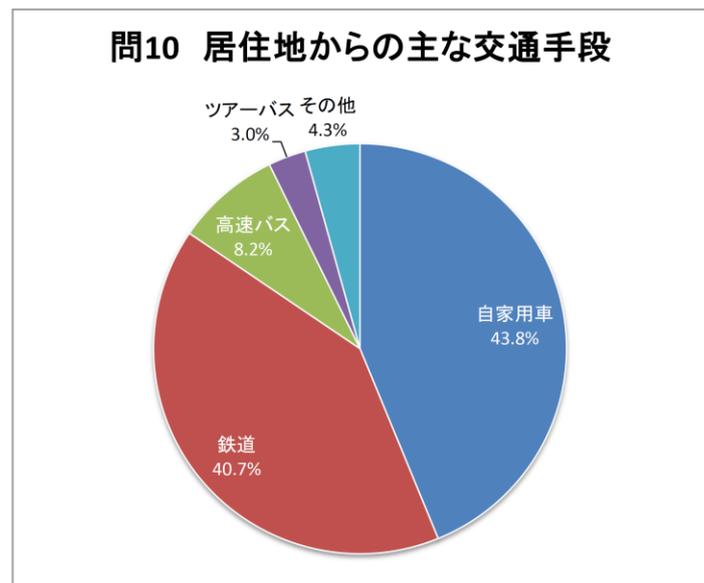
・とても良い、まあまあ良いを合わせて、9割近い来場者が良いと評価している。



問10 居住地からの主な交通手段(複数回答)

回答	票数	%
自家用車	1,217	43.8%
鉄道	1,130	40.7%
高速バス	229	8.2%
ツアーバス	82	3.0%
その他	119	4.3%
合計	2,777	100.0%

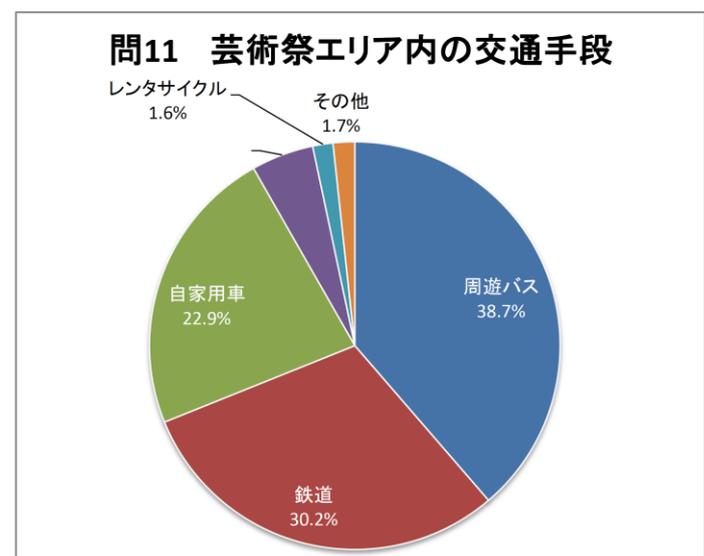
・会場までの交通手段は、自家用車が最も多かった。



問11 芸術祭エリア内の交通手段(複数回答)

回答	票数	%
周遊バス	1,504	38.7%
鉄道	1,172	30.2%
自家用車	890	22.9%
徒歩	191	4.9%
レンタサイクル	62	1.6%
その他	66	1.7%
合計	3,885	100.0%

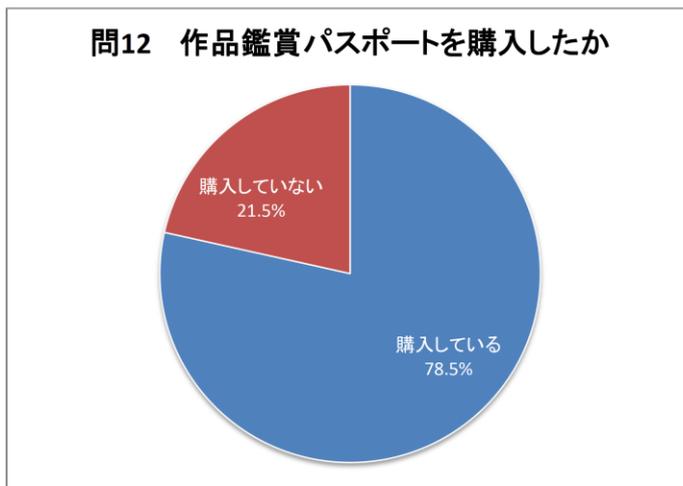
・エリア内では、周遊バスと鉄道で移動する来場者が多かった。



問12 作品鑑賞パスポートを購入したか

回答	票数	%
購入している	2,023	78.5%
購入していない	554	21.5%
合計	2,577	100.0%

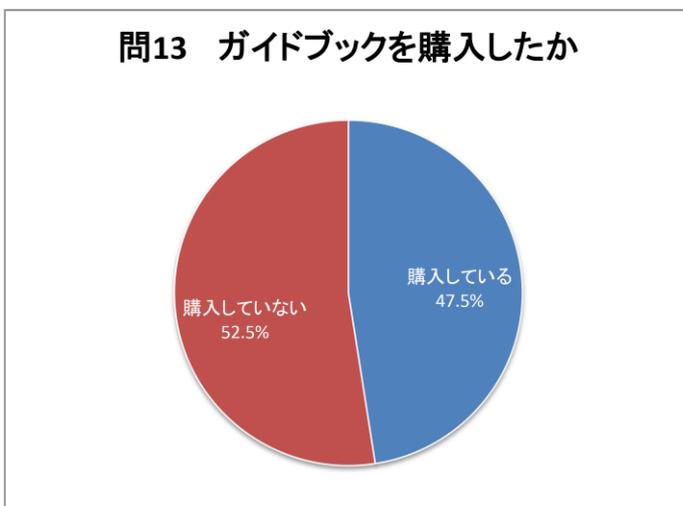
・パスポート購入者は約8割を占めた。



問13 ガイドブックを購入したか

回答	票数	%
購入している	1,225	47.5%
購入していない	1,352	52.5%
合計	2,577	100.0%

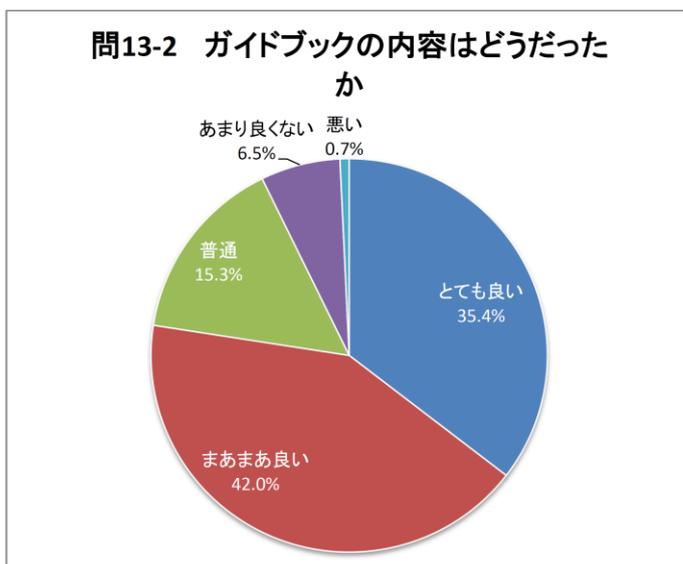
・ガイドブック購入者は約5割を占めた。



問13-2 ガイドブックの内容はどうだったか

回答	票数	%
とても良い	426	35.4%
まあまあ良い	505	42.0%
普通	184	15.3%
あまり良くない	78	6.5%
悪い	9	0.7%
合計	1,202	100.0%

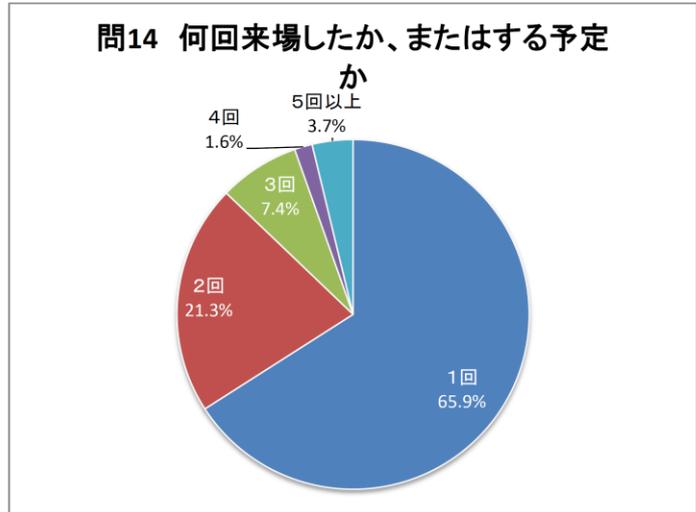
・とても良い、まあまあ良いを合わせて、8割近い来場者が良いと評価している。



問14 何回来場したか、またはする予定か

回答	票数	%
1回	1,690	65.9%
2回	546	21.3%
3回	190	7.4%
4回	42	1.6%
5回以上	96	3.7%
合計	2,564	100.0%

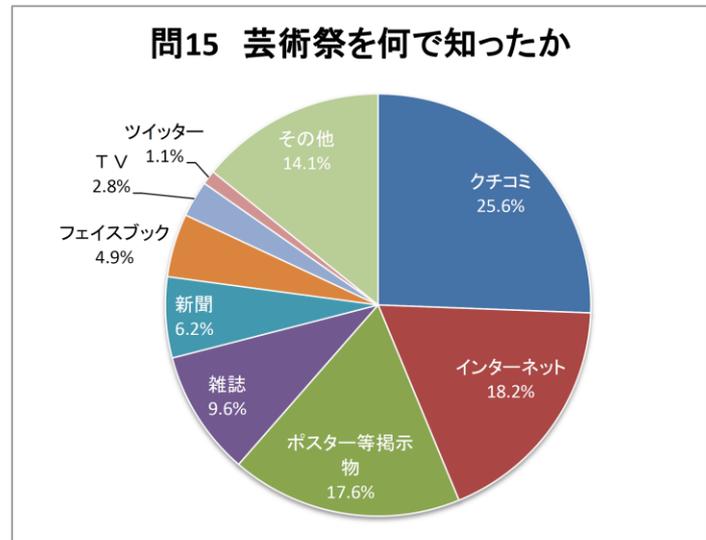
- ・来場回数1回の来場者が多くを占めた。
- ・2回以上のリピーターは、約35%だった。



問15 芸術祭を何で知ったか(複数回答)

回答	票数	%
クチコミ	802	25.6%
インターネット	570	18.2%
ポスター等掲示物	551	17.6%
雑誌	300	9.6%
新聞	194	6.2%
フェイスブック	152	4.9%
TV	87	2.8%
ツイッター	34	1.1%
その他	443	14.1%
合計	3,133	100.0%

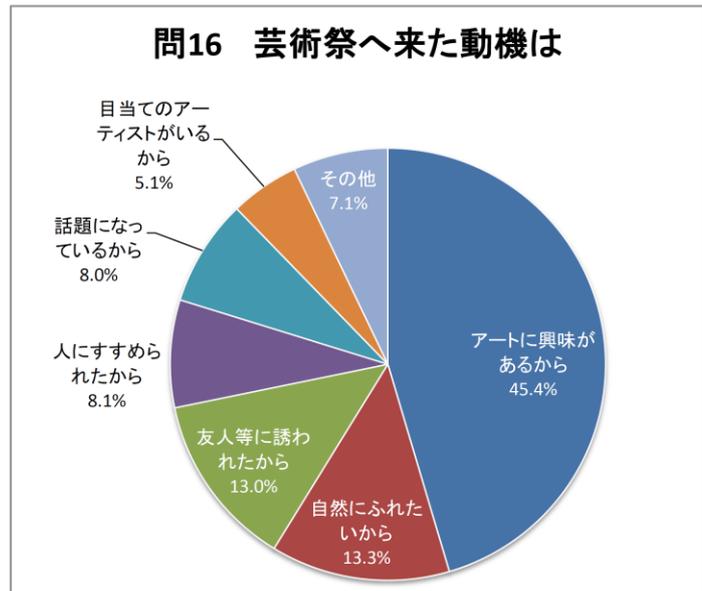
- ・クチコミで芸術祭を知った割合が最も多かった。



問16 芸術祭へ来た動機は(複数回答)

回答	票数	%
アートに興味があるから	1,659	45.4%
自然にふれたいから	486	13.3%
友人等に誘われたから	475	13.0%
人にすすめられたから	294	8.1%
話題になっているから	291	8.0%
目当てのアーティストがいるから	188	5.1%
その他	258	7.1%
合計	3,651	100.0%

- ・アートに興味がある来場者が約5割近くを占めた。



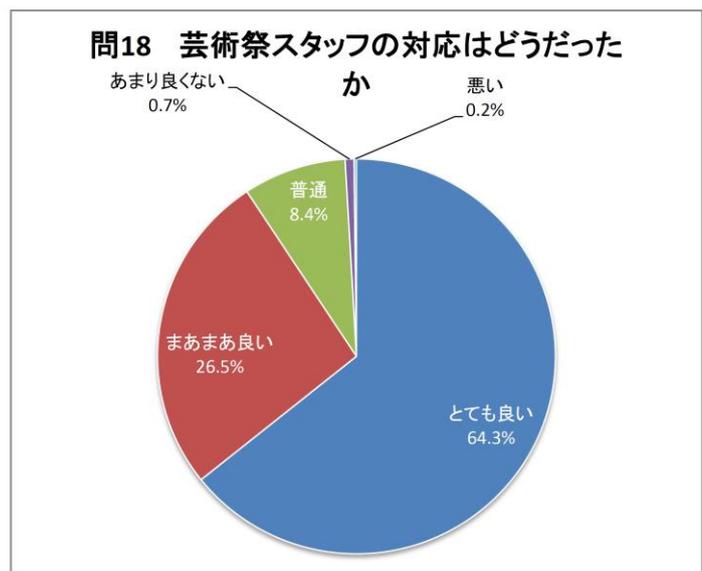
問17 【作品について】印象に残った作品と、印象に残った理由を教えてください。

主な作品名	作家名	理由
プリンシパル オフィス	栗林 隆	・想像以上に寒かったので、テンションが上がってしまった。
		・マイナス30度の世界を体験できる楽しさと、氷の美しさに触れて印象的だった。
		・廃校の時を止めて、いつか春になり、また時計が動き出すのでは！と未来が想像できた。
おかしな教室	滝沢 達史	・ヘンゼルとグレーテルが出てくるような感じで、見ていて自分も作品の中に引き込まれて一緒に遊んでいるようで楽しかった。
		・机の中のロッカーもユーモアに富んでいて楽しい。
		・子ども向けと思ったが、教会のような雰囲気さえあり、大人の夢を形にしたような作品で、はっとさせられた。
おおきな家	大巻 伸嗣	・古民家の匂い、シャボン玉はとても落ち着き、ずっと留まっていたい空間だった。
		・古い民家のシャボン玉が幻想的な空間の中に落ちてくる様子は、芸術なんてひとつもわからない私にも強く印象に残りました。
		・部屋の中に煙の玉が落ちてくるのが不思議で謎だ。
スピード・スペース・スピーチ	ミシャ・クバル	・部屋の中の時空が歪んでいる感覚が面白かった。楽しかった。
		・異空間が味わえてよかった。空間に完全に支配されている感じだった。
		・部屋全体が美しく、別世界にいるようだった。
あんなに愛しあったのに～中房総小湊鐵道編	指輪ホテル	・電車の中という体験したことのない場所でのパフォーマンスに加え、市原の風景や歴史を丸ごと取り込んだ演出が印象的だった。
		・今までに見たことのない作品で驚きや楽しさがあって印象的だった。
		・五感を使って鑑賞する、新感覚の演劇で素晴らしい。

問18 芸術祭スタッフの対応はどうだったか

回答	票数	%
とても良い	1,336	64.3%
まあまあ良い	550	26.5%
普通	174	8.4%
あまり良くない	15	0.7%
悪い	4	0.2%
合計	2,079	100.0%

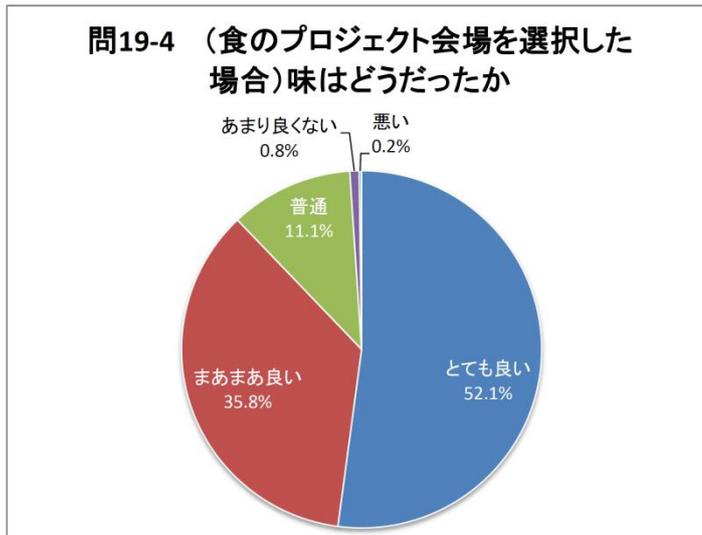
・とても良い、まあまあ良いを合わせて、9割以上の来場者が良いと評価している。



問19-4 (食のプロジェクト会場を選択した場合)味はどうだったか

回答	票数	%
とても良い	495	52.1%
まあまあ良い	340	35.8%
普通	105	11.1%
あまり良くない	8	0.8%
悪い	2	0.2%
合計	950	100.0%

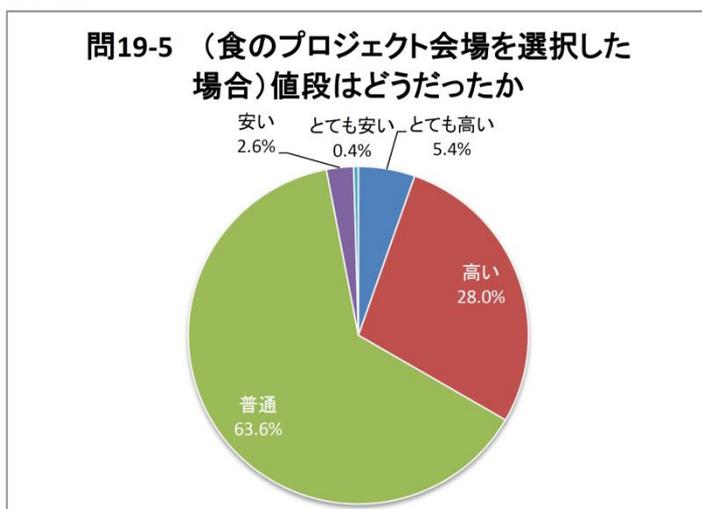
・とても良い、まあまあ良いを合わせて、9割近くの来場者が味を評価している。



問19-5 (食のプロジェクト会場を選択した場合)値段はどうだったか

回答	票数	%
とても高い	48	5.4%
高い	250	28.0%
普通	568	63.6%
安い	23	2.6%
とても安い	4	0.4%
合計	893	100.0%

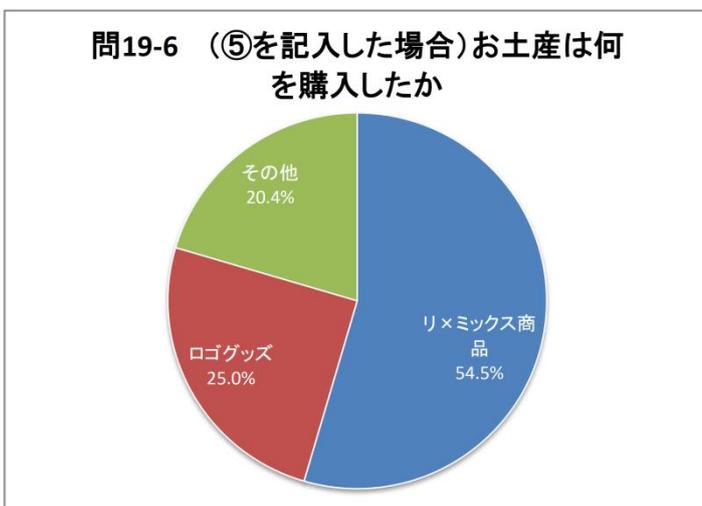
・普通と回答する来場者が6割以上を占めている。
・約3割の方が高いと感じている。



問19-6 (⑤を記入した場合)お土産は何を購入したか

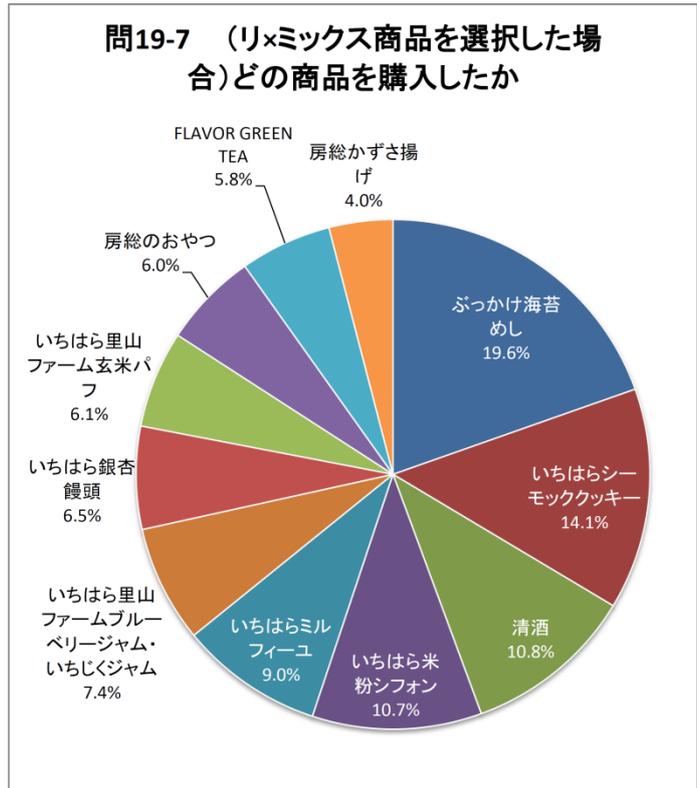
回答	票数	%
リ×ミックス商品	403	54.5%
ロゴグッズ	185	25.0%
その他	151	20.4%
合計	739	100.0%

・リ×ミックス商品、ロゴグッズ合わせて8割近くが芸術祭関連の土産を購入した。



問19-7 (リ×ミックス商品を選択した場合)どの商品を購入したか(複数回答)

回答	票数	%
ぶっかけ海苔めし	156	19.6%
いちほらシーモッククッキー	112	14.1%
清酒	86	10.8%
いちほら米粉シフォン	85	10.7%
いちほらミルフィーユ	72	9.0%
いちほら里山ファームブルーベリージャム・いちじくジャム	59	7.4%
いちほら銀杏饅頭	52	6.5%
いちほら里山ファーム玄米パフ	49	6.1%
房総のおやつ	48	6.0%
FLAVOR GREEN TEA	46	5.8%
房総かずさ揚げ	32	4.0%
合計	797	100.0%



問19-8 (リ×ミックス商品を選択した場合)感想 ※主な意見

良かった点

・パッケージがおしゃれでかわいく、味も美味しかった。
・パッケージがかわいくて購買意欲をそそった。集めたいくなる。
・アート×ミックスのお土産が欲しかったから良かった。お土産に最適。
・どれもよそでは手に入らない感じがよい。通販希望。
・オリジナリティがあってよい。
・いちじくの商品が珍しい。いちほらミルフィーユがとておいしかった。
・ぶっかけ海苔めしは昔から食べていたものが、パッケージが変わる事で見違えて驚きました。
・手ぬぐいのデザインが良かった。
・ご当地食材を使った食品はとても価値が高いと感じます。

悪かった点

・清酒がほしかったけど、決められた所でしか買えないのは残念でした。
・ハンカチ等、もっと種類があっても良かったのでは。
・もっと地域性のあるパッケージが良かった。
・終了後もサンブラや道の駅など、公共施設の売店において下さい。手土産に使えます。
・ばらまき系があると嬉しい。
・各駅限定のがあればよかったかも。

問20 芸術祭以外に訪れた(訪問予定)観光地はあるか

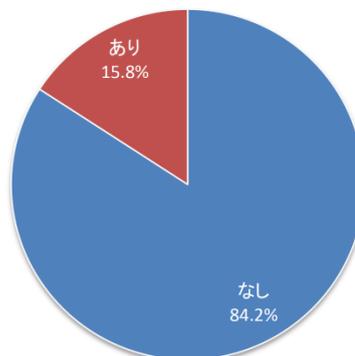
回答	票数	%
なし	1,561	84.2%
あり	294	15.8%
合計	1,855	100.0%

ありの場合の訪問先

養老渓谷(36人)、東京都(11人)、高滝ダム(11人)、いちほろの国(8人)、勝浦市(5人)、館山市(5人)、粟又の滝(5人)、いちほろ市民の森(4人)、木更津アウトレット(3人)、笠森観音(3人)、DIC川村記念美術館(3人)、その他

・芸術祭だけを目当てに訪れる方が8割を超えている。

問20 芸術祭以外に訪れた(訪問予定)観光地はあるか

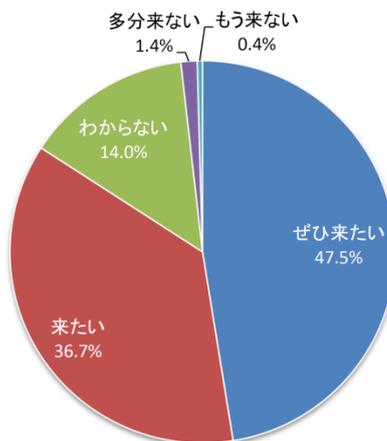


問21 次回も開催した場合、また訪れたいか

回答	票数	%
ぜひ来たい	971	47.5%
来たい	751	36.7%
わからない	287	14.0%
多分来ない	28	1.4%
もう来ない	9	0.4%
合計	2,046	100.0%

・ぜひ来たい、来たいを合わせて8割以上が、次回も来場したいと回答している。

問21 次回も開催した場合、また訪れたいか

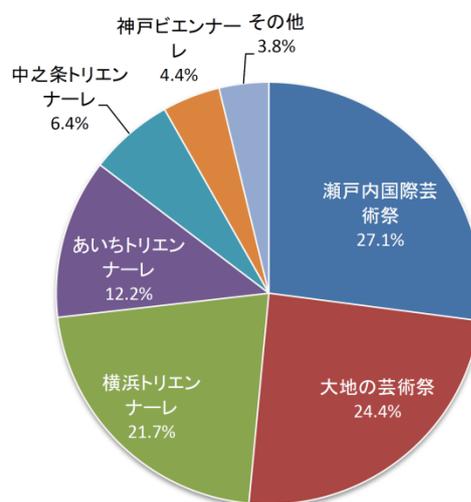


問22 他の芸術祭に行ったことがあるか(複数回答)

回答	票数	%
瀬戸内国際芸術祭	640	27.1%
大地の芸術祭	577	24.4%
横浜トリエンナーレ	512	21.7%
あいちトリエンナーレ	289	12.2%
中之条トリエンナーレ	152	6.4%
神戸ビエンナーレ	104	4.4%
その他	89	3.8%
合計	2,363	100.0%

・瀬戸内国際芸術祭と大地の芸術祭で、全体の半分以上を占めている。

問22 他の芸術祭に行ったことがあるか



問23 その他意見

良かった点

<p>・『継続は力』続けることにより人気が増えてくると思う。頑張って2回、3回と継続してください。何らかの形で息長く取り組んでください。10年くらい続けば、何かが残っていくかもしれませんね。</p>
<p>・次回も必ずやってください。初回の開催は何かと大変かと思いますが、こういう素敵なイベントは千葉県民としてうれしいです。期待しています。</p>
<p>・小学校がどれも建物として魅力的だったので、取り壊しをしないで継続して活かし、南市原の良さをアピールしてほしいです。</p>
<p>・あたたかみのある土地・人・作品が素敵だと思います。スタッフの方がみな親切。イベント全体の雰囲気が和やかで良いと思いました。</p>
<p>・いちはらの活性化となってこれから期待しています。地元民としてこういうイベントがあつてとてもうれしいです。これを機に中房総に芸術文化が根付いて欲しいです。</p>
<p>・千葉県在住なので千葉県で芸術祭が開催されてとてもうれしいです。これをきっかけに小湊鉄道にも乗りました。周りの知人にもお勧めしたいです。</p>
<p>・スタッフ、地元のみなさんの対応がとてもあたたかく、1人で来ましたが孤独感がなく、いい思い出になりました。鉄道も楽しかったです！</p>
<p>・バスがとても使い勝手が良くてすばらしい。バスの案内で、作品番号を言うのは、とても良いし、乗りあわせて乗客も感心していた。交通パスポートつきでこの値段はお得。</p>
<p>・日常的にある物のアートは目のつけどころが良いと思った。当たり前と思っている物が、別の角度からアートになると知った時の興奮は中々味わえないものがある。</p>
<p>・家族ぐるみでくとコミュニケーションが取れるのと、アートと一緒に見られるのでとても好きです。規模が妻有や瀬戸内とくらべてちょうど良いなと思いました。気候も良い時期でとても楽しかったです。</p>
<p>・今度はプレーヤーズに入って、準備から参加したい！ありがとうございました。</p>
<p>・アートももちろんですがもっとも印象深かったのは、水田の美しさです。桜も菜の花も美しいかもしれませんが、この地の美しさは水田。</p>

悪かった点

<p>・公式ウェブサイトが見つかったのが残念。行きづらいという印象を与えてしまう。公式ホームページに交通、食事、宿の情報をもう少し詳しく載せていただくと計画が立てやすい。パンフレットの文字が赤字で見にくい。</p>
<p>・もっと地元(市民)にアピールしたほうが良いと思う、子供や高齢者にもわかりやすいポスターなど市内の公民館やお店に掲示してはどうでしょうか。</p>
<p>・関西では全く広報されていないように思う。西日本でも広く宣伝してほしいと思った。もっと広く知られるべき面白いものでした。</p>
<p>・宣伝が足りない。ホームページがわからなすぎ。せめて東京駅バスのりばにポスターほしい。五井駅でさえ地元へのPR少なすぎるようです。</p>
<p>・交通パスのついたチケットしかないのか。他の芸術祭に比べると総合的にみて金額と作品のバランスが悪い。劇はパスポートがあればみれるようにしてほしい。</p>
<p>・全体の情報がまとまった地図が欲しい。詳しい地図がなく巡りにくい。会場全体図が欲しい。スタッフはとても良いけど、道案内が最悪。</p>
<p>・ガイドブックを買わないと何もわからない。作品が少ない。チケットが割高に感じる。もう少し交通機関の情報を事前にのせてくれると他の人も行きやすい。地図くらいパスポートと一緒にくれたらいいのにと考えた。</p>
<p>・会場内の交通アクセスが悪い。交通網(バス)が分りにくい。バス運行の接続が悪い。1本で乗り換えなしに全体を回れる周遊バスルートを作してほしい。</p>
<p>・市民をあげてのイベントにするとよいのでは。地元の意識を高める工夫が必要である。</p>
<p>・この芸術祭は駐車場が問題。無料にしてほしい。ほかの芸術祭はほとんど無料だった。駐車場代が高すぎる。高すぎて不自然。駐車場料金をとるなんてありえない。</p>
<p>・駐車場が有料なのがとてもマイナス。車でもまわれるようにして下さい。次回も有料ならば、もう来ません。平日だからか、どの駐車場もすいているのにひどすぎます。先に来た友人もあきれていました。</p>
<p>・駐車場を増やし無料にしてほしい、もしくは1日駐車券をパスポートに付けてその日だけどこでも停められるようにしてほしい。数時間しか停車してないのに、1,000円は取り過ぎ。</p>
<p>・湖畔美術館に関係者しか停められないのはおもてなしの心が感じられない。駐車料金の再考をお願いしたい。(地元の人がこれない)</p>

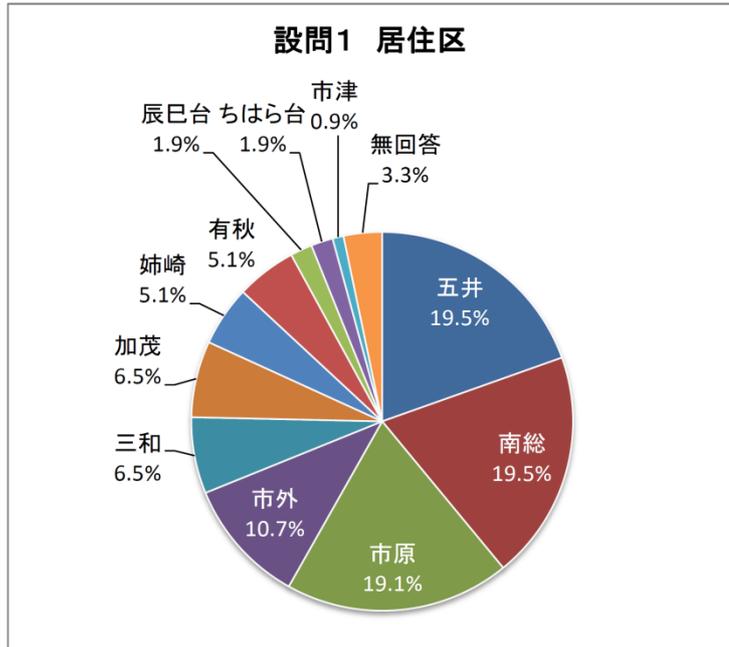
(2) 市民等へのアンケート (9/15-9/30)

●アンケート回収数 215枚

設問1 居住区

回答	票数	%
五井	42	19.5%
南総	42	19.5%
市原	41	19.1%
市外	23	10.7%
三和	14	6.5%
加茂	14	6.5%
姉崎	11	5.1%
有秋	11	5.1%
辰巳台	4	1.9%
ちはら台	4	1.9%
市津	2	0.9%
無回答	7	3.3%
合計	215	100.0%

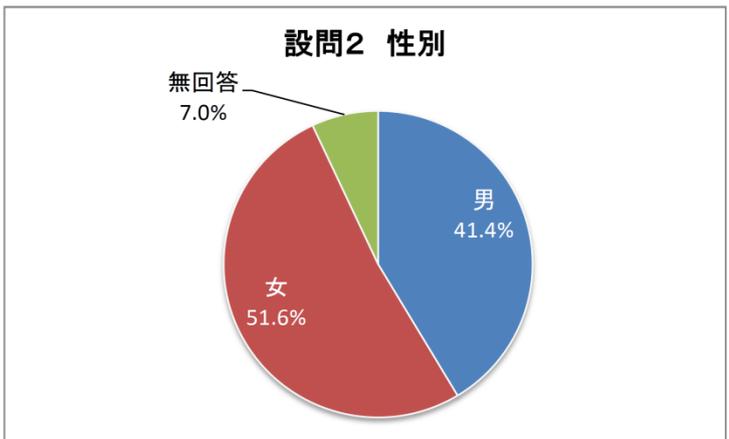
・五井地区と市原地区で約40%を占めた。次に開催地区である南総地区と加茂地区で約25%を占めた。



設問2 性別

回答	票数	%
男	89	41.4%
女	111	51.6%
無回答	15	7.0%
合計	215	100.0%

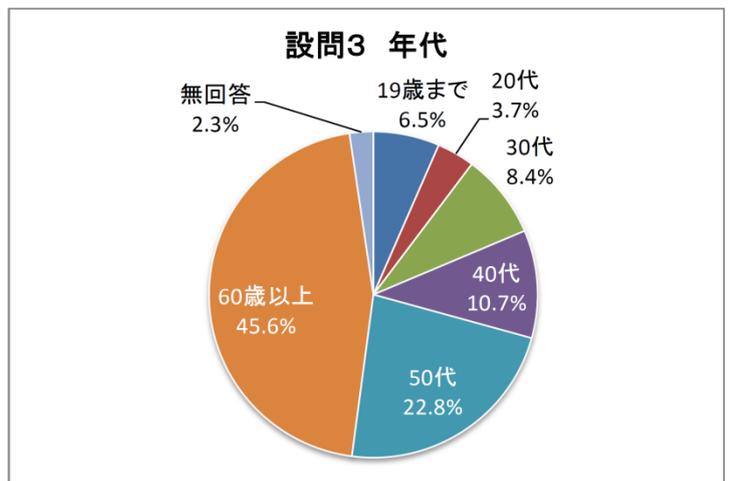
・男性よりも女性の方が回答率が高かった。



設問3 年代

回答	票数	%
19歳まで	14	6.5%
20代	8	3.7%
30代	18	8.4%
40代	23	10.7%
50代	49	22.8%
60歳以上	98	45.6%
無回答	5	2.3%
合計	215	100.0%

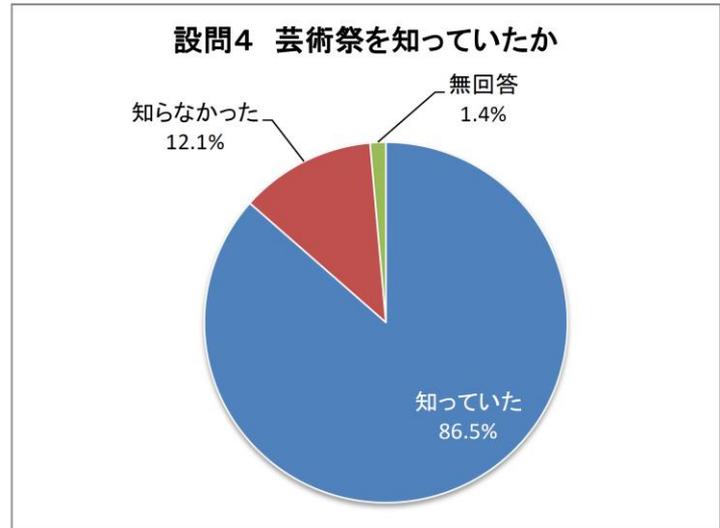
・50代、60歳以上が合わせて68.4%であり、中高年層の回答が非常に多かった。



設問4 芸術祭を知っていたか

回答	票数	%
知っていた	186	86.5%
知らなかった	26	12.1%
無回答	3	1.4%
合計	215	100.0%

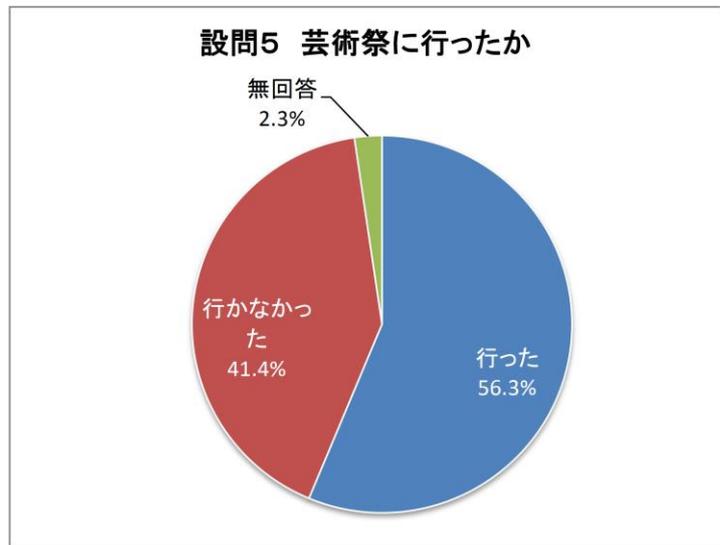
・芸術祭を知っていた割合が86.5%と多かった。知らなかった方からも回答をもらうことができた。



設問5 芸術祭に行ったか

回答	票数	%
行った	121	56.3%
行かなかった	89	41.4%
無回答	5	2.3%
合計	215	100.0%

・芸術祭に行かなかった方からも4割以上の回答をもらうことができた。市民の関心が高かったことが伺える。



行った人の理由

- 1 関心があった。
- 2 家族が行きたがっていたから。
- 3 中学生料金だったから。チケットを貰ったから。

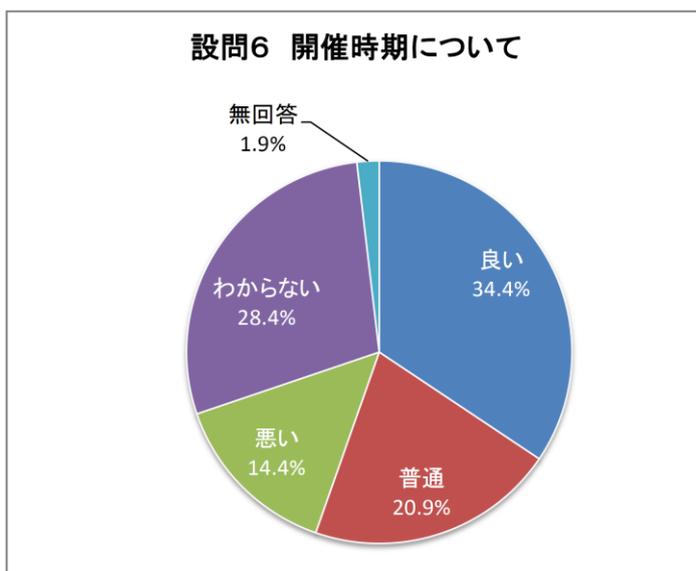
行かなかった人の理由

- 1 魅力や興味がなかったから。
- 2 内容がよくわからなかったから。
- 3 パスポートの料金が高いことや購入方法が面倒だったから。
- 4 不便だから。
- 5 知らなかったから。
- 6 市内の芸術家の作品がないから。
- 7 場所が多すぎて、まわりきれないと思ったから。
- 8 市民に対してとても上から目線だったから。

設問6 開催時期について

回答	票数	%
良い	74	34.4%
普通	45	20.9%
悪い	31	14.4%
わからない	61	28.4%
無回答	4	1.9%
合計	215	100.0%

・良い、普通を合わせると55.3%となり、約半数は肯定的であった。しかし、わからない、無回答を合わせると30.3%、悪いが14.4%となっており、時期の決定は難しいものといえる。



良い

- 1 暖かく、桜や菜の花が咲き、田んぼの緑が美しい時期で良い。
- 2 大型連休があるので良い。

悪い

- 1 年度変わりは何かと忙しい。
- 2 農家にとっては忙しい時期で悪い。
- 3 秋が良い。
- 4 夏休みが良い。
- 5 初夏の陽気の時もあり、関係者は暑くて大変だった。
- 6 市民の同意を得て、時期を決めた方が良い。

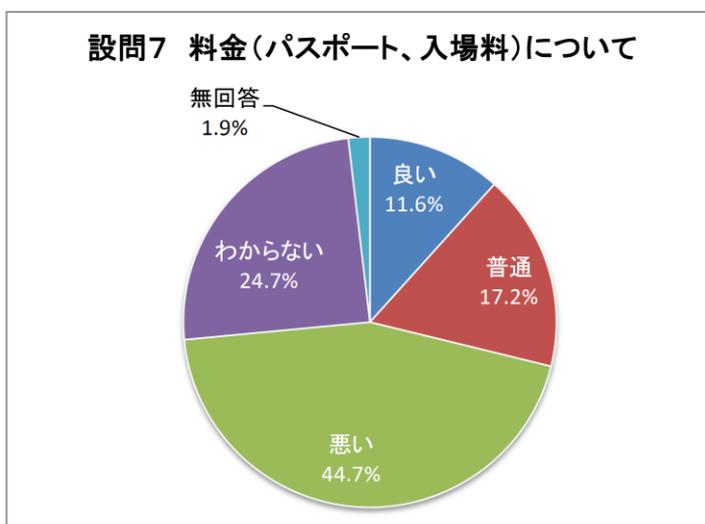
期間についての意見

- 1 4月中旬から5月中旬の30日位がいいのでは
- 2 5月いっぱいやった方が良い。もう少し長い方がいい。
- 3 期間が長い

設問7 料金(パスポート、入場料)について

回答	票数	%
良い	25	11.6%
普通	37	17.2%
悪い	96	44.7%
わからない	53	24.7%
無回答	4	1.9%
合計	215	100.0%

・約半数が料金については、悪いという回答であった。多くは、パスポート料金、個別鑑賞料、駐車料金などが高いというものであった。



良い理由

- 1 金額は妥当だった。
- 2 安い。
- 3 パスポートは良かった。
- 4 小湊鉄道を利用したらお得と感じた。

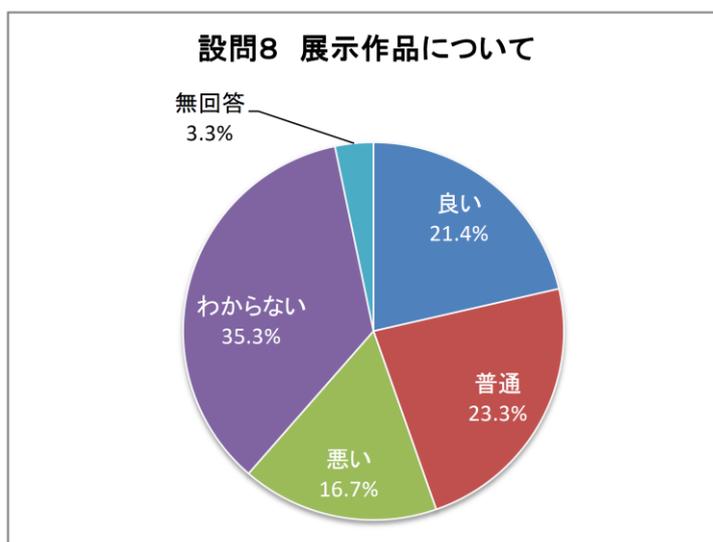
悪い理由

- 1 高い。
- 2 単独の鑑賞料が高い。
- 3 パスポートの仕組みが分かりにくかった。説明不足。
- 4 再入場は無料で当然。
- 5 交通パスは会期中何度も使えるべき。
- 6 交通パスは単独販売するべき。
- 7 パスポートの種類による色分けが悪かった。
- 8 ガイドブックと一緒に販売すべき。
- 9 市民が何回もいけるようなパスポートにして、市民が市原市をもっと楽しめるようにして欲しい。
- 10 市民は無料にすべき。

設問8 展示作品について

回答	票数	%
良い	46	21.4%
普通	50	23.3%
悪い	36	16.7%
わからない	76	35.3%
無回答	7	3.3%
合計	215	100.0%

・良い、普通を合わせると44.7%となり、約半数は肯定的であった。わからないという回答の中には、「芸術祭に行っていないからわからない」、「現代アート作品のためわからない」という回答が多かった。



良い

- 1 よかった。楽しかったし、体験型のプログラムが多く、作家とも交流ができて、大変楽しかった。
- 2 まずまずの内容だった。良いものと悪いものの両方があった。
- 3 現代アートはわからなくて良いと思う。
- 4 前衛的で興味ある作品が多かった。
- 5 今回は初回だったが、越後妻有のように、回を重ねて、作品が蓄積され、見所が増えていくことを期待している。

悪い

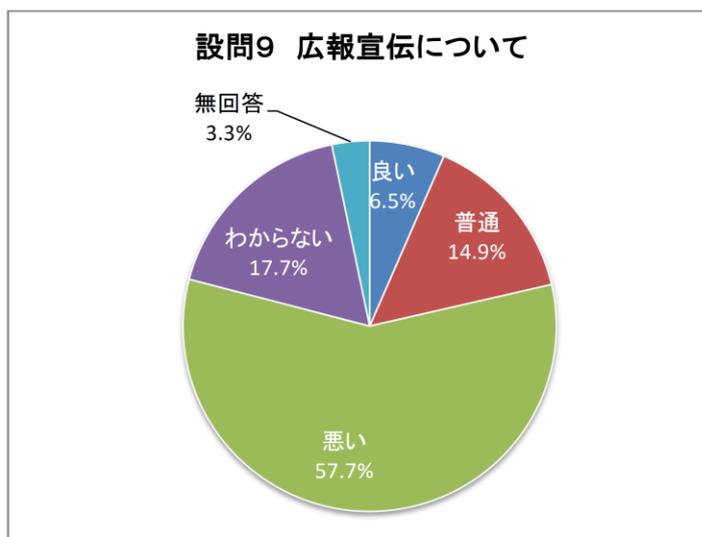
- 1 作品に芸術性が無い。訴えるものがない。ばかばかしい。
- 2 地元の芸術家や芸術団体が参加していない。

- 3 作品が良いか悪いか、わからない。
- 4 作品の説明が足りない。
- 5 有名アーティストがいない。
- 6 作品は公募したようだが。選んだコンセプトそのものは理解できるが、市原市にとってのアートミックスをどのようにとらえて、作家を選ばれたのが少し不明確だったような気がする。市民とアートとの関係をもっと追求するべきであったような気がする。
- 7 各校の歴史や思い出の品をだいなしにされ、粗末に扱われていたような気がする。凍った部屋は卒業生には心を凍らせるようで、気持ちの良いものでは無かった。新緑の自然と作品がばらばらに感じた。
- 8 作品の管理が悪い。壊れている。

設問9 広報宣伝について

回答	票数	%
良い	14	6.5%
普通	32	14.9%
悪い	124	57.7%
わからない	38	17.7%
無回答	7	3.3%
合計	215	100.0%

・悪いという回答が6割近くあった。



良い

- 1 共通ロゴ、露出など申し分なし。
- 2 赤白のポスターは目だってよかった。
- 3 初めから全国、世界が相手だから仕方ない。口伝えに広まっていく。

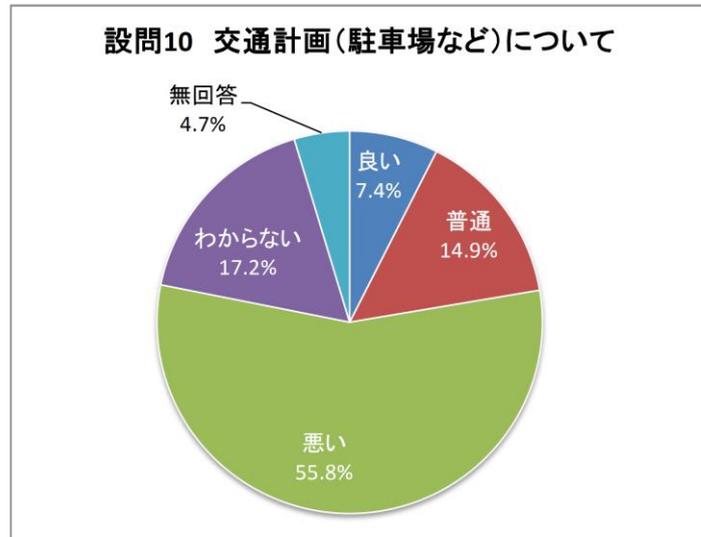
悪い

- 1 広報、宣伝不足。ほとんどの人が開催していることを知らない。
- 2 ポスター、チラシがアートすぎてわからなかった。
- 3 HP がわかりづらかった。
- 4 開催のお披露目を都内ですて、なぜ市原でやらないのか。地元への PR 不足。
- 5 芸術祭の意義を浸透させる必要あり。
- 6 のぼり旗や看板は何が書いてあるか全然わからなかった。
- 7 マスコミやメディアをもう少し利用すべき。
- 8 宣伝にお金をかけすぎ。
- 9 小湊鉄道や JR との連携 PR が足りない。
- 10 イベント名だけではなにをやるかわからなかった。
- 11 少なくとも2～3年前から広報計画する必要がある。海外にも広報する必要がある。

設問10 交通計画(駐車場など)について

回答	票数	%
良い	16	7.4%
普通	32	14.9%
悪い	120	55.8%
わからない	37	17.2%
無回答	10	4.7%
合計	215	100.0%

・悪いという回答が6割近くあった。



良い

- 1 小湊鉄道や周遊バスは楽しかった。料金も普通。乗り継ぎも良い。
- 2 巡回バスがほどよくあって良かった。
- 3 利便性はあまり必要ない。他地域はもっと不便な場所はある。小湊の活用を。

悪い

- 1 駐車料金が高い。
- 2 交通アクセスが悪い。周遊バスと小湊鉄道の本数が少ない。
- 3 交通計画が悪く、上手く回るのが大変だった。まわりにくい。
- 4 どの会場がどの駐車場が近いのか、どこが有料でどこが無料なのか、案内が足りずわからなかった。
- 5 駐車場案内や道案内の標示が、わかりづらい。小さすぎて見えない。
- 6 駐車場の場所が、作品と離れている。
- 7 一定料金でどこの駐車場も、何回でも使えるようにすべきだった。
- 8 湖畔美術館にピザだけを目当てに行ったら、駐車場に入れず不満だった。
- 9 小湊鉄道の運賃は高い。芸術祭会期中は3分の1の運賃にしてほしい。
- 10 無料マイクロバスで効率よく運営してほしい。
- 11 小湊バスや鉄道を使ったモデルプランをもっと出すと良かった。

設問 11 その他意見

良い

- 1 とても楽しかった。良い芸術祭だった。
- 2 次回も開催すべき。また北市原や他の地域も考えるべきだ。
- 3 悪かった点があっても発展や活性化のために、今後も定期的を開催することは致し方ない。

悪い

- 1 芸術祭は悪かった。税金の無駄遣い。税金は有効に使うべき。違う事業に使うべき。
- 2 主催者の勉強不足。もっと市民の意見を聞くべき。
- 3 次回の開催には反対。2番煎じの芸術祭であったアート×ミックスは不要。

- 4 ディレクターへの不満がある。
- 5 ボランティアへの手当てや対応が悪かった。
- 6 市原の芸術家を出すべき。
- 7 なぜ市原とアートなのかわからない。市原にアートは無理。

(3) 市民団体等からの意見

=芸術祭以前から里山の整備保全や地域活性化のために活動している市民団体との意見交換会=

日：平成 26 年 7 月 24 日

参加者：18 団体、29 人

意見 1：サインについて

- ①のぼり旗の出来が悪い。何を書いてあるか読めない。字が小さくてわからない。
- ②役に立たなかった。
- ③数が足りない。
- ④五井駅や市原市の北部にものぼり旗が沢山立っていた方が良い。
- ⑤会場案内が悪かった。大きな看板などの分かりやすい表示が必要

意見 2：PR について

- ①全体的に PR 不足。前もって PR できていなかった。
- ②市を挙げて行うのであれば、まだまだ PR 方法があったはず。
- ③市民参加がほとんどできていない。
- ④市民へのアピールが足りず、北部の人はほとんど知らなかった。
- ⑤市原市北部のみならず南部の人もほとんど知らなかった。
- ⑥「広報いちほら」で周知をしても市民には届かない。
- ⑦観光会社との連携（共同）商品を開発すべきだった。
- ⑧キャッチフレーズの「晴れたら市原、行こう」というのは、JR 東海の「そうだ、京都行こう」の真似である。また、「晴れたら、」という限定をつけることは、「晴れなかったら行かない。」ということに繋がるのだから、このようなキャッチフレーズとして良くない。
- ⑨国際芸術祭なのに、外国人が少なかった。
- ⑩鶴舞 BT に着く高速バス利用者が少なかった。高速バスの PR 不足。
- ⑪広告宣伝を充実させることが必要。人を集めることは難しいと感じた。

意見 3：駐車場について

- ①美術館は、芸術祭の中核施設であったのに、駐車場の利用方法で悪い評判が立った。ネット上でも悪い評判が伝わっていた。
- ②会期前まで無料であった湖畔美術館の駐車場が、会期中はとめることができなくなり、近くの有料駐

車場を案内していた。そのようにしてとめさせなかったのに、急遽、連休中とはめさせるなど説明がつかないことが多かった。

- ③美術館駐車場はガラガラなのに、関係者駐車場とってとめさせなかった。関係者は常識的には遠くにとめる。
- ④1ヶ所 1,000 円（土日休）は高すぎる。
- ⑤車社会なのだから車でお客さんが多いことは当然。無料の駐車場を準備していないことが問題。
- ⑥料金の改善をして欲しい。
- ⑦有料にする意味があるのか。無料であればおもてなしとなり、入場者数アップになる。
- ⑧料金が高い。列車とバスを使っての交通計画だったようだが、実際に来る人とのギャップが大きかった。やはり車社会なので、駐車場の用意をすべきであった。

意見 4 : 地元団体への対応について

- ①地元団体のボランティア活動に対して、例えばお弁当を配るくらいの配慮はすべきだから、それくらいの予算はとるべきだった。
- ②芸術祭が一過性でなく継続的に行われるならば、地域ボランティア活動の費用を組んでもらいたい。
- ③地域の協力を高く評価してもらいたい。会期のずっと前から、菜の花の種蒔きから関わっているのだから、地域の活動を報告書にもっと大きく掲載してほしい。

意見 5 : 経済効果について

- ①内田未来楽校では5 2 日間カフェを開いて、2 0 0 万円の売上げがあった。地元にお金が入ってよかった。
- ②地元で経済効果がなかった。少なかった。
- ③牛久商店会で「駅弁」に参加したが、これは地元の食堂の売上げを妨げた。
- ④今回は地域にお金が入らなかった。次回は地域にお金が入るようなお金の使い方をしてもらいたい。
- ⑤お金を落とす場、機会、対応ができていなかったと思う。
- ⑥市原らしい産物が必要ではないか。

意見 6 : 地域の様子について

- ①内田未来楽校のトイレが、芸術祭を機に新しくなってよかった。
- ②内田未来楽校で、地元の人が自分達の作った野菜を売ったり、カフェで接客したりしたことで、地元の人に、「芸術祭を開いてもらってありがとう。」と感謝されたことはよかった。
- ③大久保駅は作品としてトイレを作ってもらい、それを残してもらえたのでよかった。
- ④上古敷谷は過疎の中の過疎の村だが、芸術祭中は周遊バスが一日5～6往復していて、5 2 日間、非常に華やいだ気持ちになった。
- ⑤話題のない地域に話題ができてよかった。
- ⑥毛細血管に血が通ったように年寄り達が喜んでいて。

- ⑦市原市のイベントをアピールできた。
- ⑧様々な人たちと知り合いになれた。
- ⑨加茂公民館だよりに、芸術祭開催の記事を2回掲載した。
- ⑩過疎の加茂地区に若い人が多く見られ、活気が生まれた。
- ⑪久しく廃止となっていたバス路線にバスが走っているのを見ると、過疎からの脱却という気分になった。
- ⑫開催地域内で温度差はあるものの、それぞれの地元住民に結束が見られた。
- ⑬若い人がたくさん来た。
- ⑭メディアや雑誌の取材があり、内田未来楽校（市原市）の知名度がアップした。
- ⑮内田未来楽校に、芸術祭を機会に千葉県と市原市の補助を得て、トイレの整備ができた。
- ⑯多くの方と交流ができた。
- ⑰内田未来楽校のおもてなしコーナー（喫茶）では、地域に潜在している人的資源を発掘できた。また、地域の求めているものが見えた。例えばパンを販売したら、地元の購入が多かった。ここから、地元で食品を購入する場が少ないことと、良いものは地域の支持が得られるとわかった。また、気軽に寄れる場所が少ないとわかった。
- ⑱内田未来楽校で52日間毎日おもてなしコーナーを開設したことは今後の地元団体の活動につながると考えている。今回の経験を踏まえ、魅力ある運営を行っていきたい。
- ⑲地元の皆さんから内田未来楽校が会場となって良かったといわれ、大変だったがやって良かったと感じた。今後の励みになった。
- ⑳旧高滝小と旧富山小を使用しなかった。南市原に均等に作品が展開されるべきだし、作品がないと町会として応援できない。
- ㉑アートに対する地域の理解が少なかった。特に町会との関わりをどうもっていくのかが重要。
- ㉒地域性をどう出すのか。もっと地域性を出すべきではないか。地域との関わりをどう取るのかが大切ではないかと感じた。
- ㉓内田未来楽校に来るお客さんは、その日のコースの最初か最後という人が多い。最後の人であれば、市原がよかったなあという気持ちで帰ってもらいたいと思って、おもてなしをした。コーヒーは100円で、駐車場は無料。それまで高い料金を払ってきた方が少しでも気持ちよく帰れるようにもてなした。安いことが良いのではなく、内容に見合った料金をとることが良いと思う。
- ㉔バスがガラガラだったから、小型でも良いので本数を走らせてもらいたかった。
- ㉕菜の花用の草刈りをはじめたくさん活動をしたが、芸術祭が終わって、疲れしか残らなかった。満足感が得られる芸術祭ではなかった。
- ㉖地域の人々が活動できる場所や場面を作ってくれば、もっと満足感や達成感があったのでは。

意見7：作品について

- ①指輪ホテルが、小湊鐵道のローカルさを出していて良かった。
- ②現代アートは大衆の方に受け入れられるものと思うので、この現代アートを追求し研究すれば入場者

が増えると思う。

- ③普段接することの少ない現代アートというジャンルに触れることができ楽しかった。
- ④芸術祭とは思えない催しがあった。狂人やおぼけが野外を駆け回っている市原を宣伝しているようなもの。
- ⑤テーマごとに作品展示エリアを分けてあれば、お客様も計画を立てやすいのではないか。

設問 8 : 地元の作家について

- ①国際芸術祭であるから、地元の作家は、平凡であったり素人であったりする作家が多く、ふさわしくない。
- ②県外や外国から客を引くためには、それなりの作家を集めなければならない。すると地元の作家は当然少なくなる。
- ③市民参加の芸術祭にすべき。現代アート+市民の芸術・文化祭であるべきだから、市内の芸術愛好家が出展していれば、その友人などたくさんの人の動員ができたはず。
- ④地域に既に存在する芸術品も紹介したらどうか。

意見 9 : 交通について

- ①レンタル自転車を増やし、乗り捨てルールを作るとよかった。
- ②時間のないお客様のために、飯給や月崎、大久保など普段タクシーが待機していない駅にも、タクシーがいた方が良かった。

意見 10 : 実施方法について

- ①誰が見てもこの芸術祭は間違いなく失敗。
- ②「アートと里山」というテーマだったはずが、米沢の森は使用されなかった。アートと里山はミックスされなかった。
- ③実行委員会に地元の団体や人を入れるべき。
- ④市民の森が「安由美会」で成功している。このような人たちを実行委員会にいれて、ノウハウをもらうべき。
- ⑤ディレクターの意見が強すぎる。
- ⑥市民の声を反映させてもらいたい。
- ⑦次回の準備は今から始めるべき。次回の実行委員会をすぐ作るべき。
- ⑧シミュレーション不足。もっと問題を想定して対応策を作っておくべき。
- ⑨食べ物の料金が全体的に高い。月出の団子は3個で600円。内容とバランスを考えてもらいたい。
- ⑩田植えと重なって農家の忙しい時期は良くなかった。時期をずらすべき。
- ⑪ガイドブックの抜粋版を入場者、スタッフ、サポーターに無料配布すれば、円滑な運営につながった。
- ⑫菜の花プレーヤーズとして活動もしたが、教育が即席過ぎて、お客様からの問いに、道具も無く的確に対応できなかった。東京ディズニーランドのスタッフ教育に学べ。

⑬余裕のある60代以上をターゲットにしないと来場者数は増えない。

⑭指摘された反省点を真摯に受け止め、オブラートに包んだ議会の答弁のようなものではなく、失敗だった点をはっきり市民に明示しなければならない。これができなければ次回開催は不可能だ。

意見 11：最終報告書について

①抽象的な表現はやめてほしい。

②厳しい総括をしてほしい。

③良いところ、悪いところ全部出すべき。

= 作品設置場所の関連町会（月崎町会、旧白鳥小関連町会、月出町会）からの意見 =

(1) 月崎町会

意見 1：アート×ミックスの良かったところ

①住民の多くが芸術祭に関わったと思うので良かった。関わった人は楽しかったと言っている。

②作品の受付のお手伝いには、森ラジオステーションとサンタルの食堂に入ったが、受付セットを一般のサポーターに運んでもらったため、朝の牛久駅前でのサポーターミーティングに出ないで済んだので助かった。

③1回目としてはまずまずの出来、及びまずまずの来場者だったと思う。

意見 2：アート×ミックスの悪かったところ

①芸術祭に関わらなかった人には、「高いお金をかけている。」と不評である。参加しないと何をやっているのかも、何が良いのか楽しいのかもわからないので、参加する人を増やすことが大事だったと思う。

②地元以外のより多くの人に関われるような仕組みを作ったら良かった。

③サポーターとして受付にくる市の応援職員は、一様に覇気がないというか、やる気がないというか。自分から名乗って挨拶をして欲しかった。一日一緒に活動するうえで、大切なことと思う。

④次回は有名な作家だけでなく地元の人が多く採用されたら良いと思う。

意見 3：月崎地区の今後への期待

①月崎駅前の「森ラジオステーション」が存続されることになり良かった。月崎町会で保存会を作って、維持していくので、3年後もぜひ芸術祭を開催してほしい。

意見 4：その他（次回への提案）

①お客さんの送迎サービス・・・次の作品へ来場者を送ってあげる。例えば、月崎から月出小学校へ行きたい人は、数少ない列車はバスに乗り継いでいかなければならない。1時間半位かかる。月崎と月出は、田淵経由では10分で、里見を回っても20分で着く。レンタカー等のサポーターが運転できる車を、置いておき、必要に応じて月出へ送っていけるというサービスができたと思う。

- ②来場者民家宿泊プラン・・・アート×ミックス会期中限定で、地元の家庭に宿泊できる農村宿泊プランを作ったらどうか。食事についての案であるが、一ヶ所で作り各家庭に宅配するというのはどうか。各家庭に差が出ないようにすると、受け入れる側も多くなると思う。
- ③次回の開催の時も、町会を挙げて協力させてもらいたい。

(2) 白鳥小学校で主にサポーター活動をした大久保・折津・国本町会

意見1：アート×ミックスの良かったところ

- ①非日常的な空間と出会いがとても新鮮だった。
- ②作家やサポーター、来場者と会話ができて有意義だった。
- ③会場の清掃や作家の手伝いなど、手作り感が良かった。
- ④事務局の職員が大変な状況の中でもしっかりと支えてくれたので、運営もスムーズだった。
- ⑤このようなイベントが無ければまず人々が集まることがないところだった。そこへ、様々な所から多数の人たちが来たのでよかった。
- ⑥一時的とはいえ、地域が活性化されたので、大変有意義だったといえる。
- ⑦ボランティアに来てくれた人には、首都圏（東京、神奈川、埼玉）や関西地方など遠方からの参加があり感心した。
- ⑧市内からのサポーターについては、無関心と思われる人でも依頼すれば多くの人に参加すると感じた。
- ⑨市職員でもボランティアとして何度も参加している人がいて感心した。
- ⑩市民に市のイベントに参加する機会を与えたので良かった。
- ⑪過疎地域においてイベントを開催したので、この開催自体が良かった。

意見2：アート×ミックスの悪かったところ

- ①市内でも全く知らないという人が居た。
- ②駐車場料金は地元では不評であった。
- ③駐車場は無料か300円止まりである。
- ④レンタサイクルは、乗り捨てができないと意味がない。これにもスタッフが必要であれば地域に協力依頼をしたら良かった。
- ⑥おにぎり以外に食べる物や場所があってもよかったのでは。
- ⑦作品の案内マニュアルが無いと、案内する人によって差が出てしまった。
- ⑧アーティストはもっと地元で顔を出した方が良いと思う。
- ⑨PR方法が悪かった。市外の人には経費をかけても効果のあるPRをしてほしい。
- ⑩市民に対しては、全町会を通して強力なPRをすべきでなかったか。

意見3：白鳥小学校への今後の期待

- ①跡地利用に伴い、小域福祉ネットワークでの活用
- ②体験型農業、スポーツ研修、イベント（コンサート、フリーマーケット）に広く利用を呼びかけ、こ

れに地区民が積極的に関わられるよう活用できれば良いと思う。

③都会の人を集めて、田舎体験をして貰えるような施設になったらよい。

④今回の参加作家の中で、今後も継続して白鳥小で活動してくれる人がいたら嬉しい。

その他意見

①地元住民がもう少し参加するようアプローチの工夫が必要と思う。

②受付に入る地元住民のために、芸術祭開始前に、受付業務に関する説明を十分行った方が良かった。

③全体的にサポーター不足だったということだが、他の会場でも、白鳥小学校のように地元町会による要員確保を第一にしたら良かったと思う。

④市原市民はイベントに熱中しない、冷めている気質があると感じる。

⑤瀬戸内国際芸術祭のように、春、夏、秋というように分割して開催したら、周知の面でよかったのではないか。

⑥県に共催になってもらったら、PR やイベントもより大きな規模になったと思う。

(3) 月出町会

意見1：アート×ミックスの良かったところ

①芸術祭は良かったと思う。

②廃校を利用したことは良かった。

③身近で芸術作品を鑑賞できた。

④染色などの体験ができて良かった。

⑤焼き芋や団子がおいしかった。

⑥喫茶室の雰囲気良かった。

⑦過疎化の進んでいる月出地域に多くの人に来てくれたことを喜びに思う。

⑧いつも淋しい月出の道に大勢の人が歩いていて活気があった。

⑨月出の地に久しぶりに多くの人を訪れてくれた。

⑩後半は活気があった。

⑪自然のものを利用した作品で良かった。

⑫加茂地区がアピールできて良かった。

⑬月出の良さを来場者が感じてくれたこと。

⑭月出小の周囲がきれいになった。

意見2：アート×ミックスの悪かったところ

①学校を壊してまでやる必要はなかった。

②お団子はおいしかったが、会場の雰囲気が食堂や喫茶ではなく、わら置場や物置といった感じだった。

③小学校で使用していたときは花いっぱいだったが、アート×ミックスのときはなんとなく淋しい感じがした。

- ④月出はイベントが少なかった。
- ⑤芸術家任せでこれといったものがなかった。もう少し的を絞った方が良い。
- ⑥平日は来場者が少なく寂しかった。
- ⑦駐車場料金が高すぎる。無料でよい。有料であるならば、駐車場用のパスポートなどを作って、一定額で全駐車場を利用するという方法もある。
- ⑧富山小からのバスの乗り換えは大変だった。
- ⑨車を校庭に止められず不便をした。
- ⑩月出の細い道に大型バスが通って怖かった。
- ⑪道路整備をしてほしかった。
- ⑫中高年の来場者が少なかった。中高年向けの企画を取り入れたら良いと思う。
- ⑬入場料が高すぎる。
- ⑭来場者と月出の人との交流ができなかった。
- ⑮もっと早く地元説明を行ってほしかった。そうすれば、地元として関われる内容について検討できた。
- ⑯市の財政を考えると予算の使用に疑問を感じる。
- ⑰月出の人でも関心のない人が多かった。
- ⑱PR があまりできていなかった。PR をもっとしてほしい。

意見 3 : 月出小学校への今後の期待

- ①地域の中心としての学校であったので、これからも地域の人が集える場所にしてほしい。
- ②月出住民が集まる場所なので、出入りが自由にできるようにしてもらいたい。
- ③子供から老人まで共に楽しめる場所にしてほしい。
- ④薬草園や、花作りや野菜作りができる場所にしてほしい。
- ⑤改修工事をしたのだから、日常的に使えるようにしてほしい。そうすると月出の良さをアピールできる。
- ⑥小中学校の校外活動に開放してはかがか。
- ⑦交通の便が悪く、地元の人口も少ないので、今後月出小を利用するとしても、参加しにくいのでは。
- ⑧地元以外の人にも利用してもらい、地元の人との交流の場としたい。
- ⑨小学校を活用する行事をひとつでも増やして行ってほしい。
- ⑩少しでも多くの人が月出小学校にいてくれることを願う。
- ⑪一人でも月出の住民となってくれたら嬉しい。

その他意見

- ①加茂地区の自然管理を考えてもらいたい。
- ②次回はもっと地元の人に手伝ってもらえるよう説明会や依頼をしたほうが良い。
- ③作家や作品をもっと増やした方が良い。

(4) 菜の花プレーヤーズからの意見

期 間：平成 26 年 6 月 20 日（金）～平成 26 年 6 月 30 日（日）

方 法：メール又は FAX で事務局へ返送

回答数：45 名

設問 1：菜の花プレーヤーズ活動について

【作品制作について】

■良かった点

- ①作家さんとの距離感が近い点、非常に良かった。
- ②作家さんや職員の方の的確な指示でサクサクと楽しく作業を進めることができた。
- ③実際の作品制作にも携われるので、活動した実感も持てて、とても良い活動だった。
- ④作家さんと一緒になって創りあげる感覚は、貴重な体験で記憶に強く残りました。

■改善すべき点

- ①自分がどこの部分で協力できているか不明な会場があり、全作品会場での説明を徹底した方が良い。

【会期中の配置について】

■良かった点

- ①経験者を極力配置し初心者をつける配慮があり良かった。
- ②ランダムに配置されるのは、あらゆる環境に対応しなければならず、各個人としてはスキルアップできた。

■改善すべき点

- ①雨天でも避難しなくて良い受付施設がほしい。
- ②五井駅で受付をして、各会場の説明を求められたが、すべての会場を体験しなかったので特徴を説明できなかった。総合受付では、すべての会場を把握している人の配置が必要。

【用品について】

■良かった点

- ①用品はいろいろと配慮されていた。

■改善すべき点

- ①精算事務では、慣れない現金を扱ってつり銭計算に戸惑った。
- ②ボタンの大きな電卓を使用すべき。

【マニュアルについて】

■良かった点

- ①マニュアルが日に日に改良されていくので、行く度に少々戸惑いはしたが、見るのも楽しみだった。日々進化を遂げて行ったところが素晴らしかった。

- ②マニュアルは情報が多く、わかりやすく助かった。一人現場でも安心して受付することができた。
- ③重要事項の説明や会場ごとに施設や作品の説明も細かく載っていて確認しやすかった。

■改善すべき点

- ①文字ばかりだったので開館準備の際、どういう状態で OK なのかがよくわからなかった。図や写真が入っていればありがたかった。
- ②時間的な余裕のなさ（片付けの時間が考慮されていない）は、進行管理面で大きな欠陥だと思う。
- ③受付案内で会場毎の手順書が無く、初日や初めて行った方は、どう対処するか大変だったと思う。
- ④施設ごとにマニュアルをつくり、その場所特有な質問等を蓄積すべきであった。

【朝礼について】

■良かった点

- ①「出発進行！」の掛け声は気合が入り、プレーヤーがまとまる感じがして団結できて良かった、続けて欲しい。
- ②毎回パスポート等の説明もあり良い。
- ③毎朝、朝礼で配っていた「菜の花だより」が楽しみだった。
- ④時間に追われながらでしたが、朝礼は必要だった。
- ⑤朝礼から、最後の事務所での精算まで、事務局側で手順がしっかりしているので分かりやすい。
- ⑥朝礼はいつも楽しみにしていた。

■改善すべき点

- ①朝礼は、もっとテキパキ出来たら良かった。
- ②どこで何をするかを当日朝になって教えていただくので、十分わからないまま現場に行くことがすごく不安。
- ③集合を早めてでももう少し時間をとった方が良かった。少しはスタッフさんに気軽に質問できる時間の余裕があれば良かった。
- ④イベント関係も、何があるかはわかっても、それがどんな内容かわからない時多くてやや苦労した。
- ⑤集合して初めて場所がわかり、マニュアルを読む事になるので、把握するのに時間が足りない。

【その他】

■良かった点

- ①菜の花プレーヤーズのおもてなしの評判は良かった。
- ②備品（防護マスクやカイロなど）やお菓子の差し入れのお心づけが嬉しかった。
- ③会期中は各会場と同じボランティアスタッフや作家さんなど様々な方々と交流できて良かった。
- ④皆さんが手際よく各自のすべき事をしていた。
- ⑤はじめは戸惑いもあったけれど、回を重ねるたびにスムーズに活動ができた。
- ⑥はじめの開催で改善すべき点が多々あったかと思うが、開催期間中に良くなっていった点が何点か見受けられたのは素晴らしい。

■改善すべき点

- ①事務局の準備はほとんどなく、ボランティアにおんぶに抱っこであった。
- ②仕事量が多すぎる(市役所職員が主な仕事を行ない、ボランティアは補助的仕事で良いのでは)
- ③拘束時間が長い。半日参加ができると良かった。
- ④次回の芸術祭まで、細々でもいいので菜の花プレーヤーズが何かしらの活動を継続し、それを広報していくことが重要であると思う。
- ⑤パスポート等の料金体系が現実的ではなく、現場では多くの苦情をもらった。
- ⑥プレーヤーズの特典がなかった。ガイドブックや駐車場券、家族優待券とかをあげると良い。
- ⑦サポーター所有の車を登録して来客者の送迎をすることもよいと思う。自己所有の車を登録し、来場者の送迎に使う。会場へのアクセスが悪かったことを補えるし、サポーターは、空いた時間に他の会場や地元の案内なども出来て、お客さんと交流できる。
- ⑧準備から完成まで全部に参加すべきと思う。部分的な協力では、作品を制作した実感が湧かず、ただのお手伝いにしかならなかった。
- ⑨作品の解説がもっとほしかった。作家によっては、解説しないでおいてお客さんに思ったままでも見てもらいたいという方もいた。その場合はそれを表示すれば良かった。

設問2：菜の花プレーヤーズへの案内について

【公式ウェブサイト・フェイスブックについて】

■良かった点

- ①カレンダーからの申し込みはイラストもあって簡単でわかりやすく良かった。
- ②活動の情報を入手する手段として非常に良かった。
- ③始め戸惑いがあったがツールとして良い。各人の集合場所等がわかり準備できた。
- ④Facebook に載せている写真は活動内容のイメージが掴めてが良い。

■改善すべき点

- ①ホームページの内容や活動報告のブログの更新をもっとした方がいい。
- ②アート×ミックスのホームページから日程のカレンダーのページは行きにくかった。
- ③スマートフォンからの申し込みがしにくかった。
- ④カレンダーでの登録自体は操作も簡単だったが、アイコンではなく、具体的に残り何人欲しいとか、現状の張り付き具合を表示してもらえた方がよかった。
- ⑤フェイスブックでの案内がメインだったような気がする。情報発信は一本化した方が良い。
- ⑥当日見られるサイトがあると良い。iPad の配布等で気軽に見られるとなお良い。
- ⑦どうすればスケジュールが確認できるのか、まったくわからなかった。
- ⑧メインのサイトで知りたい情報にたどり着けないと多くのプレーヤーに不評だった。見た目だけでは駄目だと思う。
- ⑨募集中のマークが分かりづらいので、少ない日はどこか、足りている日はどこか、一目瞭然で分かるようにすると良いと思う。

【お知らせメールについて】

■良かった点

- ①メールの文面から温かみを感じられて良かった。
- ②きちんとやり取りしていただき、とても良かった。メールの内容なども わかりやすかった。
- ③携帯電話に送ってもらえたので。情報が早く分かり、予定が組みやすかった。
- ④フェイスブックに登録していないので、HP やメールでのお知らせでしたが、細かくお知らせいただいていたので、とても良かった。
- ⑤活動前日に案内が届くので、参加登録をしたことを忘れなくて良かった。
- ⑥とても見やすくよかった。運営側とイベント側に分かれていたので、すぐに自分の名前を確認できた。

■改善すべき点

- ①サポーター活動をやっていることを知る機会が少なかった。
- ②会期中はプレーヤーズ同士の情報共有の場（SNS、掲示板とか）が欲しかった。日報による一方的で閉鎖的な情報共有はもったいないと思った。
- ③お知らせがもっと具体的だとお手伝いに持参するものなど準備ができた。それが、お手伝いできるかどうかの判断材料となったので。
- ④もっとプレーヤーズ活動をしたくなるようなお誘いが欲しかった。ボランティアといっても災害などとは動機が違うので、楽しさアピールが大事。
- ⑤会期中の活動募集は、ある程度先まで募集がかかって予定が立てやすかったが、制作や片付けの活動募集は直前になって出てくる場合が多く、予定に組み入れにくかった。
- ⑥前日のお知らせメールの時点で、翌日の配置が決まっていると持ち物の無駄が少なくなるからもっと良かった。
- ⑦メールの文章はもう少し体裁を整えて読みやすくすると良い。
- ⑧メールでの回答が遅く、現地についていいものかどうか、迷うことが多かった。せめて「申し込みをうけとった」という自動返信メールが必要。

【その他】

■良かった点

- ①LINE ユーザーとしては、湖の飛行機などのリアルタイムの情報が来て便利だった。
- ②必要な時に事務局からやさしいコメントの挨拶の FAX がよかった。言葉一言で大きな輪作りの絆を生むものと信じている。チームワークが大切と感じた。
- ③若い人はホームページなどをみて勉強ができたと思う。自分は年齢的に厳しかったが、スタッフに配慮してもらい感謝している。

■改善すべき点

- ①インターネットを使わない人向けの案内が不足していた。
- ②活動当日の変更の連絡をきちんとしてほしかった。
- ③固定電話(FAX 無し)のみの方への募集が、難しかったのではないかな。

- ④パソコンやメールが出来る携帯電話を持っていない地元の菜の花プレーヤーズへの案内方法を検討してほしい。
- ⑤「地元で、どの作業で何人頼みたいが、何日までに回答下さい。」など全体募集では無い、地元【地域】限定の、地元町会や団体へ依頼する募集のやり方を作ったらどうか。
- ⑥LINEをもっと活用すべき。
- ⑦前日遅くになって行けるとなる時があるので、募集締め切りをなくして当日参加もOKにしてほしい。

設問3：菜の花プレーヤーズの説明会や勉強会について

【場所について】

■良かった点

- ①直前の説明が湖畔美術館であった時は、実際に市原までの所要時間や土地勘を確認することができたので良かった。

■改善すべき点

- ①地元市原市での説明会を、市内の公民館を活用し地元にもっとPRし、多くの方に関心をもってもらう方法を今後考慮すべき。
- ②制作地区外の地元の方に対しても芸術祭の説明会を開催し、そこでサポーターの参加依頼もすれば、菜の花プレーヤーズでの参加も出てくるし、期間中の来客者への説明も経験話から出来るし、おもてなしもより良く出来ると思う。
- ③説明会は規模とアクセス重視で、地元南総公民館の体育館などを使った方がいい。
- ④なぜ東京や幕張で行われて、開催地である南いちほらで行われなかったのか甚だ疑問である。
- ⑤都内辺りでも別途開催されても良かったかもしれません。その方が便利だったと思われる方もいたかもしれない。
- ⑥千葉市幕張での説明会に来た人が少なかった。隣の市だからもっとアピールすべき。

【回数について】

■改善すべき点

- ①回数をもっと増やすべき。ウェブ上で参加できると良かった。
- ②市原市は広いのだから五井の1回だけでは足りなかったと思う。
- ③開催1週間前だけでなく、もうちょっと早くから数回に分けて開催してもらいたかった。
- ④1回の説明会では、理解できない人がいた。数を増やすべきだと思う。
- ⑤サポーターの人数不足は、説明会や勉強会の不足だと思う。
- ⑥回数は多い方がよく、時間も夜間に仕事を終えてから参加できるようにしてもらいたい。

【説明会の内容について】

■良かった点

- ①プロジェクターを使っでの説明はわかりやすかった。

②パスポートや受付の話等、聞いておいて損がない内容だった。いきなり受付に入るよりは、少し想像できたので、余裕が持てた。

■改善すべき点

- ①アート×ミックスのコンセプトや開催についての説明会はあったが、プレーヤーズの活動内容については当日になってわかる事が多かった。
- ②五井の説明会に出たが、20万の来場者だけがPRされていた。根拠不明、どうして市原で開催する必要があるのか、わからなかった。
- ③直前の説明会では、まだマニュアルが出来ていなかった。できていれば質問ができた。
- ④説明会の所要時間は、昼から夕方まで（3～4時間位）は時間が必要だった。
- ⑤ボランティア登録をした人の、全体説明会や国体で行ったようなおもてなし研修会の機会があると良い。
- ⑥説明時には具体的なものを示して説明をするべき。抽象的では何もわからない。説明を受ける側は白紙の状態で臨んでいることを認識するべき。

【その他】

■改善すべき点

- ①サポーター募集には地元の情報紙や集まりを活用すると良い。
- ②今後は、菜の花プレーヤーズが自ら、主体的に、勉強会や説明会を開催するべき。
- ③会期中でも再確認するために、説明会の開催が必要。
- ④何の連絡もなく自分が参加する日まで何もわからずに、当日になって初めて大きな袋を渡されて一人で受付に行った。一人の受付は不安だらけで終わり、正直疲れた。一人で受付するなら、一度二人で経験をして流れがわかってからのほうが良かった。
- ⑤2回の説明会ではとまどいだけだった。スタッフを記憶するのも大変だった。
- ⑥外国の方の案内のために、ボランティア用に、外国語（英語など）の教室を今年からでも始めてほしい。

設問4：宿泊施設（月崎荘）について

■良かった点

- ①作家さんとプレーヤーが一つ屋根の下、寝食を共にして語り合い、笑い合い、同じ時間を共有できたことはよかった。月崎荘があったからこそ作家さんやプレーヤー、事務局スタッフがひとつになり芸術祭を盛り上げることができた。
- ②クリーニング代だけで泊まれて良かった。
- ③宿泊施設があって良かった。
- ④管理人をされていた地元のお母さん方が、とても親切かつ丁寧に、私たち宿泊者に接して下さり、温かい気持ちで過ごすことができた。
- ⑤老朽化が進んでいるものの、使い勝手は良かった。

■改善すべき点

- ①場所が不便だった。
- ②車でない人の送迎は必須。
- ③もう少し五井に近いところなど、複数の場所があると便利ではないかと思う。
- ④他にも地元で活動する団体があるので、この期間に限らず、地域の為なら利用できるような宿泊環境の整備を、市で勧めるともっと良いと思う。

設問5：菜の花プレーヤーズの感想

■良かった点

- ①楽しい時間を過ごした。また参加したい。
- ②作家とプレーヤーズ、地元の人とプレーヤーズなど、さまざまな人間同士で良い関係を結ぶことができた。
- ③参加して、「見るより参加する方がオモシロイ」「世界が広がった」「アートに係る楽しさを知った」と思う。
- ④参加しているボランティアをみて、偉いと思った。感動した。

■改善すべき点

- ①人数不足
- ②地元への説明不足

設問6：アート×ミックス全般についての感想

【交通について】

■良かった点

- ①パスポート改札入れ、スタンプ欄等なかなか工夫されていて良かった。
- ②周遊バスは30分/本で少ないと意見もあったが、妥当と思う。都会のように10分/本まで走らす必要は無いと思う。だいたい1会場30分平均掛かるため。
- ③小湊が製作したバス路線の地図は好評だった。

■改善すべき点

(鉄道・バス)

- ①会期中周遊バスなどが少なすぎで回りづらくもったいなかった。
- ②電車やバスの時刻や行き先を調べるのがストレス。いちいちガイドブックをにらめっこしながら行き先を調べることにストレスを感じた。
- ③土地柄の都合でバス系統が複雑になるのはわかるが、系統を見直す、本数を増やす、さくっと調べられる仕組み(スマホのアプリ?)が欲しかった。特に月出工舎が行きにくくて困った。
- ④月出は後半駐車場を開放したが、アクセスが格段と悪い。月出～月崎や里見又は養老溪谷へ、バス(マイクロバス)でつながらないとお客さんが流れない。月出に行きたいけど、行くまで時間が掛かるってことで断念した人が意外と多かった。

- ⑤交通が不便すぎる。小湊鉄道の本数が少ないのは仕方ないかもしれないが、連絡バスとの接続が悪く、タクシーもいなくて途方にくれた。連絡バスと高速バスとの連絡はさらに悪く、日帰りで効率よく回るためには、かなり早起きをする必要があった。
- ⑥神奈川県からは厳しい。バスの不便だけでなくアクアラインが大混雑で帰りは大変。
- ⑦交通アクセスが悪く、高速バス上りの途中下車等が出来ないので茂原や勝浦方面から来ることは出来なかった。
- ⑧シャトルバスの待ち時間に利用できるお茶屋さん（直売所を兼ねて）や、座るベンチなどを設置するのど、ただ立って待つことの無いように出来たらと思う。
- ⑨会期前半は空バスが多く、バスルートもわかりづらかった。(右回り・左回り等)

【駐車場について】

- ①会場の駐車料金は終日複数駐車してもたとえば500円（駐車パスポート）くらいでないと、鑑賞券などを合せると大きな出費になる・・・不満の声大。
- ②駐車場の料金が安い。周辺の駐車場の相場を知っているだけに、あの金額には正直ゲンナリした。利権等の問題もあるだろうが、もう少し譲歩して欲しかった。
- ③駐車場代1ヶ所1,000円は高い。小湊とバスを使って巡るというコンセプトは重々承知しているが、それでも車で巡りたいという人も多いのは見過ごせない。タダで止められるようにとまでは言わないが、例えば1,500円くらいで全ての駐車場に止められるパスポート等があれば車で巡りたい人への配慮としてもかなり有効だと思う。
- ④初回は宣伝も兼ねているため、駐車場等で収益を上げようということはずべきではなかった。バスもアクアラインが混み、バスターミナルでは苦情が多かった。
- ⑤駐車場問題はどうかしないと、次回もこのままでは集客に影響があるかと思われる。

【交通関係のその他意見】

- ①交通の便が良くはなく、しかも広域で行っているため、回りにくさを感じた。エリア内に宿泊施設がもっとあるとだいぶ違うのではないか。
- ②ガイドブックを持っていないお客さんに対して積極的に時刻表のパンフレットを配って欲しかった。
- ③開催地域が広いので、詳しい開催場所がわかる地図のついたパンフレットがほしいという声があった。
- ④看板が見にくかった。特にIC周辺の看板類を充実させるべき。

【広報について】

■改善すべき点

- ①都心から日帰り圏内でのイベントなのに、東京近辺在住で、アートやイベントに興味ある人たちの間でも知名度が低かった。今後も継続するのなら、広報戦略は大きく変える必要がある。
- ②PRがほぼ無かったように思うこと。確かに五井駅コンコースや小湊鐵道構内・開催エリアに限って言えばポスターやのぼりなどがあり、ガイドブックも全国の書店で売られていた。ところが市原市から一歩外に出ると「ホントにやるの？」というぐらい何もなかった。次回以降はPRをどう効果的に

行うのか、作家と地元とのつながりをどう継続的につなげて育てていくのがポイントだと思う。

- ③PR 活動にもっとコストをかけるべき。集客があれば結果、資金の回収につながる。
- ④地元住民(南市原)は無関心で、何が行なわれたか知らない人が多かった。
- ⑤千葉県民でもアート×ミックスの事を知らない人がいた。ぜひとも地元の人に見てもらいたい作品が沢山あっただけに、悲しかった。
- ⑥車でアクセスしやすい袖ヶ浦、木更津、君津方面にも宣伝が必要。
- ⑦五井駅直通の総武線（横須賀線）、京葉線に広告があれば良い。
- ⑧東京駅の「歩く歩道」は広告をじっくり見てもらえるチャンスだと思う。あの辺は千葉県の観光系の広告が多い。
- ⑨開催の告知が広報だけで、自治会にチラシを使った回覧板での告知なしのため、いつどこで、何をしているのか、自分も正直関わり始めた 2014 年 3 月まで知らなかった。
- ⑩初めてののぼりをパッと見ても何なのか分からない。
- ⑪菜の花プレーヤーズの告知は、HP と自分が見た広報だけ。
- ⑫開催している市民が何をしているか、さっぱり判らないと、ほとんどの人が言っていた。隣近所や職場の市原市民も、話して「知っている」って言った人は周りでは居なかった。開催地に住んでいる人が、興味がなくても開催を知らないのは問題である。興味がなくても聞かれて答えれば自然とクチコミは広がる。
- ⑬情報発信をするターゲットを明確にすべきであった。
- ⑭作家にお金をかけすぎではないか。宣伝にもっとお金をかけるべきであった。

【作品について】

■良かった点

- ①今回の芸術祭で出品された作品はどれも面白いものだった。面白いものとか、食も旨いものばかりだった。
- ②地域の自然などを生かした作品が多くとても楽しめた。
- ③作品の全体的な印象としては、地域に寄り添ったアートで、普段アートに親しんでいない人でも楽しめる作品やイベントが多かった。そのせいか、他のアート系のイベントに比べて、子供連れやお年寄りの方が多く見受けられました。子供たちが、きゃーきゃー喜びながら作品に触れるにぎやかな光景はなかなか無いと思う。また、写真撮影も殆ど OK というのも良いし、口コミが広がったきっかけになったと思う。それだけに、地元の人達にこの芸術祭があまり知られていなかったのが悔やまれる。
- ④アート好きの地元住民（袖ヶ浦市だけど）として、このような芸術祭を催してくれたことに本当に感謝している。次回もこのようににぎやかで楽しい作品を期待している。
- ⑤パスポートを使って 2 日、車を使って 4 日で一通りの会場を回ったが、それぞれの会場に特色があり魅力的な作品が多く楽しかった。
- ⑥指輪ホテル、公民館の演劇と食の企画は楽しめて、もう一度鑑賞したいと思った。食については、おいしくて何度も通ったところもあった。

■改善すべき点

- ①食事の値段がこれでこの値段？というのもあったけど。全般的においしかったのはよかった。
- ②有名な作家の参加を希望。
- ③作家がもう少し現場にいて、お客と交流が持てたら良かった。もちろん積極的な作家もいたが、お客はきっと作家といろいろ話したかったと思う。
- ④次回は、会期後でも残る作品を増やして欲しい。
- ⑤アクセスのしやすかった里見小学校や湖畔美術館にはそれなりに人が集まったが、月出ややもかのなかまには、限られた人数しか訪れておらず、凄く勿体なかった気がする。やもかのなかまの作品は、今も観ることができるが、会期終了後に見に行った友人達はそれぞれ行ってよかったという感想だった。
- ⑥旧里見小学校で、一時だけアートドアというのがあったが、これが同じ会場なのに、アート×ミックスで、アスレックス開催の知らせがなかったので、知らずにいてがっかりした。おにぎりの運動会とアスレックスが別事業だといわれても、一般人から見たら同じスポーツ扱いなので、中途半端な連携はしないほうが良いと思う。
- ⑦今後は芸術作品が有名な作家だけではなく地元の人のも採用され、多くの作品が展示出来ればより良いアート×ミックスになると思う。

【その他全般について】

■良かった点

- ①市原市でこのような芸術祭を開催したことは画期的なことだと思う。
- ②地元にかくさんの人が訪れてくれるのがとても嬉しかった。市原の魅力はゴルフ場とぞうの国だけではないとアピールできた芸術祭だった。
- ③いちほらアート×ミックスは、本当に楽しかった！！結局最後の最後でお客として行きましたが、イベントの楽しさだけではなく、いちほらの、そして小湊鉄道沿いの景色の美しかったこと！！正直、リピートしたかった。
- ④イベントは終了したが、小湊鉄道にまた乗りに行きたい、と思った。
- ⑤現地にて、訪問者同士の出会いがあったこともとても楽しかった。一緒に回ったり、話をうかがったりできた。
- ⑥イベントのみならず、いちほら自体、小湊鉄道自体に、愛着がわいた。
- ⑦またイベント開催の折は、またサポーターとして参加したいと思う。イベント開催以外でもまたいちほらを訪れたいと思う。
- ⑧小湊鉄道が大活躍しているのを見ると、地元人としてはテンションが上がった。
- ⑨市原市内に住んでいても知らない場所もあり、市原市をもっと知る良い機会だった。
- ⑩各会場での作品やイベントはその場所に合った風情を楽しめて非常によかった。また、スタッフをはじめ、作家さんや地元ボランティアの皆さんや遠方から来た方々とも交流がしやすく充実していた。
- ⑪開催は3年後だが、開催に関わる事はもちろん、つなぎとして何かイベントがある時は微力ながらお

手伝いさせて欲しい。

⑫普段は静かな地域に、遠くから多くの人たちが来て、大変意義のあるイベントだったと強く感じた。

⑬最初にアクションを起こすと賛否様々な意見が出るが、やり遂げたことは価値がある。

■改善すべき点

①イベント自体、周りの批判が多かったように感じた。

②市原近辺のプレーヤーズ（動員の職員ではない人）が、思ったより多かった印象がある。もっと、彼らを中心に人を集めたり、運営したり出来たら、先に繋がるのではないか。

③アート×ミックスを機に、いちはらを知った（特に）プレーヤーズたちを繋ぎとめて、彼らを橋渡しとして活用できるようなイベントを定期的にやってはいかがか。

④アート×ミックス土産は各会場で大々的に扱うように工夫すべき。

⑤イベントが土日に集中していたので、平日にもやってほしかった。期間ももう少し長めだと良かった。

⑥「課題解決型芸術祭」と銘打っているが、その「課題」が何かよくわからなかった。私は市内在住だが、その課題の共有が市内できていないと思う。その共有をしっかりとすればより活力のある芸術祭になるのではないか。

⑧開催中若い人が町を歩いていた事は、刺激になり・活力につながった。

⑨ガイドブックの時刻表のページは、

1 鉄道（①平日 ②土日祝）、2 バス（①平日 ②土日祝）の順番で編成されていたが、

1 平日（①鉄道 ②バス）、2 土日祝（①鉄道 ②バス）の順で編成した方が、調べやすいと思う。次回の芸術祭では、ぜひご検討してほしい。

⑩お客さんが少なかったことばかり取り上げられるが、中身も濃く面白いイベントだったと思う。後半になるにつれお客さんがたくさん来てくれていたことが何よりの証明かと。ただ、会期が終わった後、あの地域を訪れてみて、あんなイベントもあったのかな、とってしまうくらい、既に過去のもののように感じられる点が心配。アート×ミックスをやった本当の意味はこれから問われる。

⑪パスポートのスタンプの存在意義が伝わっていない。受付作業をしていた時もスタンプの存在知らなかった人がちらほら見受けられた。

⑫地域性、交通の便を考えた、プランニングが全く出来ていない。初期投資、収支検討が全く出来ない。市原で開催する意味不明。

⑬地域のバックアップの工夫が足りない。

⑭廃校はあるのに、現在活動している学校の参加がない。

⑮市民全体の芸術祭参加が欠落しては、いくら素晴らしい祭典でも不発に終わってしまう。

⑯PRの方法として、開催前に数日特別内覧会を実施して、市民の皆さんに優先見学日を活用してもらう。市の職員には交代で事前会場視察をしてから、プレーヤーとして、交代でかかわって頂く等工夫もお願いしたい。

⑰南部地域の活性化も課題の一つです。地域の方たちが負担にならず、楽しく参加できる工夫も必要である。毎月持ち回りでもいいから地域の催事を工夫できないものか？そのためにも市内各団体の協力を呼び掛けて、持ち回りで担当支援ができれば活性出来るのではと思う。

- ⑱地元住民として、今回のアート×ミックスは開催前から閉幕後まで疑問を感じざるを得なかった。
- ⑲南いちほらではサポーター勉強会も開催されず、アート×ミックス自体の説明会も2、3回のみ（地区ごとで考えれば）。
- ⑳お手伝いをしたはずの加茂学園の生徒ですら、アート×ミックスが何かわかっていない。
- ㉑回覧板に入っていたチラシはとても分かりづらかった。
- ㉒「自分の住んでいる所なのに、はじき出された気分だ」と皆漏らしていた。
- ㉓もっと事前にしっかりと説明をしていていけばこんな事にはならなかったのではないかと。
- ㉔3年後、もしまたここでやるのであれば、今回の上手くいった表面だけを見るのではなく次回はもっとお互いに歩み寄れるような環境を作り上げて欲しいと思う。私達はここが家で、誰よりも身近な問題なのだから。ここは切実をお願いしたい。
- ㉕観てもらえれば間違いなく楽しめる作品が揃っていた。それだけに広報戦略と回り方のガイドが不足していた感が強く、残念に思う。
- ㉖そもそも、アート×ミックスは、HPとかで知った好きな人や調べた人だけが来れば良いのか？市原市民はもちろん、興味あって足を運ぶ人のためだと思う。地元が知らなければ、盛り上がりがないと思う。それが原因でないかと分析している。
- ㉗里見小学校でイベント開催時、関係者かトイレのみの利用者か判断つかない事があり、トイレ配置変更か、変更出来なければ、「施設一時利用者」の名札付けて管理するとか、関係者は必ず名札か腕章着用を徹底して欲しかった。
- ㉘会場が離れすぎている。バスの移動が難しいので、徒歩圏内に別の会場があるといいなと思った。
- ㉙一つの会場の充実を。一つの会場で半日位過ごしたい。食事も出来るといい。
- ㉚食事処をもっとほしい。初日は、お弁当を買うことができなかった。
- ㉛サポーターが事務局に持ち帰るゴミ袋を、個人が出した物が多かったので、自己処理を周知させて自己完結して欲しい。月崎荘でも同様。
- ㉜今回の52日間のみを評価の対象とするのか、それともトリエンナーレとして3年後、6年後を意識してのスタートラインが今回なのか、時間の切り取り方で随分と見方は異なると思う。広報の遅れが指摘されていたが、52日間だけを切り取るとそうかも知れないが、3年後、6年後を考えたら大した問題じゃない。スタートとしては上々だったと思う。それより次を見据えて、地域資源を掘り起こして行くことが大事だと思う。
- ㉝同じ市原市内でも温度差があったかもしれない。町おこしの観点から「再度やってほしい」という市民の声が上がるのを期待している。
- ㉞芸術に関して様々な年齢層の方が来るので、おもてなしの心をもっと市原市内の住民に投げかけるべき。
- ㉟多くの方の感想を集め集約して公表し、次回に生かせる様努力してほしい。今回の作品や交通手段などにかかった費用と内容の評価も実施してほしい。
- ㊱地元住民には期間中使える交通チケット（無料又は格安な）、優待鑑賞券を作ってほしい。
- ㊲本市の南部地区に限定した場合、地域振興などにつながる非常に意義のあるイベントであったと考え

るが、イベント自体については、今回、目標来場者数を下回る結果になったことを踏まえ、他の現代アートのイベントとの差別化や、市内・県内の他のイベントのほか、民間も含めた施設との連携を図るなど、広報以外にも集客につながる方策を検討すべきと考える。

㊸まだ第一回目。15年目になる新潟のこへび隊も再度、試行錯誤し始めていていつまでたっても課題はついてくる。次の会期、楽しみにしています。

㊹娘が五井に住んでいるが、アート×ミックスをやっているのは知っているが中身は知らず、「牛久あたりで盛り上がっているんでしょ」とった程度で孫達も興味を示すことはなかった。私が誘ってみて回り楽しかったと言っていた。

㊺文字を英字だけでなく一目でわかるようにした方がよい。

㊻上総大久保駅には、関係機関の協力で利便性の高い誇れるトイレの改築で、期間中は長蛇の列ができた。地元の宝、アート×ミックス記念事業の一環として常に管理していきたい。

(5) 地元商業者対象アンケート

対象：152件、回答数：63件

・公式ガイドブックに掲載した、市原市内の宿泊施設、観光施設、飲食店、タクシー会社や市原市南部の飲食店、コンビニエンスストア、ガソリンスタンド、個人商店など

問1 「いちはらアート×ミックス」の会期中（平成26年3月21日～5月11日）の営業実績・売上は、前年の同時期と比べて、どれくらいの増減がありましたか？

回答	割合
① 0～5%増加	19.0%
② 6～10%増加	9.5%
③ 11～15%増加	4.8%
④ 16～20%増加	1.6%
⑤ 21%以上増加	1.6%
⑥ 0～5%減少	3.2%
⑦ 6～10%減少	3.2%
⑧ 11～15%減少	3.2%
⑨ 16～20%減少	3.2%
⑩ 21%以上減少	3.2%
⑪ 変わらない	47.6%

問2 営業実績・売上の増減には、「いちはらアート×ミックス」の効果があったと思いますか？

回答	割合
① 大いにあった	4.8%
② 多少あった	27.0%
③ 特になかった	28.6%
④ 未記入	39.7%

自由意見

(良い意見)

- ①来場者が少なく残念だったが、次回も期待している。
- ②アート×ミックスを行うことは大変素晴らしい計画なので次回も開催して欲しい。
- ③イベントを行うことで観光客が増え、地元の方も外出する機会が増えて、来店者数に繋がるので、次回も開催して頂きたいと思う。
- ④今までにない画期的な企画だったが、期待とは違った。現代アートはアピールが難しい。
- ⑤大変良かったと思う。今後の展開に期待する。
- ⑥また同様のイベントを企画して欲しい。
- ⑦幾度か回数を重ねることで理解が深まるのではないかと思った。しかし、今回で市原市に興味を持つことができたのは良かったと思う。
- ⑧春の行楽シーズンと重なり、利用客の選別が難しいところがあった。次回開催を期待している。
- ⑨予想よりも来場、収入は少なかったようなので更なる向上を期待する。
- ⑩自分達の勉強不足もあり、お客さんに上手く説明や案内が出来なかった事に反省している。
- ⑪長い間続くことが大事だと思う。
- ⑫他県からのお客様は興味を持たれて、販売スタッフに内容を聞いて出かけた方が多数いた。

(悪い意見)

- ①企画は大いに良い企画だと思うが、今回は集客の面で失敗だったと思う。
- ②広報・PRが周知徹底されていない。
- ③説明が不足していた。今後は一般の方にも分かりやすい説明をして欲しい。
- ④のぼり旗が良くわからない。
- ⑤町の中にもっと目立つ看板が欲しかった。
- ⑥市全体でやっている雰囲気欠けていて、関心が薄かったイメージがある。
- ⑦牛久から会場に入る入口道路に「ウェルカム」を表す目立つ看板があると良かった。
- ⑧関心を持たない市民が多かったのが残念だった。
- ⑨駐車料金が高かった。
- ⑩市原では、駐車場を作って車での入場をすすめないとお客は来ないのではないかな。
- ⑪バスに乗り遅れて帰れない人がいた。
- ⑫交通網がわかりにくく大変だった。
- ⑬もっと地域を巻き込んだ方法が必要だったと思う。
- ⑭地元で宣伝協力を頼んだ方が良かった。
- ⑮地元の作家の参加が極めて少なかった。地元作家をないがしろにするのは良くないと思う。
- ⑯もっと地元のボランティアを募った方が良い。
- ⑰各地域の特性はその住民が一番良く知っている。意見をもっと聞く必要がある。
- ⑱地元の人アートを楽しみながら元気になる様子は全く感じられない。
- ⑲子供達が楽しめるアトラクションのようなものがもっとあると良かった。
- ⑳周辺施設にも良い影響を与える施策を行って欲しい。
- ㉑食事するところが少なく、子供連れで食事をとれなくて困っている人がいた。
- ㉒ご当地の目玉となる食のアピールが必要だった。

- ㊸高齢者には入場料割引があるとよかったのでは。
- ㊹開催地域が広すぎて移動に困ったという意見があった。
- ㊺ある程度場所を集約し、縁日風に気軽に見られる物や催しが欲しい。
- ㊻会場が広く、駐車料金や見るのに日数がかかりすぎるという人もいた。
- ㊼プロデューサーの不在が一番大きい原因だった。

中房総国際芸術祭いちほらアート×ミックス実行委員会

〒290-8501

千葉県市原市国分寺台中央1-1-1

市原市経済部観光振興課内

電話 0436-23-7005